

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

五年次報告書

(調査開始 ～ 平成 14 年 3 月 31 日)

平成 14 年 11 月

H R D 共同調査協議会

アストラゼネカ株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
セローノ・ジャパン株式会社
大正製薬株式会社
田辺製薬株式会社
ダイナボット株式会社
中外製薬株式会社
日本たばこ産業株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
萬有製薬株式会社
ファイザー製薬株式会社
 Bristol 製薬株式会社

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の有効性・安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、五年次(調査開始～平成 14 年 3 月 31 日)までの結果をまとめた小冊子を作成いたしました。

1. 調査方法

本調査は、契約時に投薬中の、あるいは調査期間中に投薬を開始した症例について登録を行ない、患者背景、薬剤の投与状況、併用療法、患者の転帰、有害事象(副作用、臨床検査値の異常変動、新たに発現した日和見感染症等を含む)、有害事象と疾患や薬剤との関連性、臨床経過に関するコメント、臨床経過及び臨床検査値の推移等の項目について調査開始～平成 14 年 3 月 31 日の期間を継続的に調査した。

2. 調査対象症例

本調査は、調査にご協力頂いた施設(平成 12 年 4 月 1 日より特定の 30 施設)において、HIV 感染症及び日和見感染症治療薬を含む下記再審査品目の HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)が処方される全ての症例を対象とした。併用された HIV 感染症治療薬に関しては、治験期間も含め全ての投与期間を調査対象とした。

3. 調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同調査使用成績に合意している 13 社の薬剤

(2002 年 3 月現在再審査中の市販薬剤)

商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
グアイデックス錠・ドライシロップ・EC カプセル	シタノシン(ddI)	1992 年 6 月～2002 年 6 月
ハ化ド錠	サルシタビン(ddC)	1996 年 4 月～2006 年 4 月
エビル錠	ラミブジン(3TC)	1997 年 2 月～2007 年 2 月
クキシバンカプセル	硫酸インジナビル	1997 年 3 月～2007 年 3 月
点滴静注用ホスカル	ホスカルネットナトリウム 水和物	1997 年 3 月～2007 年 3 月
ゼリットカプセル	サニルブジン(d4T)	1997 年 7 月～2007 年 7 月
デノンカプセル	ガンシクロビル	1997 年 7 月～2007 年 7 月
インビラーゼカプセル	メシル酸サキナビル	1997 年 9 月～2007 年 9 月
ノービアカプセル・リキッド・ソフトカプセル	リトナビル	1997 年 11 月～2007 年 11 月
ビラセプト錠	メシル酸ネルフィナビル	1998 年 3 月～2008 年 3 月
クラリス錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
クラリシット錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラビン	1998 年 11 月～2008 年 11 月
セロステム注 5mg	ゾマトロビン(遺伝子組換え)	1999 年 3 月～2009 年 3 月
コンビビル錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999 年 6 月～2007 年 2 月
ザイアジェン錠	硫酸アバカビル	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ストックリンカプセル 200	エファビレンツ	1999 年 9 月～2009 年 9 月
プロセカプセル	アンブレナビル	1999 年 9 月～2009 年 9 月
レスクリフター錠	メシル酸テラビルジン	2000 年 2 月～2010 年 2 月
フォートベイスカプセル	サキナビル	2000 年 4 月～2007 年 9 月
カレトラソフトカプセル・リキッド	ロビナビル・リトナビル	2000 年 12 月～2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月～2011 年 12 月

4．解析対象症例

本調査の解析は、平成 14 年 7 月 31 日までに調査票を回収させて頂き、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(2,250 例)の内、適応外の患者(HIV 感染症以外の患者)でデノシンカプセルまたはホスカビルを使用していない患者或いはクラリスロマイシンまたはジスロマックを使用していない患者を解析から除外(61 例)した。解析対象は 2,189 例であった。その内訳は HIV 感染症患者在 2,170 例、CMV 感染症患者(デノシンカプセル、ホスカビル使用者)が 104 例、MAC 感染症患者(クラリスロマイシン、ジスロマック 600mg 使用者)が 247 例、重複している患者が 332 例であった。

回収調査票数	: 5,051 例
患者数	: 2,250 例
解析対象患者数	: 2,189 例
解析除外患者数	: 61 例
HIV 感染症患者数	: 2,170 例
CMV 感染症患者数	: 104 例
MAC 感染症患者数	: 247 例

5．解析結果

本調査の五年次までの症例背景を表 1 に示す。

本調査では、HIV 感染症治療薬がどのような使われ方をしているかを見るために、使用された薬剤の組合せの延べ症例数(薬剤の切り替えなどで同一症例の中で異なる組合せがある場合、別症例として集計)及び平均併用日数の集計を行った(図 1)。

その結果を表 2-0～2-5 に示す。使用頻度が最も高かった薬剤の組合せは、2 剤併用では一年次(表 2-1)、二年次(表 2-2)、三年次(表 2-3)、四年次(表 2-4)、五年次(表 2-5)及び五年次までの全期間(表 2-0)とも、レトロビル、エビビルの組合せ、3 剤併用では一年次、二年次及び全期間がレトロビル、エビビル、クリキシバンの組合せ、三年次、四年次及び五年次が、エビビル、ゼリット、ピラセプトの組合せ、4 剤併用では二年次、三年次及び全期間が、エビビル、ゼリット、インビラーゼ、ノーピアの組合せ、四年次及び五年次がレトロビル、エビビル、クリキシバン、ノーピアの組合せであった。

次に、五年次において使用頻度の高い上位 20 の組合せについて、副作用の発現状況及び安全性に影響を与えると考えられる要因(性別、年齢、人種、併用薬有無、血液凝固因子有無、併用療法有無、合併症有無、肝障害、肝炎、血友病、血友病分類、既往歴有無、アレルギー - 有無)について、集計解析を行った(表 3～42)。なお、副作用用語については ICH 国際医薬用語集(MedDRA)にて集計解析を行った。

さらに、各組合せごとの CD4 陽性リンパ球数、血漿中 HIV-RNA コピー数について集計及びグラフ化を行った(表図 1～19)。

また、CMV 網膜炎治療薬については使用された症例数 104 例に対して、MAC 感染症治療薬については使用された症例数 247 例に対して、安全性に影響を与えると考えられる要因別の副作用発現状況についてのみ集計を行った(表 44、46)。

今回集計を行う薬剤の組合せ

- 組合№1. エピビル+ゼリット+ピラセプト
- 組合№2. エピビル+ゼリット+ストックリン
- 組合№3. レトロビル+エピビル+ピラセプト
- 組合№4. レトロビル+エピビル+ストックリン
- 組合№5. レトロビル+エピビル+クリキシバン
- 組合№6. レトロビル+エピビル
- 組合№7. コンビビル+ストックリン
- 組合№8. ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン
- 組合№9. エピビル+ゼリット+ピラミュ - ン
- 組合№10. ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト
- 組合№11. エピビル+ゼリット+クリキシバン
- 組合№12. ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ
- 組合№13. コンビビル+ピラセプト
- 組合№15. レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノーピア
- 組合№16. エピビル+ゼリット+クリキシバン+ノーピア
- 組合№17. エピビル+ゼリット
- 組合№18. エピビル+ゼリット+ピラセプト+クラリスロマイシン
- 組合№19. レトロビル+エピビル+ピラミュ - ン
- 組合№20. コンビビル+カレトラ
- 組合№21. エピビル+ゼリット+カレトラ

注)クラリスロマイシンの単独使用は、除外した。

6. まとめ

HIV 感染症患者 2,170 例について、薬剤の組合せごとに集計解析を行った。五年次までの調査期間において、承認時期が遅い薬剤もあるため、使用実態(薬剤の組合せ)に偏りが見られた。

集計解析した 20 組の組合せの内、組合せによっては患者背景のいくつかの要因について副作用発現症例率に有意差が認められた。有意差が認められた要因は、性別、年齢、人種、抗 HIV 薬以外の併用薬、併用療法、合併症、肝障害、血友病、血友病分類及びアレルギー(特異体質)であったが、交絡因子が多く原因については不明である。

また、CD4 陽性リンパ球数については、各組合せ毎で、投与前値 200 未満、及び 200 以上～500 未満、500 以上の全ての水準において投与期間に伴い維持または増加の傾向を示した。血漿中 HIV-RNA コピー数については、多くの組合せにおいて、投与前値 5×10^3 以上で投与初期からの減少効果が大きく、その後低いレベルを維持していることが確認された。3 剤併用の組合せの中、0 ヶ月時の検査値が 50 症例以上と併用例が多いエビビル+ゼリット+ビラセプト、エビビル+ゼリット+ストックリン、レトロビル+エビビル+ビラセプト、レトロビル+エビビル+クリキシバン、ヴァイデックス+ゼリット+ビラセプト、エビビル+ゼリット+クリキシバンは、CD4 陽性リンパ球数の増加、血漿中 HIV-RNA コピー数の減少及び検出限界以下症例の増加傾向から 3 剤併用における治療効果は顕著であり、効果も持続性がみられている。他の組合せにおいては測定症例数が少ないこともあり、効果を比較することは困難であると考えられた。

CMV 網膜炎治療薬および MAC 感染症治療薬については、五年次までの使用症例数がそれぞれ 104 例、247 例と少なかったが、これは国内における相次ぐ抗 HIV 薬の承認により、日和見感染症の発現が抑えられていることを反映していると推測される。

図表説明

表 1. HIV 感染症患者背景

表 1a. 生存・死亡者内訳

図 1. 併用期間の考え方

表 2-0. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:調査開始 ~ 2002 年 3 月 31 日)

表 2-1. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:調査開始 ~ 1997 年 10 月 31 日)

表 2-2. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:1997 年 11 月 1 日 ~ 1998 年 10 月 31 日)

表 2-3. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:1998 年 11 月 1 日 ~ 2000 年 3 月 31 日)

表 2-4. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:2000 年 4 月 1 日 ~ 2001 年 3 月 31 日)

表 2-5. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:2001 年 4 月 1 日 ~ 2002 年 3 月 31 日)

表 3. 組合№1 エピビル+ゼリット+ビラセプト

表 4. 組合№1 エピビル+ゼリット+ビラセプト

表 5. 組合№2 エピビル+ゼリット+ストックリン

表 6. 組合№2 エピビル+ゼリット+ストックリン

表 7. 組合№3 レトロビル+エピビル+ビラセプト

表 8. 組合№3 レトロビル+エピビル+ビラセプト

表 9. 組合№4 レトロビル+エピビル+ストックリン

表 10. 組合№4 レトロビル+エピビル+ストックリン

表 11. 組合№5 レトロビル+エピビル+クリキシバン

表 12. 組合№5 レトロビル+エピビル+クリキシバン

表 13. 組合№6 レトロビル+エピビル

表 14. 組合№6 レトロビル+エピビル

表 15. 組合№7 コンビビル+ストックリン

表 16. 組合№7 コンビビル+ストックリン

表 17. 組合№8 ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

表 18. 組合№8 ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

表 19. 組合№9 エピビル+ゼリット+ビラミューン

表 20. 組合№9 エピビル+ゼリット+ビラミューン

表 21. 組合№10 ヴァイデックス+ゼリット+ビラセプト

表 22. 組合№10 ヴァイデックス+ゼリット+ビラセプト

表 23. 組合№11 エピビル+ゼリット+クリキシバン

表 24. 組合№11 エピビル+ゼリット+クリキシバン

表 25. 組合№12 ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

表 26. 組合№12 ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

表 27. 組合№13 コンビビル+ビラセプト

表 28. 組合№13 コンビビル+ビラセプト

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

表 29.	組合№15 レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノーピア	患者背景別副作用発現症例
表 30.	組合№15 レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノーピア	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 31.	組合№16 エピビル+ゼリット+クリキシバン+ノーピア	患者背景別副作用発現症例
表 32.	組合№16 エピビル+ゼリット+クリキシバン+ノーピア	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 33.	組合№17 エピビル+ゼリット	患者背景別副作用発現症例
表 34.	組合№17 エピビル+ゼリット	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 35.	組合№18 エピビル+ゼリット+ピラセプト+クラリスロマイシン	患者背景別副作用発現症例
表 36.	組合№18 エピビル+ゼリット+ピラセプト+クラリスロマイシン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 37.	組合№19 レトロビル+エピビル+ピラミューン	患者背景別副作用発現症例
表 38.	組合№19 レトロビル+エピビル+ピラミューン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 39.	組合№20 コンビビル+カレトラ	患者背景別副作用発現症例
表 40.	組合№20 コンビビル+カレトラ	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 41.	組合№21 エピビル+ゼリット+カレトラ	患者背景別副作用発現症例
表 42.	組合№21 エピビル+ゼリット+カレトラ	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 43.	患者背景要因(CMV 感染症治療薬)	
表 44.	CMV 感染症治療薬	患者背景別副作用発現症例
表 45.	患者背景要因(MAC 感染症治療薬)	
表 46.	MAC 感染症治療薬	患者背景別副作用発現症例
表 47.	薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表	
図表 1～19	組合せ別(平均値)	CD4 陽性リンパ球数(表上段) 血漿中 HIV-RNA ｺﾋﾞｰ数(表下段) 血漿中 HIV-RNA ｺﾋﾞｰ数グラフ 評価及び考察*

投与開始時点を0ヶ月として、それ以後3ヶ月ごとに平均値・標準偏差を算出した。

(投与後月数は前後±30日以内での検査値を平均する)

投与開始(直前)時点での検査値がある症例を対象とし、以降の推移を示した。

CD4、HIV-RNA コピー数について値を3つの層に分けて、主たる層については、治療経験者・治療未経験者**に分けて平均値・標準偏差を求めた。

HIV-RNA コピー数については、検出限界以下(<400)について投与後月数ごとの比率を示した。

*:評価及び考察は、患者背景(年齢、既往歴、前治療歴等)及び副作用発現傾向等の要因を除いた相対的なものであり、投与開始症例数(0ヶ月時)が20症例以上の併用例について評価した。

**:'治療経験者'「治療未経験者」

治療経験者とは、本調査開始時に、既にHIV感染症治療薬が投与されていた患者であり、治療未経験者は、本調査開始時に初めて、HIV感染症治療薬が投与された患者を示す。

ただし、治療未経験者は、治療歴が明確に把握できないため等の理由で必ずしも正確ではない症例も含まれる。

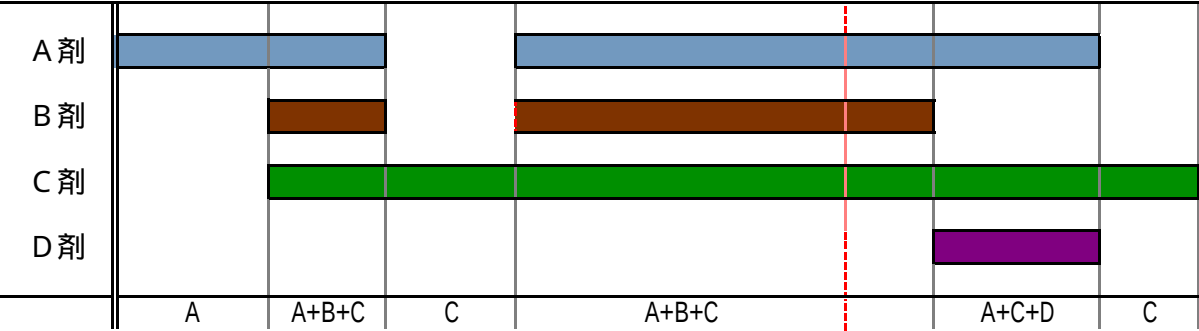
表 1 . HIV感染症患者背景

患者背景		症例数	分布(%)
総症例		2170	100.00
性別	男	1910	88.02
	女	260	11.98
年齢	14歳	30	1.38
	15歳 64歳	2105	97.00
	65歳	35	1.61
人種	日本人	1952	89.95
	その他	217	10.00
	不明・未記載	1	0.05
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	390	17.97
	有	1780	82.03
併用療法有無	無	1805	83.18
	有	360	16.59
	不明・未記載	5	0.23
合併症有無	無	687	31.66
	有	1479	68.16
	不明・未記載	4	0.18
合併症肝障害	無	1482	68.29
	有	684	31.52
	肝炎	600	27.65
	不明・未記載	4	0.18
血友病	無	1638	75.48
	有	528	24.33
	A	403	18.57
	B	123	5.67
	不明・未記載	2	0.09
	不明・未記載	4	0.18
既往歴有無	無	1066	49.12
	有	1077	49.63
	不明・未記載	27	1.24
アレルギー(特異体質) の有無	無	1706	78.62
	有	414	19.08
	不明・未記載	50	2.30

表 1 a . 生存・死亡者内訳

	AIDS患者 (投与後AIDS発症)	HIV感染者	計
計	627 (21)	1543	2170
生存者	557 (17)	1509	2066
死亡者	70 (4)	34	104

図 1 併用期間の考え方



副作用発生 (B 剤と関連あり)

上図においての組合せ

		症例数	副作用発現 症例数
A	→	1例	無
C	→	1例	無
C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	1例
A+C+D	→	1例	無

併用期間 || → 初回併用開始日
→ 併用開始日

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ュー ン	ス トック リン	レス クリ プ ター	クリ シ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ ブ ト	ア ロ セ	フォ ート バ イス	カ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ック	セ ロ ス ティ ム				
1	680	■			■																			2	288.8	2	2084
2	596	■			■							■												3	420.7	2	1813
3	588	■																						1	409.4	2	2940
4	573				■	■									■									3	549.2	2	1694
5	476	■			■										■									3	433.1	2	1726
6	256	■	■																					2	395.2	2	1963
7	234	■		■																				2	291.9	2	2190
8	201				■	■						■												3	396.2	3	1516
9	198				■	■				■														3	267.6	3	885
10	191		■																					1	385.8	3	1690
11	188				■	■																		2	184.8	2	1693
12	126																				■			1	42.4	2	266
13	109		■			■									■									3	425.8	2	1445
14	97	■			■								■											3	303.2	2	1759
15	77	■			■					■														3	225.8	3	871
16	76				■	■									■						■			4	213.0	2	873
17	73	■		■								■												3	418.3	6	1677
18	72				■	■							■		■									4	343.0	2	1050
19	69	■										■												2	191.1	2	931
20	68					■																		1	198.4	3	536
21	68			■																				1	177.1	5	1329
22	68		■			■																		2	167.8	2	1016
23	62						■			■														2	277.1	2	672
24	61	■			■									■										3	278.1	2	1398
25	58				■																			1	104.7	2	679
26	53	■			■							■									■			4	188.0	2	1816
27	52				■	■			■															3	315.0	6	1224
28	49	■			■							■		■										4	299.4	2	808
29	49		■			■				■														3	219.1	6	805
30	48	■	■									■												3	380.9	2	1833
31	48				■							■												2	129.0	3	1365
32	39				■	■						■		■										4	277.4	5	874
33	39	■			■										■						■			4	107.6	3	538
34	38											■												1	110.6	2	572
35	37		■			■							■	■										4	364.8	6	1105
36	37						■								■									2	315.8	6	910
37	35	■		■											■									3	462.5	5	1612
38	35				■	■							■											3	246.7	3	1066
39	34				■	■								■										3	317.3	4	1159
40	29				■	■						■									■			4	129.0	2	421
41	29	■			■																■			3	78.2	2	757
42	28		■			■						■												3	240.9	3	1134
43	26	■	■												■									3	535.4	10	1608
44	25	■		■									■											3	280.2	2	945
45	23			■								■												2	213.8	4	706
46	23				■										■									2	172.3	2	914
47	22		■			■								■										3	222.8	2	1116
48	21					■									■									2	291.7	2	1687
49	21		■									■												2	245.4	2	755
50	21	■			■				■															3	210.5	2	790
51	20		■			■												■						3	155.8	7	354
52	19			■									■											2	162.4	4	478
53	19				■	■															■			3	69.1	4	667
54	18	■		■										■										3	295.3	4	1499

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コンビ ビル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ュー ン	ストック リン	レスクリ プ ター	クリキ ン	イン ビ ラー ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	ア ロ セ	フォ ート ヘ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ック	セ ロ ス ティ ム				
55	18			■		■																		2	171.4	14	1023
56	18				■	■				■											■			4	153.1	8	574
57	17				■								■											2	208.0	7	815
58	17	■			■								■	■										4	206.9	9	940
59	16	■	■										■											3	289.2	35	689
60	16	■													■									2	276.2	6	1043
61	16		■			■			■															3	207.5	4	949
62	16				■	■						■							■					4	133.6	3	390
63	15					■						■												2	168.7	8	660
64	15																							1	21.2	4	134
65	14	■												■						■				2	268.2	6	1637
66	14	■											■											2	209.7	9	777
67	14	■		■																	■			3	43.4	13	113
68	13	■	■		■																			3	213.9	7	976
69	13	■	■							■														3	209.1	7	558
70	13													■										1	118.0	2	364
71	12						■					■												2	178.5	77	471
72	12						■											■						2	124.8	25	354
73	12				■	■									■				■					4	74.7	7	304
74	12	■																			■			2	49.8	8	196
75	11	■	■											■										3	781.7	92	1546
76	11	■	■																	■				3	61.0	2	454
77	11																		■		■			2	22.2	6	63
78	10							■		■							■							3	243.7	5	853
79	10														■									1	116.3	5	736
80	10	■			■	■									■									4	108.5	2	366
81	10				■	■							■	■							■			5	101.6	5	314
82	9						■		■															2	245.3	14	718
83	9							■		■				■										4	236.2	7	705
84	9				■	■							■	■				■						3	200.2	18	362
85	9					■							■	■										3	189.4	16	372
86	9				■	■		■						■										3	176.2	8	469
87	9				■									■										2	69.0	4	189
88	8	■	■										■	■										4	374.5	70	1132
89	8					■		■		■														3	374.1	12	769
90	8		■			■							■											3	306.1	10	1457
91	8				■	■						■		■							■			5	262.4	4	623
92	8		■																		■			2	179.0	14	541
93	8				■							■									■			3	139.8	10	546
94	8			■																	■			2	97.1	8	173
95	8																		■					1	67.8	5	365
96	8												■											1	39.4	6	122
97	8				■	■						■								■				4	38.8	5	99
98	7						■	■																2	246.1	15	508
99	7		■			■						■		■										4	237.6	22	565
100	7				■	■				■									■					4	236.9	62	720
101	7				■	■								■				■						4	195.4	85	285
102	7	■		■								■									■			4	142.6	7	569
103	7			■										■										2	137.9	65	293
104	7												■	■										2	104.6	2	287
105	7	■			■							■								■				4	31.6	2	50
106	7				■	■						■							■		■			5	17.7	5	58
107	6		■																					2	486.7	13	1758
108	6						■					■		■										3	310.8	25	638

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビビ ル	ゼリット	コンビ ル	ザイ エン	ビラミ ン	ストック リン	レスクリ ブター	クリキ ン	インビ ラー ゼ	ノビ ア	ビラセ プト	プロ セ	フォート バ イス	カトラ	デノ ジ cap	ホスガ ル	クラリス ロマイ ン	ジスロ マック	セロステ ム				
109	6		■			■				■			■	■										5	286.8	101	794
110	6	■			■							■							■					4	282.2	17	857
111	6						■																	1	224.3	2	648
112	6		■		■	■																		3	223.0	3	526
113	6		■			■		■		■														4	215.8	6	467
114	6		■			■							■	■							■			5	164.8	28	392
115	6	■			■	■																		3	150.2	2	419
116	6							■		■								■						3	139.3	28	327
117	6		■										■	■										3	135.3	36	300
118	6	■			■														■					3	86.5	28	168
119	6					■															■			2	78.3	13	347
120	6									■														1	68.3	2	278
121	6	■			■										■				■					4	55.3	3	118
122	6				■	■				■			■	■					■					5	53.5	13	129
123	6				■	■				■												■		4	46.5	11	84
124	6		■		■																			2	45.8	22	64
125	6			■								■									■			3	44.0	3	143
126	6	■			■								■								■			4	16.7	7	43
127	5	■			■			■																3	310.4	63	656
128	5			■											■									2	307.8	83	987
129	5		■			■				■				■				■						4	245.8	40	458
130	5				■	■				■				■										2	190.6	14	422
131	5				■			■		■														3	175.0	11	451
132	5		■			■							■		■									4	164.8	28	396
133	5	■			■					■											■			4	162.2	3	453
134	5				■	■												■		■				4	121.8	5	312
135	5	■		■	■																			3	85.4	3	261
136	5	■							■						■									3	80.8	21	153
137	5				■				■				■	■										3	74.4	2	265
138	5				■	■			■						■									4	41.0	9	120
139	5			■		■							■								■			3	39.2	7	109
140	5	■	■			■																		3	33.0	7	99
141	5	■	■		■							■												4	26.6	5	61
142	5																		■		■			2	24.0	4	52
143	4				■	■							■		■									4	737.3	27	1334
144	4			■		■									■									3	502.0	7	1074
145	4	■			■									■							■			4	389.3	8	1472
146	4		■	■	■																			2	291.5	10	668
147	4	■	■	■																				3	226.5	46	318
148	4		■		■									■							■			4	220.8	28	532
149	4		■			■								■			■							4	203.3	119	292
150	4				■	■									■							■		4	195.8	16	409
151	4				■	■									■				■		■			5	193.3	32	413
152	4	■	■										■					■						3	150.3	45	252
153	4				■	■							■						■					4	145.0	89	203
154	4	■			■							■							■		■			5	73.5	9	200
155	4					■			■						■									3	61.3	6	146
156	4	■	■															■			■			4	52.3	14	86
157	4		■			■													■					3	33.5	21	45
158	4				■	■													■					3	30.5	14	66
159	4	■			■										■					■				4	27.3	11	47
160	4					■							■											2	26.8	2	42
161	3			■		■						■		■										3	568.3	210	935
162	3	■		■									■	■	■									4	557.7	2	1545

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ル	ゼリット	コン ビ ル	ザイ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラ ゼ	ノビ ア	ビ ラセ プト	プ ロー セ	フォ ート ヘ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ツ ク	セロ ステ ィム				
163	3				■	■									■									3	437.7	193	866
164	3		■												■									2	379.7	3	922
165	3		■		■										■									3	356.0	72	708
166	3					■		■							■									3	344.0	105	475
167	3		■			■									■						■			4	340.7	147	636
168	3				■							■							■		■			4	336.0	3	914
169	3				■	■				■			■	■										5	281.0	14	503
170	3	■				■																		2	264.0	70	596
171	3				■			■		■								■						4	256.0	154	363
172	3				■	■				■									■		■			5	255.7	177	324
173	3	■		■						■														3	240.7	137	429
174	3							■	■							■								3	226.3	5	403
175	3		■															■						2	212.3	6	319
176	3		■					■		■														3	185.3	6	406
177	3			■		■			■															3	183.0	18	445
178	3		■							■			■	■										4	176.7	8	452
179	3	■			■						■							■						3	175.7	55	300
180	3						■				■										■			3	151.3	42	208
181	3				■	■		■		■														4	150.7	85	194
182	3	■			■	■							■	■										3	101.7	2	289
183	3	■			■	■						■												4	78.0	21	156
184	3				■	■				■												■		4	75.7	9	196
185	3			■	■																			2	72.0	35	126
186	3		■			■		■																3	68.0	3	118
187	3				■	■			■												■			4	67.7	7	98
188	3			■		■							■											3	67.7	58	74
189	3	■			■										■							■		4	55.7	7	93
190	3			■	■	■						■												4	52.3	36	76
191	3							■		■		■			■									3	45.3	7	70
192	3		■		■							■												3	44.7	2	77
193	3					■									■						■			3	31.3	8	68
194	3				■																■			2	24.3	7	44
195	3				■	■				■				■	■					■				4	15.0	6	24
196	3				■	■								■							■			4	10.7	8	15
197	3												■							■				2	7.7	4	14
198	2			■	■							■												3	684.5	641	728
199	2				■	■						■		■	■									4	568.5	28	1109
200	2		■			■				■		■		■										5	530.0	426	634
201	2				■	■						■	■								■			4	423.5	8	839
202	2							■		■		■		■										4	418.0	359	477
203	2	■			■							■					■							3	399.5	300	499
204	2													■	■									2	397.0	148	646
205	2				■	■							■	■	■									5	374.0	15	733
206	2			■		■				■														3	365.0	264	466
207	2									■		■		■										3	348.5	153	544
208	2	■	■									■		■										4	335.0	31	639
209	2		■			■				■					■									4	324.0	181	467
210	2					■				■			■	■										4	298.0	3	593
211	2					■		■		■				■										4	274.5	232	317
212	2					■				■			■	■							■			5	268.5	41	496
213	2				■	■								■			■				■			5	248.0	153	343
214	2		■			■				■						■								4	238.0	204	272
215	2		■			■										■								3	230.5	42	419
216	2					■												■						2	203.5	110	297

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビ ル	ゼリット	コンビ ル	ザイ ン	ビラミ ン	ストック リン	レスクリ ブター	クリキ ン	インビ ラゼ	ノビ ア	ビラセ プト	プ ロセ	フォート ハイス	カトラ	デ ノジ cap	ホスガ ル	クラリス ロマイ ン	ジ スロマ ック	セロステ ム				
217	2				■							■							■					3	198.5	136	261
218	2		■			■												■			■			4	192.0	75	309
219	2			■		■							■								■			4	188.0	7	369
220	2		■			■							■								■			4	185.5	182	189
221	2		■			■			■						■									4	175.5	116	235
222	2				■	■		■							■									4	173.5	109	238
223	2	■				■						■												3	172.0	126	218
224	2									■								■						2	169.0	54	284
225	2	■			■			■										■						4	166.5	28	305
226	2		■															■						3	137.5	108	167
227	2		■		■					■														3	129.0	117	141
228	2						■						■											2	126.0	5	247
229	2	■	■										■	■							■			5	108.5	5	212
230	2							■		■					■						■			4	99.0	46	152
231	2				■													■						2	99.0	2	196
232	2	■			■									■			■							4	91.5	31	152
233	2		■		■									■										3	85.5	60	111
234	2		■					■	■															3	83.0	5	161
235	2		■		■									■			■							4	82.5	5	160
236	2				■	■													■	■				4	81.0	54	108
237	2		■			■		■		■						■				■	■			5	77.5	56	99
238	2		■			■							■						■					4	77.0	15	139
239	2		■			■															■			3	69.0	27	111
240	2	■			■									■	■									4	65.0	49	81
241	2		■			■									■				■					4	61.5	60	63
242	2	■			■															■				3	59.0	14	104
243	2				■					■								■						3	58.0	43	73
244	2	■		■									■						■					4	55.5	13	98
245	2		■		■	■									■									4	53.5	36	71
246	2														■					■				2	50.5	35	66
247	2				■				■															2	50.0	30	70
248	2	■		■										■							■			4	48.0	21	75
249	2					■							■		■				■				■	4	45.0	20	70
250	2				■	■																■		3	44.5	34	55
251	2				■	■			■										■					4	40.5	24	57
252	2	■			■								■						■					4	39.5	9	70
253	2	■	■												■						■			4	37.5	13	62
254	2					■				■														2	35.0	14	56
255	2						■							■			■							3	33.5	18	49
256	2											■									■			2	29.5	8	51
257	2	■										■									■			3	28.0	14	42
258	2	■	■						■															3	25.5	23	28
259	2						■			■									■					3	22.0	20	24
260	2				■					■														2	21.5	10	33
261	2		■			■							■	■					■					5	21.5	19	24
262	2				■	■														■				3	20.5	11	30
263	2				■	■									■					■				4	20.5	8	33
264	2		■			■				■						■					■			5	20.0	14	26
265	2		■												■				■		■			4	18.0	3	33
266	2																					■		1	12.5	7	18
267	2	■								■														2	12.5	10	15
268	2	■																	■					2	12.0	7	17
269	2				■	■						■								■	■			5	10.0	4	16
270	2				■									■							■			3	8.5	3	14

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ル	ゼリット	コンビ ル	ザイ ン	ビラミ ン	ストック リン	レスクリ ター	クリキ ン	インビ ラー ゼ	ノビ ア	ビラ セ プト	プ ロー セ	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ック	セロ ス ティ ム				
271	2				■	■							■	■	■					■				5	8.5	4	13
272	2	■										■								■				3	8.5	5	12
273	2		■			■								■							■			4	6.5	4	9
274	2		■	■		■									■									4	6.5	3	10
275	2	■			■					■		■												4	6.5	4	9
276	2					■				■					■									3	6.0	2	10
277	2		■					■	■									■						4	5.5	3	8
278	2																					■		1	4.5	3	6
279	2							■																1	4.0	2	6
280	2					■						■									■			3	3.5	2	5
281	2	■			■										■							■		4	3.0	3	3
282	2		■									■									■			3	2.5	2	3
283	2							■								■								2	2.0	2	2
284	1		■			■						■									■			4	1068.0	1068	1068
285	1	■	■										■		■									4	1041.0	1041	1041
286	1		■				■	■		■														4	1038.0	1038	1038
287	1	■	■	■	■							■												5	913.0	913	913
288	1		■		■				■					■			■							5	790.0	790	790
289	1				■	■		■		■					■									5	718.0	718	718
290	1		■			■								■			■				■			5	668.0	668	668
291	1					■							■		■	■								3	609.0	609	609
292	1				■			■		■				■		■								5	607.0	607	607
293	1		■			■		■		■					■									5	592.0	592	592
294	1				■	■				■					■									4	577.0	577	577
295	1		■		■			■		■				■		■								6	567.0	567	567
296	1				■	■											■							3	556.0	556	556
297	1							■		■			■								■			4	529.0	529	529
298	1		■							■						■								3	518.0	518	518
299	1		■						■										■					3	504.0	504	504
300	1			■		■						■		■										4	503.0	503	503
301	1					■							■	■							■			4	501.0	501	501
302	1							■		■			■	■										4	498.0	498	498
303	1		■			■		■						■			■							5	485.0	485	485
304	1	■							■							■								3	483.0	483	483
305	1					■			■				■	■	■									5	472.0	472	472
306	1		■		■										■						■			4	444.0	444	444
307	1					■		■		■		■		■										5	431.0	431	431
308	1		■	■								■												3	429.0	429	429
309	1	■			■								■	■							■			5	421.0	421	421
310	1						■	■	■						■									3	418.0	418	418
311	1	■		■																	■			4	417.0	417	417
312	1				■	■								■					■		■			5	391.0	391	391
313	1					■			■					■			■							4	365.0	365	365
314	1	■										■		■										3	365.0	365	365
315	1	■			■							■										■		4	365.0	365	365
316	1	■			■							■			■									4	365.0	365	365
317	1						■										■	■						3	363.0	363	363
318	1				■	■		■	■				■	■					■		■			6	357.0	357	357
319	1							■	■						■									3	348.0	348	348
320	1						■			■					■									3	347.0	347	347
321	1					■		■	■															3	307.0	307	307
322	1		■										■											2	307.0	307	307
323	1	■	■							■								■						4	299.0	299	299
324	1		■		■								■	■										4	293.0	293	293

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	スト ック リン	レス クリ プ ター	クリ シ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ プ ト	プ ロ セ 	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ツ ク	セ ロ ス ティ ム				
325	1				■								■								■			3	285.0	285	285
326	1	■							■			■												3	285.0	285	285
327	1	■	■												■				■					4	271.0	271	271
328	1					■			■			■												3	266.0	266	266
329	1				■	■									■						■	■		5	263.0	263	263
330	1		■		■	■			■									■						5	261.0	261	261
331	1				■		■								■									3	255.0	255	255
332	1	■		■								■							■		■			5	248.0	248	248
333	1		■			■		■		■			■		■									6	245.0	245	245
334	1				■	■									■							■		4	238.0	238	238
335	1				■					■					■						■			5	237.0	237	237
336	1						■					■							■					3	231.0	231	231
337	1		■		■	■				■														4	216.0	216	216
338	1			■						■		■		■										4	212.0	212	212
339	1				■	■	■								■									4	210.0	210	210
340	1			■	■										■									3	201.0	201	201
341	1				■			■							■									3	196.0	196	196
342	1			■	■	■																		3	196.0	196	196
343	1		■		■							■		■										4	195.0	195	195
344	1	■			■									■			■				■			5	195.0	195	195
345	1		■					■		■								■						4	193.0	193	193
346	1					■				■		■		■										4	192.0	192	192
347	1			■	■	■						■			■									5	192.0	192	192
348	1						■								■						■			3	189.0	189	189
349	1				■	■				■			■	■	■						■			7	189.0	189	189
350	1					■						■			■									3	187.0	187	187
351	1			■									■	■										3	184.0	184	184
352	1			■				■	■												■			4	183.0	183	183
353	1		■			■			■												■			4	182.0	182	182
354	1	■		■	■	■						■			■									6	173.0	173	173
355	1	■	■		■								■											4	170.0	170	170
356	1					■		■										■						3	167.0	167	167
357	1				■	■			■									■			■			5	166.0	166	166
358	1									■			■	■							■			4	165.0	165	165
359	1	■						■		■														3	165.0	165	165
360	1	■	■							■					■									4	162.0	162	162
361	1							■		■					■				■					4	159.0	159	159
362	1		■					■																2	157.0	157	157
363	1															■								1	156.0	156	156
364	1				■					■					■			■						4	153.0	153	153
365	1		■			■									■								■	4	150.0	150	150
366	1	■				■							■											3	139.0	139	139
367	1				■	■				■				■		■								5	138.0	138	138
368	1				■	■							■					■						4	136.0	136	136
369	1		■	■		■																		3	132.0	132	132
370	1				■	■								■			■			■				5	129.0	129	129
371	1	■			■										■				■				■	5	129.0	129	129
372	1						■			■		■		■										4	128.0	128	128
373	1		■				■	■																3	128.0	128	128
374	1							■		■														2	124.0	124	124
375	1				■	■				■										■		■		5	123.0	123	123
376	1	■		■	■								■							■				4	123.0	123	123
377	1			■		■							■	■										4	121.0	121	121
378	1		■			■		■		■			■		■								■	7	117.0	117	117

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラー ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	プ ロー セ	フォ ート バ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ック	セ ロ ス ティ ム				
379	1	■	■											■							■			4	113.0	113	113
380	1	■	■		■	■																		4	110.0	110	110
381	1		■			■						■							■					4	108.0	108	108
382	1	■		■													■				■			3	107.0	107	107
383	1		■							■		■	■	■							■			5	100.0	100	100
384	1				■							■		■										3	98.0	98	98
385	1			■								■							■		■			4	97.0	97	97
386	1		■			■							■	■				■						5	97.0	97	97
387	1		■					■										■						3	96.0	96	96
388	1					■				■				■		■								4	91.0	91	91
389	1				■			■	■				■	■										5	90.0	90	90
390	1				■	■				■		■		■							■			6	89.0	89	89
391	1											■	■						■					2	84.0	84	84
392	1				■	■												■	■		■			5	84.0	84	84
393	1		■									■							■					3	84.0	84	84
394	1		■					■		■								■			■			5	84.0	84	84
395	1		■			■									■					■				4	84.0	84	84
396	1	■	■	■	■									■										4	84.0	84	84
397	1		■		■			■		■				■		■			■					7	83.0	83	83
398	1	■			■								■	■	■									5	83.0	83	83
399	1		■	■		■			■						■									5	81.0	81	81
400	1		■			■				■				■			■				■			6	76.0	76	76
401	1		■	■								■			■									4	76.0	76	76
402	1	■		■										■					■					3	75.0	75	75
403	1											■		■										2	73.0	73	73
404	1					■										■								2	71.0	71	71
405	1						■							■	■									3	70.0	70	70
406	1						■	■										■						3	70.0	70	70
407	1	■			■								■	■								■		5	70.0	70	70
408	1	■	■									■		■							■			4	70.0	70	70
409	1							■	■					■										3	68.0	68	68
410	1			■		■						■							■					4	68.0	68	68
411	1	■	■							■											■			4	68.0	68	68
412	1							■	■								■						■	4	67.0	67	67
413	1	■	■											■			■							4	67.0	67	67
414	1		■									■		■										3	66.0	66	66
415	1		■		■	■							■	■										5	65.0	65	65
416	1		■		■			■		■				■		■			■		■			8	64.0	64	64
417	1						■					■		■							■			4	63.0	63	63
418	1				■	■													■		■			4	62.0	62	62
419	1		■				■														■			2	59.0	59	59
420	1	■	■		■	■									■									5	54.0	54	54
421	1		■			■		■								■								4	52.0	52	52
422	1			■		■															■			3	51.0	51	51
423	1	■		■		■						■									■			5	51.0	51	51
424	1	■	■			■							■											4	49.0	49	49
425	1		■		■	■									■					■				5	45.0	45	45
426	1				■										■						■			3	44.0	44	44
427	1					■		■					■	■										4	43.0	43	43
428	1				■	■				■				■				■						4	43.0	43	43
429	1											■		■							■			3	42.0	42	42
430	1	■	■									■			■				■					3	42.0	42	42
431	1				■	■						■			■									4	41.0	41	41
432	1				■	■		■		■		■	■	■										7	39.0	39	39

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビビ ル	ゼリット	コンビ ビ ル	ザイ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリシ ン	インビ ラー ゼ	ノビ ア	ビ ラセ プト	プ ロー セ	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ツ ク	セロ ス ティ ム				
433	1	■							■															2	39.0	39	39
434	1				■	■			■							■								4	38.0	38	38
435	1		■			■				■		■												4	38.0	38	38
436	1			■																■				2	37.0	37	37
437	1					■							■	■					■					4	36.0	36	36
438	1					■		■		■			■	■										5	35.0	35	35
439	1	■												■	■						■			3	35.0	35	35
440	1												■	■					■		■			4	34.0	34	34
441	1				■	■		■		■									■		■			5	34.0	34	34
442	1	■	■															■				■		4	34.0	34	34
443	1	■		■		■							■											4	33.0	33	33
444	1											■								■				2	32.0	32	32
445	1							■		■			■	■						■				5	32.0	32	32
446	1				■	■														■	■			5	32.0	32	32
447	1				■										■					■			■	3	31.0	31	31
448	1		■			■			■									■						4	30.0	30	30
449	1								■	■						■								2	28.0	28	28
450	1								■									■						2	28.0	28	28
451	1				■				■						■									3	28.0	28	28
452	1				■	■											■				■			4	28.0	28	28
453	1		■			■				■				■					■					4	28.0	28	28
454	1		■			■			■				■	■										5	28.0	28	28
455	1					■							■								■			3	27.0	27	27
456	1					■			■									■						3	27.0	27	27
457	1				■				■				■	■										4	26.0	26	26
458	1				■	■								■			■		■					5	26.0	26	26
459	1		■		■	■												■						4	26.0	26	26
460	1						■	■		■						■				■				4	25.0	25	25
461	1						■			■						■				■				3	25.0	25	25
462	1								■							■								2	24.0	24	24
463	1		■			■							■	■					■		■			6	24.0	24	24
464	1	■	■											■			■				■			5	24.0	24	24
465	1		■					■							■									3	22.0	22	22
466	1					■							■						■					3	21.0	21	21
467	1		■			■				■			■	■					■					6	21.0	21	21
468	1		■			■			■				■		■									5	21.0	21	21
469	1		■		■	■						■												4	20.0	20	20
470	1	■			■								■							■				4	20.0	20	20
471	1		■	■																	■			3	17.0	17	17
472	1				■	■						■							■	■				5	16.0	16	16
473	1			■		■								■										3	16.0	16	16
474	1		■			■				■				■			■							5	16.0	16	16
475	1						■			■									■		■			4	15.0	15	15
476	1						■			■								■						3	15.0	15	15
477	1					■		■	■									■						4	15.0	15	15
478	1	■	■							■						■								4	15.0	15	15
479	1			■						■					■									3	14.0	14	14
480	1	■			■									■					■					4	14.0	14	14
481	1	■		■					■															3	14.0	14	14
482	1					■			■															2	13.0	13	13
483	1	■																		■	■			3	13.0	13	13
484	1									■				■		■								3	12.0	12	12
485	1				■	■									■					■	■			5	12.0	12	12
486	1				■	■							■	■						■	■			6	12.0	12	12

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	ア ロ セ	フォ ート バ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イン ソ	ジ ス ロ マ ック	セ ロ ス ティ ム				
487	1	■			■				■						■						■		■	5	12.0	12	12
488	1							■		■						■							■	4	11.0	11	11
489	1					■		■						■										3	11.0	11	11
490	1				■	■						■		■								■		5	11.0	11	11
491	1			■				■				■			■						■			3	11.0	11	11
492	1				■	■								■	■				■		■			6	10.0	10	10
493	1				■	■						■	■											4	10.0	10	10
494	1				■	■		■	■				■	■										6	10.0	10	10
495	1			■				■		■														3	10.0	10	10
496	1		■			■							■	■	■									5	10.0	10	10
497	1							■		■											■			3	9.0	9	9
498	1				■									■						■				3	9.0	9	9
499	1		■		■									■	■		■							5	9.0	9	9
500	1	■			■				■				■											4	9.0	9	9
501	1												■							■	■			3	8.0	8	8
502	1							■		■				■		■					■			5	8.0	8	8
503	1					■							■		■				■		■			5	8.0	8	8
504	1				■			■		■					■			■			■			6	8.0	8	8
505	1				■			■		■				■			■							5	8.0	8	8
506	1		■										■						■		■			3	8.0	8	8
507	1		■			■							■		■						■			5	8.0	8	8
508	1		■		■							■			■					■				4	8.0	8	8
509	1								■						■					■				2	7.0	7	7
510	1							■		■											■			3	7.0	7	7
511	1				■														■					2	7.0	7	7
512	1				■					■												■		3	7.0	7	7
513	1				■			■																2	7.0	7	7
514	1				■	■				■				■										4	7.0	7	7
515	1				■	■		■		■					■							■		6	7.0	7	7
516	1			■				■																2	7.0	7	7
517	1		■							■				■										3	7.0	7	7
518	1		■		■			■		■				■		■					■			7	7.0	7	7
519	1	■		■									■						■		■			5	7.0	7	7
520	1				■					■					■									3	6.0	6	6
521	1				■	■							■	■								■		5	6.0	6	6
522	1				■	■			■						■					■				4	6.0	6	6
523	1				■	■		■		■					■						■			6	6.0	6	6
524	1		■			■				■				■										4	6.0	6	6
525	1	■			■							■	■											4	6.0	6	6
526	1	■		■															■		■			4	6.0	6	6
527	1	■	■									■												4	6.0	6	6
528	1					■								■							■			3	5.0	5	5
529	1					■		■		■								■						4	5.0	5	5
530	1		■		■			■		■				■							■			6	5.0	5	5
531	1	■								■		■		■										4	5.0	5	5
532	1					■				■				■							■			4	4.0	4	4
533	1				■	■		■					■	■										5	4.0	4	4
534	1		■																■					2	4.0	4	4
535	1		■			■												■				■		4	4.0	4	4
536	1		■			■								■					■					4	4.0	4	4
537	1	■							■			■		■										4	4.0	4	4
538	1					■		■		■			■		■					■				5	3.0	3	3
539	1				■															■				2	3.0	3	3
540	1				■	■						■										■		4	3.0	3	3

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2002年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビル	ウーアイ デックス	ハ化ット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイ ジェン	ビラミュー ン	ストックリン	レスクリ ター	クリキバ ン	インビラ ゼ	ノービア	ビラセ プト	プロセ	フォート ビス	カトラ	デノシン cap	ホスガ ビル	クラリス ロマイ シン	ジスロ マック	セロステ イル				
541	1				■	■						■			■				■					5	3.0	3	3
542	1				■	■			■													■		4	3.0	3	3
543	1		■			■				■												■		4	3.0	3	3
544	1	■																		■				2	3.0	3	3
545	1																	■				■		2	2.0	2	2
546	1												■								■			2	2.0	2	2
547	1					■		■								■					■			3	2.0	2	2
548	1			■				■					■								■			4	2.0	2	2
549	1		■									■								■				3	2.0	2	2
550	1		■							■														2	2.0	2	2
551	1		■					■		■			■	■										5	2.0	2	2
552	1		■			■				■				■		■								5	2.0	2	2
計		1334201	383608	173350	1421573	783117	44088	31298	35093	144549	0	493119	135226	171383	678074	10760	7803	16534	16634	2375	79323	1381	1848				

: 計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1 : 調査票に上記薬剤の治験中 (承認前) の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2 : 1 日併用に関しては除外した。

投与期間：調査開始～1997年10月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								抗CMV		抗MAC		体重減少	
		レトロビ ル	ウ アイ デ ッ クス	ハイビ ット	エビ ル	セ リ ット	コン ビ ル	ザ イ ジ ン	ヒ ラ ミ ユ ン	ストック リン	レスクリ プ ター	クリキバ ン	イン ビ ラ ゼ	ノー ビ ア	ビ ラ セ フ ト	プロ ロー ゼ	フォ ート ヘ イ ス	カ レ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホ ス カ ビ ル	ク ラ リ ス ロ マ イ ン	ジ ン ス ロ マ ック	セ ロ ス テ ィ ム	剤 数	
1	536	■																						1	
2	433	■			■																			2	
3	276	■			■						■													3	
4	247	■	■																					2	
5	219	■		■																				2	
6	175		■																					1	
7	62			■																				1	
8	59	■		■							■													3	
9	59	■									■													2	
10	54	■			■										■									3	
11	53					■																		1	
12	49				■	■					■													3	
13	49				■	■																		2	
14	45				■	■																		3	
15	37	■			■							■												3	
16	34				■																			1	
17	29																							1	
18	27	■	■								■										■			3	
19	25										■													1	
20	23	■		■								■												3	
21	21			■							■													2	
22	18			■								■												2	
23	18	■			■								■											3	
24	17		■			■								■										2	
25	17				■						■													2	
26	16		■								■													2	
27	16	■		■									■											3	
28	16	■			■						■										■			4	
29	15	■	■									■												3	
30	14			■		■																		2	
31	14	■			■																■			3	
32	13	■										■												2	
33	13	■											■											2	
34	13	■		■																	■			3	
35	12	■		■																				3	
36	11	■													■									2	
37	11	■	■		■										■									3	
38	11	■																			■			2	
39	11				■	■						■												3	
40	8													■										1	
41	8			■																	■			2	
42	8	■	■																		■			3	
43	7			■										■										2	
44	7					■																		2	
45	7				■	■															■			4	
46	7	■			■																■			4	
47	6		■																		■			2	
48	6				■							■												2	
49	6											■												1	
50	6			■							■										■			3	
51	6																		■					1	
52	5	■	■											■										3	
53	5	■	■												■									3	
54	5				■									■										2	

表 2 - 1 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始 ~ 1997年10月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	
		レトビ [®] ル	グ [®] アイ [®] テ [®] ックス	ハイ [®] ビ [®] ット	エ [®] ビ [®] ル	ゼ [®] リット	コン [®] ビ [®] ル	ザ [®] イ [®] シン	ビ [®] ラミューン	ストック [®] リン	レスクリ [®] プター	クリ [®] キシン [®] バン	イン [®] ビ [®] ラー [®] ゼ	ノー [®] ビ [®] ア	ビ [®] ラセ [®] プト	プロ [®] ロー [®] ゼ	フォ [®] ート [®] ベ [®] ィ [®] ス	カ [®] レ [®] トラ	デ [®] ノ [®] シ [®] cap	ホ [®] ス [®] ガ [®] ビ [®] ル	クリ [®] ス [®] ロ [®] マイ [®] シン	ジ [®] ス [®] ロ [®] マ [®] ック	セ [®] ロ [®] ス [®] ティ [®] ム		
109	1				■						■								■						3
110	1			■	■	■					■			■											5
111	1	■	■	■	■						■														5
112	1	■										■	■												3
113	1	■		■	■							■													4
114	1	■	■										■								■				4
115	1	■	■		■	■							■												4
116	1				■	■					■									■					4
117	1			■							■								■		■				4
118	1											■							■						2
119	1				■	■							■						■		■				5
120	1	■	■	■	■																				4
121	1				■	■						■							■						4
122	1		■		■						■														3
123	1	■		■							■								■						3
124	1	■	■								■										■				4
125	1		■			■		■																	3
126	1					■						■			■				■						4
127	1		■			■									■										3
128	1										■										■				2
129	1	■		■		■					■										■				5
130	1	■	■																■						3
131	1	■	■			■						■													4
132	1			■		■															■				3
133	1			■																■					2
134	1					■						■	■												3
135	1	■											■								■				3
136	1										■									■					2
137	1				■			■																	2
138	1		■								■								■						3
139	1				■	■									■				■						4
140	1	■			■							■									■				4
141	1					■						■							■						3
142	1	■			■	■					■														4
143	1				■	■													■						3
144	1		■	■																	■				3
145	1					■						■									■				3
146	1			■		■									■										3
147	1				■								■								■				3
148	1	■																		■	■				3
149	1				■	■														■					3
150	1																		■		■				2
151	1				■	■					■	■													4
152	1				■								■							■					3
153	1	■			■						■		■												4
154	1											■								■	■				3
155	1	■			■	■									■										4
156	1	■		■								■							■		■				5
157	1	■			■						■								■		■				5
158	1	■		■															■		■				4
159	1	■	■			■					■														4
160	1				■															■					2
161	1			■		■		■																	3
計		516969	185417	80349	124467	31143	0	0	169	0	0	69379	16286	11537	12921	0	0	0	2828	733	12310	0	0		

表 2 - 1 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始 ~ 1997年10月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビル	ザイデックス	ハルビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキパ	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カトラ	テンシcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム

: 計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1 : 調査票に上記薬剤の治験中 (承認前) の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。
注 2 : 1 日併用に関しては除外した。

表 2 - 2 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1997年11月1日 ~ 1998年10月31日

No	組合 症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトビ [®] ル	ガ [®] アイデ [®] ッ クス	ハイビ [®] ット [®]	エビ [®] ビ [®] ル	セ [®] リット	コンビ [®] ビ [®] ル	ザ [®] イアジ [®] エ ン	ビ [®] ラミューン	ストックリン	レスクリプ ター	クリキシバン	インビ [®] ラ ゼ	ノービ [®] ア	ビ [®] ラセプ [®] ト	プロ [®] ローセ [®]	フォート [®] ベ [®] イ ス	カレトラ	デ [®] ノシン cap	ホスガビ [®] ル	クラリスロマイ シン	ジ [®] スロマック	セロステイム		
1	395	■			■						■													3	
2	345	■			■																			2	
3	220				■	■																		3	
4	184	■			■										■									3	
5	128				■	■					■													3	
6	97				■	■																		2	
7	76	■			■																			3	
8	58	■										■												1	
9	51	■		■																				2	
10	44		■			■																		3	
11	42	■		■							■													3	
12	40	■			■									■										3	
13	34	■	■																					2	
14	33		■			■																		2	
15	31																				■			1	
16	30	■			■						■										■			4	
17	28	■	■								■													3	
18	28				■	■						■												3	
19	28				■																			2	
20	27				■	■									■						■			4	
21	24				■	■								■										3	
22	24				■																			1	
23	23		■																					1	
24	23				■	■							■	■										4	
25	20	■									■													2	
26	18		■			■					■													3	
27	16		■			■								■										3	
28	14	■		■											■									3	
29	14	■			■																■			3	
30	13		■								■													2	
31	13				■	■					■										■			4	
32	11				■							■												2	
33	11				■	■															■			3	
34	11					■																		1	
35	10	■		■								■												3	
36	10					■					■													2	
37	10					■									■									2	
38	9	■	■									■												3	
39	9		■			■						■	■											4	
40	9										■													1	
41	8	■	■											■										3	
42	8	■	■												■									3	
43	8	■													■									2	
44	8				■	■					■							■						4	
45	8	■			■										■						■			4	
46	6					■						■	■											3	
47	6		■			■						■												3	
48	6			■																				1	
49	6		■		■	■																		3	
50	6											■	■											2	
51	5			■							■													2	
52	5	■										■												2	
53	5	■			■						■							■						4	
54	5																		■	■	■			2	

表 2 - 2 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1997年11月1日 ~ 1998年10月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトビ`ル	ウ`アイテ`ッ クス	ルビ`ット`	エ`ビ`ル	ゼ`リット	コン`ビ`ル	ザ`イアジ` ン	ビ`ラミューン	ストックリン	レスクリブ` ター	クリキシル` ン	インビ`ラ- ゼ	ノービ`ア	ビ`ラセプト	プロ`セ	フォートベ`イ ス	カレトラ	デ`ノシン cap	ホスガビ`ル	クリスロマイ シン	ジ`スロマック	セロスティム	
55	4	■		■										■										3
56	4			■		■																		2
57	4														■									1
58	4				■	■							■						■					4
59	4				■							■									■			3
60	4	■			■														■					3
61	4				■	■							■		■									4
62	4													■										1
63	4				■	■									■				■					4
64	3	■	■		■																			3
65	3			■		■						■												3
66	3	■												■										2
67	3			■		■									■									3
68	3			■									■											2
69	3				■	■			■															3
70	3					■								■										2
71	3		■			■							■		■									4
72	3				■								■	■					■					3
73	3	■			■										■				■					4
74	3					■						■	■											2
75	3	■			■							■							■		■			5
76	3				■									■										2
77	3																		■					1
78	2			■	■							■												3
79	2		■											■										2
80	2		■		■									■							■			4
81	2			■											■									2
82	2	■		■								■									■			4
83	2	■			■									■							■			4
84	2	■	■										■	■										4
85	2				■										■									2
86	2				■	■							■	■							■			5
87	2		■			■			■															3
88	2		■												■									2
89	2				■							■							■					3
90	2				■	■							■	■										4
91	2				■	■							■								■			4
92	2		■			■															■			3
93	2	■			■									■	■									4
94	2		■		■	■									■									4
95	2			■		■			■															3
96	2	■																			■			2
97	2					■															■			3
98	2	■			■										■					■				4
99	2	■			■								■						■					4
100	2				■	■													■					3
101	2																		■		■			2
102	2				■	■						■								■				4
103	2					■															■			2
104	2	■			■							■								■				4
105	2		■												■				■		■			4
106	2				■	■						■							■		■			5
107	2					■							■		■				■					4
108	2		■			■								■							■			4

表 2 - 2 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1997年11月1日 ~ 1998年10月31日

No 組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトロビル	ザイデックス	ハルビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシルン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートベイス	カレトラ	デノシン cap	ホスガビル	クリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
109	2												■											1
110	2					■						■									■			3
111	2		■									■									■			3
112	1				■							■							■		■			4
113	1		■	■								■												3
114	1	■	■	■	■							■												5
115	1			■		■							■								■			4
116	1				■	■								■					■		■			5
117	1	■		■									■	■					■					4
118	1	■			■	■								■										3
119	1				■	■							■	■					■		■			6
120	1		■		■											■								3
121	1			■									■	■										3
122	1		■			■							■								■			4
123	1	■		■	■	■						■				■								6
124	1	■											■	■										3
125	1		■			■							■						■					4
126	1	■				■						■												3
127	1			■		■							■	■										4
128	1			■	■	■																		3
129	1		■			■						■							■					4
130	1		■										■											2
131	1													■		■								2
132	1	■			■	■										■								4
133	1	■			■								■	■										4
134	1	■			■							■				■								4
135	1				■								■								■			3
136	1		■	■								■				■								4
137	1	■	■									■									■			3
138	1			■		■						■							■					4
139	1		■																		■			2
140	1		■		■	■							■	■										5
141	1		■			■										■			■					4
142	1			■		■							■											3
143	1	■		■																	■			3
144	1		■									■							■					3
145	1				■	■										■			■					5
146	1		■		■	■										■				■				5
147	1				■	■						■				■								4
148	1				■				■															2
149	1												■	■					■		■			4
150	1		■			■							■	■							■			5
151	1															■					■			2
152	1	■			■								■							■				4
153	1	■		■	■																			3
154	1	■	■			■																		3
155	1	■			■								■								■			4
156	1				■	■							■	■	■									5
157	1	■			■									■					■					4
158	1	■		■					■															3
159	1				■	■										■				■	■			5
160	1				■	■							■	■						■	■			6
161	1					■							■								■			3
162	1			■		■															■			3

表 2 - 2 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1997年11月1日 ~ 1998年10月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトロビル	ザイデックス	ルビナット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシルン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロロゼ	フォートベイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
163	1				■	■								■	■				■		■			6
164	1				■	■							■	■					■					5
165	1											■									■			2
166	1					■							■		■				■		■			5
167	1		■																■		■			3
168	1				■														■					2
169	1	■	■			■							■											4
170	1	■			■							■	■											4
171	1					■								■							■			3
172	1				■	■						■								■	■			5
173	1		■																	■				2
174	1		■			■								■					■					4
175	1				■									■							■			3
176	1	■																		■				2
計		249582	40712	36093	290538	109351	0	0	700	0	0	140788	34918	23643	84336	0	0	0	4469	446	16754	0	0	

: 計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1 : 調査票に上記薬剤の治験中 (承認前) の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2 : 1 日併用に関しては除外した。

表 2 - 3 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1998年11月1日 ~ 2000年3月31日

No	組合 症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトロビ ル	ウ アイ デ ックス	ルビ ット	エ ビ ル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ア ジ ン	ビ ラ ミ ュー ン	ストック リン	レスクリ プ ター	クリキ バ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ フト	プ ロ セ	フォ ト ベ イ ス	カ レ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホ ス ガ ビ ル	クリ ス ロ マイ ジ ン	ジ ス ロ マ ック	セ ロ ス ティ ム	
1	432				■	■									■									3
2	334	■			■							■												3
3	328	■			■										■									3
4	191	■			■																			2
5	139				■	■						■												3
6	84		■			■									■									3
7	77				■	■																		2
8	55				■	■							■	■										4
9	41	■			■								■											3
10	41				■	■				■														3
11	38				■	■									■						■			4
12	36																				■			1
13	32	■		■																				2
14	32		■			■							■	■										4
15	32		■			■																		2
16	27				■	■			■															3
17	25	■		■								■												3
18	24	■		■	■							■		■	■									3
19	24	■			■							■		■										4
20	23	■			■							■									■			4
21	22	■			■									■										3
22	20				■	■								■										3
23	19	■	■									■												3
24	18	■	■												■									3
25	18	■			■										■						■			4
26	18				■	■						■		■										4
27	16				■	■							■											3
28	16				■	■						■									■			4
29	16	■																						1
30	15				■										■									2
31	14		■			■						■												3
32	14						■					■			■									2
33	13				■							■			■									2
34	12					■									■									2
35	11		■			■			■															3
36	11						■			■														2
37	11		■			■				■														3
38	11	■			■				■															3
39	11	■			■					■														3
40	9	■			■								■	■										4
41	9				■																			1
42	8		■			■								■										3
43	8				■	■						■							■					4
44	8				■	■															■			3
45	7	■	■											■										3
46	7	■	■										■	■										4
47	7	■										■												2
48	7		■																					1
49	7	■			■	■									■									4
50	7											■												1
51	7							■		■						■								3
52	6	■		■									■											3
53	6		■			■							■	■							■			5
54	6				■	■									■				■					4

投与期間：1998年11月1日～2000年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	割 数
		レトロビ ^ル	ガ ^{アイ} デ ^ッ クス	ハイバ ^{ット}	エビ ^ル	セ ^{リット}	コンバ ^ル	ザ ^イ アジ ^ン	ヒ ^ラ ミューン	ストックリン	レスクリプ ^{ター}	クリキシバン	インビ ^ラ ゼ ^ィ	ノービ ^ア	ビ ^ラ セプト	プロ ^{ロー} ゼ ^ィ	フォートバ ^ィ ス	カトラ	テ ^ノ シン cap	ホスガビ ^ル	クリスロマイ シン	ジ ^ス ロマック	セロスティム	
109	2			■		■					■													3
110	2					■							■											2
111	2			■							■			■										2
112	2		■			■			■		■													5
113	2		■			■		■							■									4
114	2						■					■												2
115	2					■			■			■												4
116	2	■			■	■					■													4
117	2					■	■								■									3
118	2					■			■			■									■			5
119	2				■	■						■							■					4
120	2		■						■			■								■				4
121	2		■			■	■		■							■								5
122	2				■	■			■			■												5
123	2						■				■			■										3
124	2						■		■						■						■			4
125	2				■		■		■															3
126	2				■	■																	■	3
127	2				■	■		■										■						4
128	2						■		■												■			3
129	2		■			■												■						3
130	2		■		■						■													3
131	2	■			■						■								■					4
132	2	■	■					■																3
133	2		■			■						■	■					■						5
134	2				■	■									■				■					4
135	2		■			■			■							■					■			5
136	2	■			■										■				■					4
137	2			■		■						■									■			4
138	2				■	■					■							■			■			5
139	2				■	■						■	■						■					5
140	2		■	■		■									■									4
141	2					■			■						■									3
142	2						■																	1
143	2						■									■								2
144	1				■						■							■			■			4
145	1				■	■							■		■									4
146	1				■	■						■									■			4
147	1	■			■								■								■			4
148	1					■						■	■								■			4
149	1	■	■									■			■									4
150	1			■		■		■																3
151	1	■		■											■						■			4
152	1	■	■								■		■											4
153	1				■	■						■		■	■									5
154	1	■	■	■	■						■													5
155	1		■			■					■										■			4
156	1		■				■		■															4
157	1		■					■										■						3
158	1		■		■							■		■										4
159	1	■						■			■													3
160	1	■			■						■													4
161	1	■	■												■			■						4
162	1					■		■			■													3

投与期間：1998年11月1日～2000年3月31日

No	組合	数	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤					非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
				レトビ [®] ル	ザ [®] アイデ [®] ックス	ハイビ [®] ット [®]	エビ [®] ビ [®] ル	セ [®] リット	コンビ [®] ビ [®] ル	ザ [®] イアジ [®] ン	ビ [®] ラミューン	ストックリン	レスクリプ [®] ター	クリキシバン	インビ [®] ラーゼ	ノービ [®] ア	ビ [®] ラセプト	プロ [®] ローゼ	フォートベ [®] イス	カトラ	デ [®] ノシン cap	ホスガビ [®] ル	クリスロマイシン	ジ [®] スロマック
163	1			■				■			■		■		■									6
164	1		■									■												2
165	1							■			■				■									4
166	1			■				■			■				■									5
167	1							■			■		■											4
168	1		■			■											■							3
169	1		■					■			■													3
170	1					■		■			■				■									4
171	1		■	■								■		■							■			5
172	1		■		■						■										■			4
173	1				■		■								■									3
174	1		■			■					■								■		■			5
175	1		■	■							■													3
176	1						■								■						■			3
177	1				■		■				■		■		■						■			7
178	1			■			■					■									■			4
179	1				■			■	■												■			4
180	1			■			■		■												■			4
181	1									■		■		■							■			3
182	1									■		■		■							■			4
183	1						■				■										■			4
184	1				■	■					■													3
185	1				■		■					■							■		■			5
186	1							■			■					■			■					4
187	1			■							■													3
188	1		■				■					■					■							3
189	1						■	■																2
190	1				■		■				■			■										4
191	1				■		■									■								3
192	1			■			■									■								3
193	1		■	■						■					■									4
194	1				■		■					■		■					■		■			6
195	1				■			■			■			■		■								5
196	1			■			■	■																3
197	1				■		■						■				■				■			5
198	1		■						■				■		■		■							3
199	1			■			■	■					■											3
200	1			■			■	■																2
201	1			■			■	■						■										5
202	1			■			■	■			■		■		■								■	7
203	1						■	■			■		■		■									4
204	1						■		■			■		■		■								5
205	1		■		■								■		■		■							3
206	1			■			■				■				■						■			4
207	1			■							■		■											5
208	1				■						■		■		■						■			3
209	1						■					■			■									3
210	1				■		■					■							■					4
211	1			■			■						■		■						■			4
212	1				■			■	■				■		■									5
213	1				■		■	■			■													4
214	1													■										1
215	1			■			■								■					■				4
216	1		■			■							■		■		■							5

投与期間：1998年11月1日～2000年3月31日

No	組合 数	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	割 数	
			レトビ [*] ル	ガ [*] アイデ [*] ッ クス	ハイビ [*] ット [*]	エビ [*] ビ [*] ル	セ [*] リット	コンビ [*] ビ [*] ル	ザ [*] イアジ [*] ン	ヒ [*] ラミュン	ストックリン	レスクリプ [*] ター	クリキシバン	インビ [*] ラー ゼ [*]	ノービ [*] ア	ビ [*] ラセプト	プロ [*] ローゼ [*]	フォートヘ [*] イス	カトラ	テ [*] ノシン cap	ホスガビ [*] ル	クリスロマイ シン	ジ [*] スロマック		セロステイム
217	1				■	■	■																		3
218	1			■	■		■		■																5
219	1			■		■																■			4
220	1			■			■				■				■			■				■			6
221	1							■	■					■											3
222	1							■	■							■								■	4
223	1					■		■								■									4
224	1		■				■									■								■	4
225	1		■	■										■				■							4
226	1						■				■			■											5
227	1			■		■																			3
228	1		■		■							■													3
229	1			■				■									■			■					4
230	1					■		■											■		■				4
231	1		■	■													■				■				4
232	1			■		■			■						■			■							5
233	1		■	■		■		■									■								5
234	1						■	■	■																3
235	1																		■		■				2
236	1					■											■				■				3
237	1						■	■						■	■										4
238	1											■		■								■			3
239	1		■	■		■							■	■	■										4
240	1					■		■			■		■	■	■										7
241	1			■		■																			2
242	1		■						■																2
243	1					■		■		■							■								4
244	1			■				■			■		■												4
245	1							■						■	■					■					4
246	1				■		■					■													4
247	1					■								■											2
248	1					■		■			■										■				5
249	1		■			■		■						■	■										4
250	1						■				■			■	■										5
251	1					■										■			■					■	3
252	1		■			■					■										■				4
253	1					■			■																2
254	1													■											1
255	1										■														2
256	1					■			■								■								3
257	1			■			■				■								■						4
258	1					■			■					■	■										4
259	1						■		■		■						■			■					4
260	1							■									■								2
261	1			■				■						■	■				■		■				6
262	1		■	■										■	■				■						5
263	1			■				■										■							3
264	1			■			■		■					■					■						5
265	1			■		■							■												4
266	1																							■	1
267	1					■		■											■					■	4
268	1					■		■					■							■					5
269	1					■		■					■						■						5
270	1			■				■			■				■				■						5

表 2 - 3 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1998年11月1日 ~ 2000年3月31日

№組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトロビル	ウーアイテックス	ルビナビル	エビビル	ゼリット	コンビルビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキバン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートベイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル	クリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
271	1		■			■							■						■					4
272	1	■	■							■						■								4
273	1			■						■					■									3
274	1					■			■															2
275	1		■									■		■										3
276	1	■			■				■						■						■			5
277	1							■		■						■							■	4
278	1					■		■						■										3
279	1			■				■													■			3
280	1				■					■														2
281	1				■	■		■	■				■	■										6
282	1			■				■		■														3
283	1		■			■							■	■	■									5
284	1	■								■														2
285	1							■		■										■				3
286	1		■		■									■	■		■							5
287	1	■			■				■				■											4
288	1							■		■				■		■					■			5
289	1					■									■						■			3
290	1				■			■		■				■			■							5
291	1		■			■							■		■						■			5
292	1		■		■							■			■					■				4
293	1								■						■									2
294	1							■		■											■			3
295	1				■																■			2
296	1				■			■																2
297	1				■	■				■				■										4
298	1			■				■																2
299	1		■							■				■										3
300	1				■	■													■					3
301	1				■	■			■											■				4
302	1		■			■				■				■										4
303	1				■	■		■		■					■									5
304	1		■		■									■			■							4
305	1	■								■		■		■										4
306	1					■				■				■							■			4
307	1				■	■						■		■							■			5
308	1				■	■		■					■	■										5
309	1	■							■			■		■										4
310	1					■		■		■			■		■									5
311	1				■	■									■					■				3
312	1				■	■						■			■				■					5
313	1												■								■			2
314	1					■							■											2
315	1			■									■											2
316	1			■				■					■								■			4
317	1		■									■								■				3
318	1		■							■														2
319	1		■			■										■								3
320	1	■											■	■										3
計		329596	79559	37227	520679	301464	5283	5634	10257	14368	0	188556	53200	59903	290585	1824	842	0	5800	793	27056	0	416	

: 計の日数は患者全体の投与日数を示した。

表 2 - 3 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 1998年11月1日 ~ 2000年3月31日

No	組合 症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトロビル	ウーアイテックス	ルビナット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイアジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキバリン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カトラ	テンシcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	

注 1 : 調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2 : 1 日併用に関しては除外した。

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合 数 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
		レトビ [®] ル	グアイデ [®] ックス	ハイビ [®] ット	エピ [®] ビル	セリット	コンビ [®] ビル	ザイアジ [®] ン	ヒラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシバン	インビラーゼ	ノービア	ビラセプト	プロロセ	フォートベイス	カルトラ	デノシンcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	剤数
1	323				■	■								■									3	
2	205	■			■									■									3	
3	128				■	■			■														3	
4	95	■			■						■												3	
5	74	■			■																		2	
6	47								■														2	
7	46		■			■				■				■									3	
8	46	■			■					■													3	
9	44				■	■					■												3	
10	38	■			■						■		■										4	
11	34				■	■		■															3	
12	34				■	■																	2	
13	32				■	■						■	■										4	
14	32				■	■					■		■										4	
15	28						■							■									2	
16	28		■			■				■													3	
17	23																			■			1	
18	21				■	■								■						■			4	
19	20		■			■						■	■										4	
20	18	■		■																			2	
21	17	■	■											■									3	
22	12	■		■										■									3	
23	11	■			■								■										3	
24	11	■			■							■											3	
25	10	■		■							■												3	
26	9	■	■						■														3	
27	9	■			■			■															3	
28	9				■	■			■											■			4	
29	7				■	■							■										3	
30	7				■	■							■										4	
31	7				■	■					■		■			■				■			5	
32	7	■			■							■	■										4	
33	7				■	■	■						■										3	
34	6					■	■		■														3	
35	6	■	■							■			■										3	
36	6						■		■				■		■								3	
37	6						■		■		■		■										3	
38	6						■		■				■		■								4	
39	6						■	■															2	
40	6		■			■					■												3	
41	6		■			■																	2	
42	6						■				■												2	
43	5	■	■								■												3	
44	5		■			■			■			■	■										5	
45	5				■								■	■									2	
46	5		■			■					■		■										4	
47	5						■	■															2	
48	5	■			■									■						■			4	
49	4					■								■									2	
50	4		■			■							■										3	
51	4		■			■	■		■														4	
52	4						■																1	
53	4								■														1	

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合	数	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤				非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少		
				レトビ [®] ル	グアイデ [®] ックス	ハイビ [®] ット	エビ [®] ビル	ゼリット	コンビ [®] ビル	ザイア [®] ジョン	ビ [®] ラミューン	ストックリン	レスクリ [®] プター	クリキシバ [®] ン	インビ [®] ラーゼ	ノービア	ビ [®] ラセプト	プロ [®] ロセ	フォート [®] ベイス	カレトラ	デ [®] ノシンcap	ホスカ [®] ビル	クラリスロマイ [®] シン	ジ [®] スロマック
54	3																							3
55	3																							3
56	3																							4
57	3																							4
58	3																							3
59	3																							3
60	3																							3
61	3																							3
62	3																							5
63	3																							4
64	3																							3
65	3																							3
66	3																							1
67	3																							1
68	3																							3
69	3																							2
70	3																							4
71	3																							3
72	2																							4
73	2																							5
74	2																							4
75	2																							5
76	2																							3
77	2																							4
78	2																							4
79	2																							3
80	2																							4
81	2																							2
82	2																							5
83	2																							3
84	2																							4
85	2																							3
86	2																							4
87	2																							3
88	2																							4
89	2																							4
90	2																							4
91	2																							5
92	2																							3
93	2																							4
94	2																							4
95	2																							3
96	2																							3
97	2																							3
98	2																							1
99	2																							1
100	2																							4
101	2																							3
102	2																							3
103	2																							3
104	2																							4
105	2																							1
106	2																							4

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
107	1										■		■		■										3
108	1								■		■		■	■								■			4
109	1								■		■		■		■										4
110	1							■	■	■															3
111	1						■							■		■									3
112	1						■				■			■	■										4
113	1						■				■			■	■							■			5
114	1						■			■				■	■	■									5
115	1						■		■		■		■		■										5
116	1				■								■												2
117	1				■				■		■				■		■								5
118	1				■		■								■	■									4
119	1				■		■							■		■									3
120	1				■		■							■	■	■									5
121	1				■		■				■					■									4
122	1				■		■		■		■					■									5
123	1			■			■									■									3
124	1			■			■						■			■									4
125	1		■													■									2
126	1		■																						2
127	1		■								■						■								3
128	1		■					■	■		■														4
129	1		■				■							■											3
130	1		■				■						■									■			4
131	1		■				■		■						■			■							5
132	1		■				■		■		■					■									5
133	1		■			■										■						■			4
134	1		■			■				■						■		■							5
135	1	■														■									2
136	1	■											■			■									3
137	1	■				■									■							■			4
138	1	■	■											■		■									4
139	1	■							■	■						■	■								3
140	1								■	■						■									3
141	1						■		■		■					■									4
142	1						■		■	■															3
143	1		■				■								■			■				■			5
144	1								■		■			■	■				■						4
145	1				■		■									■						■	■		5
146	1	■			■						■		■									■			4
147	1							■					■							■					3
148	1	■			■									■	■							■			5
149	1				■		■	■								■									4
150	1		■				■				■						■								4
151	1		■							■										■					3
152	1		■			■			■		■				■		■								6
153	1				■				■							■									3
154	1						■				■		■		■										4
155	1				■		■											■							3
156	1						■						■			■									3
157	1							■			■											■			3
158	1				■		■									■				■		■			5
159	1		■				■									■						■			4

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合	数	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤				非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数	
				レトビル	グアイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシバン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロロセ	フォートベイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル		クリスロマイシン
160	1																							1
161	1		■				■							■			■							4
162	1																						■	4
163	1													■							■			4
164	1						■																	3
165	1						■							■			■			■				5
166	1		■				■												■				■	5
167	1		■				■							■										4
168	1										■			■										4
169	1						■														■			4
170	1													■										5
171	1													■										4
172	1						■				■			■										6
173	1																				■			4
174	1													■										7
175	1															■		■						1
176	1																				■			4
177	1										■			■										2
178	1															■								2
179	1													■		■								3
180	1																						■	3
181	1		■				■							■								■		5
182	1						■							■			■		■					8
183	1										■			■							■			4
184	1													■										3
185	1																							2
186	1								■															4
187	1										■			■										3
188	1															■								4
189	1		■				■																	3
190	1																							2
191	1						■																	3
192	1																							2
193	1																				■			2
194	1													■		■								5
195	1						■																	2
196	1		■																					4
197	1								■														■	4
198	1		■																				■	3
199	1						■										■				■			4
200	1													■		■								5
201	1																						■	3
202	1						■																	3
203	1		■				■					■							■					4
204	1																							2
205	1						■							■				■						5
206	1						■																■	4
207	1																							3
208	1						■														■			5
209	1																						■	2
210	1						■																	4
211	1																							6
212	1													■		■								3

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カルトラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
213	1		■		■									■						■		■			3
214	1							■			■									■		■			4
215	1							■			■								■						3
216	1						■		■	■									■						4
217	1		■								■														2
218	1		■											■	■										3
219	1					■	■							■	■					■					5
220	1					■	■						■		■							■			5
221	1																				■				2
222	1					■			■		■					■			■		■				6
223	1																						■		1
224	1			■		■			■		■				■		■					■			7
225	1					■					■					■									3
226	1					■	■							■	■							■			5
227	1						■		■		■								■						4
228	1			■					■	■					■							■			3
229	1			■		■			■		■				■							■			6
230	1		■	■										■	■							■			5
231	1					■							■									■			3
232	1																					■			1
233	1					■	■			■												■			4
234	1			■					■	■									■						4
235	1		■			■										■						■			4
236	1					■													■						2
237	1			■					■		■			■	■										5
238	1			■			■				■				■		■								5
計			151047	50702	13887	307060	220926	22111	16217	14247	68234	0	65428	23458	56028	195786	6634	4176	914	1980	227	13859	359	843	

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1：調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2：1 日併用に関しては除外した。

表 2 - 5 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトビビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	セリット	コンビビル	ザイアゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	フーロセ	フォートベイス	カトラ	デノシcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロスティム	
1	153					■	■									■									3
2	111					■	■				■														3
3	103		■			■										■									3
4	45		■			■					■														3
5	38		■			■							■												3
6	33		■			■																			2
7	27							■			■														2
8	25			■			■				■														3
9	18					■	■			■															3
10	17			■			■									■									3
11	17					■	■						■												3
12	17			■			■												■						3
13	15							■								■									2
14	15																					■			1
15	14		■			■							■		■										4
16	13					■	■						■		■										4
17	13					■	■																		2
18	11					■	■									■						■			4
19	10		■			■				■															3
20	10					■	■	■											■						2
21	9					■	■												■						3
22	8					■	■							■	■										4
23	8					■	■				■											■			4
24	7		■		■																				2
25	7							■		■															2
26	7		■			■										■						■			4
27	6		■	■												■									3
28	6					■	■				■									■					4
29	6								■		■								■						3
30	5		■		■											■									3
31	5			■			■							■	■										4
32	5					■	■		■																3
33	5			■			■				■								■						4
34	5		■			■			■																3
35	5						■		■		■														3
36	5		■	■							■														3
37	5					■	■												■			■			4
38	4						■									■									2
39	4		■			■								■	■										4
40	4		■			■									■										3
41	4		■			■								■											3
42	4							■																	1
43	4		■	■															■						3
44	4		■			■					■											■			4
45	4		■	■															■			■			4
46	3					■			■		■								■						4
47	3			■			■			■															3
48	3		■			■							■									■			4
49	3					■	■						■		■							■			5
50	3							■					■												2
51	3			■									■						■						2
52	3			■			■						■		■										4
53	3		■			■													■						3

表 2 - 5 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

[illegible]

表 2 - 5 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトビビル	ザイデックス	ハビタット	エビビル	セリット	コビビル	ザイアゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキバン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カトラ	デノシcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロスティム	
107	1					■	■									■						■			4
108	1			■		■	■				■														4
109	1					■					■					■			■			■			5
110	1				■						■		■		■										4
111	1		■	■										■		■									4
112	1							■			■											■			3
113	1		■			■								■	■							■			5
114	1					■													■						2
115	1			■		■							■		■										4
116	1		■			■									■			■				■			5
117	1			■					■		■							■	■						4
118	1		■			■	■																		3
119	1					■	■				■									■		■			5
120	1					■	■								■			■				■			5
121	1				■		■									■									3
122	1						■		■										■						3
123	1					■	■			■												■			5
124	1		■						■		■														3
125	1			■					■	■															3
126	1			■		■									■			■							4
127	1										■		■		■										3
128	1					■					■					■			■						4
129	1						■							■		■									3
130	1		■	■										■	■										4
131	1					■	■				■				■		■								5
132	1					■	■							■					■						4
133	1								■		■														2
134	1					■	■				■										■		■		5
135	1			■			■								■			■							4
136	1			■		■					■														3
137	1					■			■		■				■		■								5
138	1			■					■										■						3
139	1					■	■				■				■		■			■					4
140	1					■	■													■		■			5
141	1			■																		■			2
142	1			■					■		■											■			5
143	1					■					■								■						3
144	1		■			■					■														3
145	1					■	■								■	■									4
146	1		■	■							■											■			4
147	1			■			■	■										■							2
148	1			■			■										■								3
149	1					■	■				■								■						4
150	1		■	■															■			■			4
151	1					■	■									■				■		■			5
152	1					■	■				■										■	■			5
153	1		■			■									■			■							4
154	1								■										■						2
155	1					■	■									■				■					4
156	1						■				■														2
157	1		■	■												■						■			4
158	1										■						■								3
159	1					■	■								■							■			4

表 2 - 5 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトビビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カレラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロスティム	
160	1			■					■	■									■						4
161	1																			■		■			2
162	1					■					■												■		3
163	1					■	■		■		■					■							■		6
164	1																						■		1
165	1					■	■		■		■					■						■			6
166	1			■			■												■				■		4
167	1					■	■						■										■		4
168	1			■			■				■												■		4
169	1			■			■		■						■			■							5
170	1		■			■										■							■		4
171	1																			■			■		2
172	1						■		■								■								3
計			86794	27215	5791	178616	120228	16694	9447	9720	61944	0	28963	7363	20271	94444	2301	2785	15620	1557	176	9344	1022	589	

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1：調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2：1 日併用に関しては除外した。

表 3 . 組合№ 1 : エピビル + ゼリット + ビラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率 (%)	解析結果 (Fisher)
計		573	260	529	45.38%	
性別	男	492	231	470	46.95%	P=0.071
	女	81	29	59	35.80%	
年齢	14歳	5	1	2	20.00%	P=0.463
	15歳 64歳	552	253	519	45.83%	
	65歳	16	6	8	37.50%	
人種	日本人	519	243	495	46.82%	P=0.032 *
	その他	54	17	34	31.48%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	104	32	55	30.77%	P=0.001 **
	有	469	228	474	48.61%	
併用療法有無	無	535	236	485	44.11%	P=0.028 *
	有	38	24	44	63.16%	
合併症有無	無	144	69	129	47.92%	P=0.500
	有	428	191	400	44.63%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	345	161	317	46.67%	P=0.493
	有	227	99	212	43.61%	
	肝炎	209	89	196	42.58%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	404	190	373	47.03%	P=0.269
	有	168	70	156	41.67%	
	A	131	61	143	46.56%	
	B	37	9	13	24.32%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	236	101	213	42.80%	P=0.305
	有	333	158	314	47.45%	
	不明・未記載	4	1	2	25.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	442	189	387	42.76%	P=0.024 *
	有	123	67	135	54.47%	
	不明・未記載	8	4	7	50.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢NOS (16.8%)、高脂血症NOS (6.1%) があり、
 器官分類別では、胃腸障害 (19.7%)、代謝および栄養障害 (14.0%)、臨床検査 (12.0%)、
 皮膚および皮下組織障害 (10.3%) において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表4. 組合№1：エピビル＋ゼリット＋ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	92
調査症例数	573
副作用等の発現症例数	260 (45.38%)
副作用等の発現件数	529
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	11例 (1.92)
非定型マイコプラズマ性リンパ節炎	1 (0.17)
サイトメガロウイルス感染	1 (0.17)
サイトメガロウイルス性網膜炎	1 (0.17)
播種性結核	1 (0.17)
C型肝炎	1 (0.17)
帯状疱疹	2 (0.35)
ニューモシスティカに感染	1 (0.17)
梅毒NOS	1 (0.17)
結核性胸膜炎	1 (0.17)
HIV消耗症候群	1 (0.17)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリブを含む)	1例 (0.17)
リンパ腫NOS	1 (0.17)
血液およびリンパ系障害	19例 (3.32)
貧血NOS	6 (1.05)
出血傾向	6 (1.05)
白血球減少症NOS	1 (0.17)
リンパ球増加症	5 (0.87)
大球性貧血NOS	1 (0.17)
骨髄抑制	1 (0.17)
好中球減少症	6 (1.05)
代謝および栄養障害	80例 (13.96)
食欲不振	2 (0.35)
糖尿病増悪	1 (0.17)
糖尿病NOS	5 (0.87)
高コレステロール血症	8 (1.40)
高血糖NOS	4 (0.70)
高脂血症NOS	35 (6.11)
高トリグリセリド血症	21 (3.66)
高尿酸血症	5 (0.87)
乳酸アシドーシス	1 (0.17)
高コレステロール血症増悪	1 (0.17)
体脂肪異常	1 (0.17)
顔のやせ	1 (0.17)
精神障害	2例 (0.35)
易刺激性	1 (0.17)
ディスフェミア	1 (0.17)
神経系障害	25例 (4.36)
浮動性めまい	2 (0.35)
体位性めまい	1 (0.17)
味覚異常	4 (0.70)
頭痛NOS	2 (0.35)
知覚過敏	1 (0.17)
感覚減退	12 (2.09)
神経痛NOS	1 (0.17)
眼振NOS	1 (0.17)
錯感覚	1 (0.17)
末梢性ニューロパシーNOS	4 (0.70)
振戦	1 (0.17)

眼障害	4例 (0.70)
結膜出血	1 (0.17)
眼乾燥NOS	1 (0.17)
網膜出血	2 (0.35)
心臓障害	1例 (0.17)
動悸	1 (0.17)
血管障害	1例 (0.17)
高血圧NOS	1 (0.17)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	4例 (0.70)
咳嗽	1 (0.17)
呼吸困難NOS	1 (0.17)
鼻出血	2 (0.35)
胃腸障害	113例 (19.72)
腹部膨満	1 (0.17)
腹痛NOS	2 (0.35)
上腹部痛	3 (0.52)
下痢NOS	96 (16.75)
消化不良	1 (0.17)
鼓腸	1 (0.17)
消化器不調	1 (0.17)
軟便	5 (0.87)
嘔気	8 (1.40)
口腔内不快感	1 (0.17)
急性膵炎	1 (0.17)
逆流性食道炎	1 (0.17)
悪心	3 (0.52)
胃不快感	1 (0.17)
口内炎	1 (0.17)
歯痛	1 (0.17)
嘔吐NOS	1 (0.17)
肝胆道系障害	32例 (5.58)
胆石症	1 (0.17)
肝機能異常NOS	18 (3.14)
肝炎NOS	2 (0.35)
肝細胞障害	9 (1.57)
黄疸NOS	1 (0.17)
脂肪肝	2 (0.35)
皮膚および皮下組織障害	59例 (10.30)
脱毛	3 (0.52)
薬剤性皮膚炎	8 (1.40)
紅斑	4 (0.70)
毛包炎	1 (0.17)
皮下出血	2 (0.35)
そう痒症NOS	2 (0.35)
皮疹NOS	21 (3.66)
皮疹	11 (1.92)
蕁麻疹NOS	1 (0.17)
乾皮症	1 (0.17)
後天性免疫不全症	13 (2.27)

表 4 . 組合№ 1 : エピビル + ゼリット + ビラセプト

調査施設数	92
調査症例数	573
副作用等の発現症例数	260 (45.38%)
副作用等の発現件数	529
副作用等の種類	例数(%)
筋骨格系および結合組織障害	7例 (1.22)
関節痛	1 (0.17)
出血性関節症	3 (0.52)
筋痛	2 (0.35)
四肢痛	1 (0.17)
腎および尿路障害	7例 (1.22)
血尿	2 (0.35)
腰腹痛	1 (0.17)
蛋白尿	1 (0.17)
急性腎不全	1 (0.17)
腎機能障害NOS	1 (0.17)
尿異常NOS	2 (0.35)
生殖系および乳房障害	4例 (0.70)
乳房痛	1 (0.17)
女性化乳房	3 (0.52)
月経過多	1 (0.17)
全身障害および投与局所様態	10例 (1.75)
倦怠感	2 (0.35)
末梢性浮腫	1 (0.17)
発熱	7 (1.22)
臨床検査	69例 (12.04)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ 増加	8 (1.40)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 増加	7 (1.22)
血中アルカリホスファターゼ NOS増加	3 (0.52)
血中アミラーゼ 増加	2 (0.35)
血中コレステロール増加	7 (1.22)
血中クレアチン増加	1 (0.17)
血中ブドウ糖増加	2 (0.35)
血中乳酸脱水素酵素増加	7 (1.22)
血中乳酸増加	1 (0.17)
血中トリグリセリド 増加	26 (4.54)
血中尿酸増加	2 (0.35)
C-反応性蛋白増加	1 (0.17)
好酸球数増加	3 (0.52)
γ-グロトミルトランスフェラーゼ 増加	8 (1.40)
尿中ブドウ糖陽性	2 (0.35)
尿中血陽性	1 (0.17)
脂質NOS増加	3 (0.52)
肝機能検査NOS異常	5 (0.87)
リンパ球数増加	4 (0.70)
好中球数減少	2 (0.35)
血小板数減少	2 (0.35)
尿蛋白	1 (0.17)
体重減少	2 (0.35)
白血球数減少	3 (0.52)
尿潜血陽性	1 (0.17)
尿中蛋白陽性	1 (0.17)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (0.17)
皮下血腫	1 (0.17)

表 5 . 組合№ 2 : エピビル + ゼリット + ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		198	85	156	42.93%	
性別	男	169	70	136	41.42%	P=0.317
	女	29	15	20	51.72%	
年齢	14歳	0			-	P=0.470
	15歳 64歳	190	83	154	43.68%	
	65歳	8	2	2	25.00%	
人種	日本人	183	78	145	42.62%	P=0.791
	その他	15	7	11	46.67%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	63	23	35	36.51%	P=0.222
	有	135	62	121	45.93%	
併用療法有無	無	183	79	141	43.17%	P=1.000
	有	15	6	15	40.00%	
合併症有無	無	53	26	50	49.06%	P=0.332
	有	145	59	106	40.69%	
合併症肝障害	無	137	58	102	42.34%	P=0.877
	有	61	27	54	44.26%	
	肝炎	55	25	52	45.45%	
血友病	無	167	69	129	41.32%	P=0.326
	有	31	16	27	51.61%	
	A	25	12	21	48.00%	P=0.654
	B	6	4	6	66.67%	
既往歴有無	無	72	32	57	44.44%	P=0.764
	有	123	51	97	41.46%	
	不明・未記載	3	2	2	66.67%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	145	54	92	37.24%	P=0.026 *
	有	46	26	55	56.52%	
	不明・未記載	7	5	9	71.43%	

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(8.6%)、皮疹NOS(5.1%)があり、
 器官分類別では神経系障害(15.2%)、皮膚および皮下組織障害(12.1%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表6 . 組合№2：エピビル＋ゼリット＋ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	30
調査症例数	198
副作用等の発現症例数	85 (42.93%)
副作用等の発現件数	156
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4例 (2.02)
単純ヘルペス	1 (0.51)
带状疱疹	1 (0.51)
肛門周囲膿瘍	1 (0.51)
ブドウ球菌性膿瘍	1 (0.51)
血液およびリンパ系障害	4例 (2.02)
貧血NOS	3 (1.52)
好酸球増加症	1 (0.51)
代謝および栄養障害	14例 (7.07)
高コレステロール血症	1 (0.51)
高血糖NOS	1 (0.51)
高乳酸血症	3 (1.52)
高脂血症NOS	7 (3.54)
高トリグリセリド血症	1 (0.51)
高尿酸血症	2 (1.01)
乳酸アシトシス	1 (0.51)
精神障害	12例 (6.06)
異常な夢	2 (1.01)
無感情	1 (0.51)
うつ病	1 (0.51)
不眠症	4 (2.02)
不眠増悪	1 (0.51)
易刺激性	1 (0.51)
悪夢	3 (1.52)
睡眠障害NOS	1 (0.51)
精神病増悪	1 (0.51)
神経系障害	30例 (15.15)
脳梗塞	1 (0.51)
痙攣NOS	1 (0.51)
注意力障害	2 (1.01)
浮動性めまい	17 (8.59)
味覚異常	1 (0.51)
頭痛NOS	1 (0.51)
感覚減退	8 (4.04)
末梢性ニューロパシーNOS	2 (1.01)
傾眠	1 (0.51)
会話障害	1 (0.51)
眼障害	1例 (0.51)
色盲NOS	1 (0.51)
耳および迷路障害	2例 (1.01)
回転性眩暈	2 (1.01)
心臓障害	2例 (1.01)
動悸	1 (0.51)
頻脈NOS	1 (0.51)
血管障害	1例 (0.51)
高血圧増悪	1 (0.51)

胃腸障害	6例 (3.03)
腹水	1 (0.51)
出血性十二指腸潰瘍	1 (0.51)
胃炎NOS	1 (0.51)
嘔気	1 (0.51)
急性膵炎	1 (0.51)
肛門周囲痛	1 (0.51)
肝胆道系障害	7例 (3.54)
肝機能異常NOS	1 (0.51)
肝細胞障害	4 (2.02)
脂肪肝	2 (1.01)
皮膚および皮下組織障害	24例 (12.12)
脱毛	1 (0.51)
薬剤性皮膚炎	4 (2.02)
紅斑	1 (0.51)
皮下出血	1 (0.51)
全身性皮疹	1 (0.51)
皮疹NOS	10 (5.05)
皮疹	4 (2.02)
後天性免疫不全症候群	2 (1.01)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (1.01)
筋痛	1 (0.51)
四肢痛	1 (0.51)
全身障害および投与局所様態	7例 (3.54)
異常感	1 (0.51)
酩酊感	1 (0.51)
熱感	1 (0.51)
倦怠感	2 (1.01)
発熱	2 (1.01)
脱力	1 (0.51)
臨床検査	14例 (7.07)
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	3 (1.52)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	3 (1.52)
血中アルカリホスファターゼNOS増加	1 (0.51)
血中アミラーゼ増加	2 (1.01)
血中コレステロール増加	4 (2.02)
血中ブドウ糖増加	1 (0.51)
血中乳酸脱水素酵素増加	3 (1.52)
血中トリグリセリド増加	4 (2.02)
血中尿酸増加	1 (0.51)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	5 (2.53)
免疫状態正常	1 (0.51)
体重減少	1 (0.51)

表 7 . 組合№ 3 : レトロビル + エピビル + ビラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率 (%)	解析結果 (Fisher)
計		476	220	372	46.22%	
性別	男	418	195	340	46.65%	P=0.674
	女	58	25	32	43.10%	
年齢	14歳	3	1	1	33.33%	P=0.423
	15歳 64歳	459	210	355	45.75%	
	65歳	14	9	16	64.29%	
人種	日本人	435	202	341	46.44%	P=0.870
	その他	41	18	31	43.90%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	150	55	87	36.67%	P=0.006 **
	有	326	165	285	50.61%	
併用療法有無	無	455	209	347	45.93%	P=0.656
	有	21	11	25	52.38%	
合併症有無	無	174	70	117	40.23%	P=0.056
	有	302	150	255	49.67%	
合併症肝障害	無	358	168	274	46.93%	P=0.597
	有	118	52	98	44.07%	
	肝炎	107	47	84	43.93%	
血友病	無	383	178	297	46.48%	P=0.908
	有	93	42	75	45.16%	
	A	73	32	63	43.84%	P=0.801
	B	19	9	10	47.37%	
	不明・未記載	1	1	2	100.00%	
既往歴有無	無	251	112	182	44.62%	P=0.515
	有	217	104	183	47.93%	
	不明・未記載	8	4	7	50.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	381	166	281	43.57%	P=0.021 *
	有	93	53	89	56.99%	
	不明・未記載	2	1	2	50.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢NOS (20.0%)、貧血NOS (5.3%) があり、
 器官分類別では胃腸障害 (24.4%)、皮膚および皮下組織障害 (10.7%) において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表 8 . 組合№ 3 : レトロビル + エピビル + ビラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	100
調査症例数	476
副作用等の発現症例数	220 (46.22%)
副作用等の発現件数	372
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (0.21)
B型肝炎	1 (0.21)
血液およびリンパ系障害	37例 (7.77)
貧血NOS	25 (5.25)
出血傾向	1 (0.21)
骨髄抑制NOS	1 (0.21)
顆粒球減少症	2 (0.42)
溶血性貧血NOS	1 (0.21)
白血球減少症NOS	2 (0.42)
リンパ球減少症	1 (0.21)
大球性貧血NOS	3 (0.63)
骨髄抑制	1 (0.21)
汎血球減少症	3 (0.63)
血小板減少症	1 (0.21)
代謝および栄養障害	38例 (7.98)
アルコール不耐性	1 (0.21)
食欲不振	2 (0.42)
食欲減退NOS	1 (0.21)
耐糖能障害	1 (0.21)
高コレステロール血症	5 (1.05)
高脂血症NOS	12 (2.52)
高トリグリセリド血症	13 (2.73)
高尿酸血症	7 (1.47)
肥満	1 (0.21)
精神障害	2例 (0.42)
不眠症	2 (0.42)
神経系障害	14例 (2.94)
味覚消失	1 (0.21)
浮動性めまい	2 (0.42)
味覚異常	2 (0.42)
頭痛NOS	4 (0.84)
感覚減退	1 (0.21)
麻痺NOS	1 (0.21)
末梢性ニューロパシーNOS	2 (0.42)
傾眠	1 (0.21)
眼障害	1例 (0.21)
眼瞼痙攣	1 (0.21)
心臓障害	1例 (0.21)
心筋梗塞	1 (0.21)
心筋虚血	1 (0.21)
血管障害	2例 (0.42)
高血圧NOS	1 (0.21)
静脈炎NOS	1 (0.21)

胃腸障害	116例 (24.37)
腹部不快感	1 (0.21)
腹部膨満	1 (0.21)
腹痛NOS	2 (0.42)
上腹部痛	3 (0.63)
便秘	1 (0.21)
下痢NOS	95 (19.96)
消化不良	2 (0.42)
鼓腸	1 (0.21)
胃炎NOS	3 (0.63)
歯肉痛	1 (0.21)
吐血	1 (0.21)
軟便	2 (0.42)
ムネ	1 (0.21)
嘔気	9 (1.89)
悪心	5 (1.05)
胃不快感	3 (0.63)
口内炎	2 (0.42)
水様便	2 (0.42)
嘔吐NOS	4 (0.84)
肝胆道系障害	19例 (3.99)
肝機能異常NOS	10 (2.10)
肝炎NOS	1 (0.21)
肝細胞障害	7 (1.47)
高ビリルビン血症	1 (0.21)
皮膚および皮下組織障害	51例 (10.71)
脱毛	4 (0.84)
薬剤性皮膚炎	6 (1.26)
皮下出血	1 (0.21)
ヘルペス性紫斑病	1 (0.21)
爪の障害NOS	1 (0.21)
そう痒症NOS	1 (0.21)
皮疹NOS	17 (3.57)
皮疹	16 (3.36)
蕁麻疹NOS	2 (0.42)
後天性免疫不全症候群	4 (0.84)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.21)
出血性関節症	1 (0.21)
腎および尿路障害	3例 (0.63)
血尿	1 (0.21)
腎症NOS	1 (0.21)
尿路感染症候群	1 (0.21)
尿異常NOS	1 (0.21)
妊娠・産褥および周産期の状態	2例 (0.42)
自然流産NOS	1 (0.21)
子宮内胎児死亡	1 (0.21)
全身障害および投与局所状態	6例 (1.26)
倦怠感	1 (0.21)
発熱	5 (1.05)

表 8 . 組合№ 3 : レトロビル + エピビル + ピラセプト

調査施設数	100
調査症例数	476
副作用等の発現症例数	220 (46.22%)
副作用等の発現件数	372
副作用等の種類	例数(%)
臨床検査	33例 (6.93)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ 増加	2 (0.42)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 増加	1 (0.21)
血中アルカリホスファターゼ NOS増加	1 (0.21)
血中コレステロール増加	1 (0.21)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (0.42)
血中トリグリセリド 増加	6 (1.26)
血中尿酸増加	1 (0.21)
好酸球数増加	1 (0.21)
尿中血陽性	1 (0.21)
ヘモグロビン減少	1 (0.21)
平均赤血球容積増加	1 (0.21)
好中球数減少	9 (1.89)
脛酵素NOS増加	1 (0.21)
血小板数減少	1 (0.21)
赤血球数減少	3 (0.63)
白血球数減少	10 (2.10)

表 9 . 組合№ 4 : レトロビル + エピビル + ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率 (%)	解析結果 (Fisher)
計		77	31	49	40.26%	
性別	男	67	25	38	37.31%	P=0.189
	女	10	6	11	60.00%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	75	30	48	40.00%	
	65歳	2	1	1	50.00%	
人種	日本人	71	28	44	39.44%	P=0.680
	その他	6	3	5	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	22	9	13	40.91%	P=1.000
	有	55	22	36	40.00%	
併用療法有無	無	74	31	49	41.89%	P=0.269
	有	3			0.00%	
合併症有無	無	33	16	24	48.48%	P=0.244
	有	44	15	25	34.09%	
合併症肝障害	無	56	23	33	41.07%	P=1.000
	有	21	8	16	38.10%	
	肝炎	19	7	14	36.84%	
血友病	無	67	30	46	44.78%	P=0.043 *
	有	10	1	3	10.00%	
	A	9			0.00%	P=0.100
	B	1	1	3	100.00%	
既往歴有無	無	28	15	23	53.57%	P=0.052
	有	47	14	24	29.79%	
	不明・未記載	2	2	2	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	60	24	37	40.00%	P=0.783
	有	16	7	12	43.75%	
	不明・未記載	1			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(9.1%)、薬剤性皮膚炎(6.5%)があり、器官分類別では、皮膚および皮下組織障害(13.0%)、神経系障害(11.7%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表10. 組合№4：レトロビル+エピビル+ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	25
調査症例数	77
副作用等の発現症例数	31 (40.26%)
副作用等の発現件数	49
副作用等の種類	例数(%)
血液およびリンパ系障害	6例 (7.79)
貧血NOS	3 (3.90)
赤血球減少症	1 (1.30)
大球性貧血NOS	1 (1.30)
好中球減少症	1 (1.30)
代謝および栄養障害	2例 (2.60)
高脂血症NOS	2 (2.60)
精神障害	5例 (6.49)
異常な夢	1 (1.30)
うつ病	1 (1.30)
不眠症	1 (1.30)
悪夢	3 (3.90)
神経系障害	9例 (11.69)
浮動性めまい	7 (9.09)
味覚異常	1 (1.30)
頭痛NOS	1 (1.30)
感覚減退	1 (1.30)
傾眠	1 (1.30)
耳および迷路障害	1例 (1.30)
回転性眩暈	1 (1.30)
胃腸障害	4例 (5.19)
下痢NOS	1 (1.30)
嘔気	3 (3.90)
口内炎	1 (1.30)
肝胆道系障害	2例 (2.60)
肝機能異常NOS	2 (2.60)
皮膚および皮下組織障害	10例 (12.99)
薬剤性皮膚炎	5 (6.49)
皮疹NOS	3 (3.90)
皮疹	2 (2.60)
全身障害および投与局所様態	2例 (2.60)
胸痛	1 (1.30)
異常感	1 (1.30)
臨床検査	3例 (3.90)
アラニン・アミトランスフェラーゼ 増加	1 (1.30)
血中トリグリセリド 増加	1 (1.30)
ヘモグロビン減少	1 (1.30)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (1.30)
腰椎骨折	1 (1.30)

表11. 組合№5：レトロビル+エピビル+クリキシバン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		596	306	658	51.34%	
性別	男	522	278	598	53.26%	P=0.018 *
	女	74	28	60	37.84%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.251
	15歳 64歳	586	303	654	51.71%	
	65歳	9	3	4	33.33%	
人種	日本人	530	281	614	53.02%	P=0.026 *
	その他	66	25	44	37.88%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	181	82	165	45.30%	P=0.061
	有	415	224	493	53.98%	
併用療法有無	無	549	278	589	50.64%	P=0.288
	有	47	28	69	59.57%	
合併症有無	無	195	100	223	51.28%	P=1.000
	有	400	205	434	51.25%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
合併症肝障害	無	441	215	444	48.75%	P=0.040 *
	有	154	90	213	58.44%	
	肝炎	133	76	187	57.14%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
血友病	無	476	240	501	50.42%	P=0.473
	有	119	65	156	54.62%	
	A	85	47	121	55.29%	P=0.841
	B	34	18	35	52.94%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	318	152	291	47.80%	P=0.059
	有	275	153	364	55.64%	
	不明・未記載	3	1	3	33.33%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	480	248	505	51.67%	P=0.916
	有	110	56	149	50.91%	
	不明・未記載	6	2	4	33.33%	

5%以上の頻度で発現した副作用には嘔気(8.6%)、貧血NOS(7.6%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(15.9%)、腎および尿路障害(15.6%)、臨床検査(15.4%)、
 血液およびリンパ系障害(10.2%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表12. 組合№5：レトロビル+エピビル+クリキシバン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	163
調査症例数	596
副作用等の発現症例数	306 (51.34%)
副作用等の発現件数	658
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	10例 (1.68)
クリプトスポリジウム性胃腸炎	1 (0.17)
単純ヘルペス	1 (0.17)
带状疱疹	1 (0.17)
ニューモシスティカリニ感染	1 (0.17)
肺炎NOS	2 (0.34)
腎盂腎炎NOS	1 (0.17)
敗血症NOS	1 (0.17)
尿路感染NOS	2 (0.34)
血液およびリンパ系障害	61例 (10.23)
貧血NOS	45 (7.55)
出血傾向	2 (0.34)
好酸球増加症	1 (0.17)
溶血NOS	1 (0.17)
リンパ節症	2 (0.34)
大球性貧血NOS	3 (0.50)
骨髄抑制	3 (0.50)
好中球減少症	1 (0.17)
汎血球減少症	2 (0.34)
赤血球無形成	1 (0.17)
内分泌障害	1例 (0.17)
甲状腺中毒症	1 (0.17)
代謝および栄養障害	40例 (6.71)
食欲不振	7 (1.17)
食欲減退NOS	8 (1.34)
糖尿病NOS	2 (0.34)
高コレステロール血症	3 (0.50)
高血糖NOS	3 (0.50)
高脂血症NOS	5 (0.84)
高トリグリセリド血症	4 (0.67)
高尿酸血症	7 (1.17)
低コレステロール血症	1 (0.17)
低カルウム血症	1 (0.17)
肥満	1 (0.17)
脂肪腫症NOS	1 (0.17)
やせ	1 (0.17)
精神障害	3例 (0.50)
活動性低下	1 (0.17)
うつ病	1 (0.17)
不眠症	1 (0.17)
神経系障害	29例 (4.87)
痙攣NOS	2 (0.34)
注意力障害	1 (0.17)
浮動性めまい	2 (0.34)
味覚異常	14 (2.35)
頭痛NOS	10 (1.68)
感覚減退	4 (0.67)
記憶障害	1 (0.17)
振戦	1 (0.17)

眼障害	2例 (0.34)
流涙増加	1 (0.17)
羞明	1 (0.17)
耳および迷路障害	1例 (0.17)
聴覚障害	1 (0.17)
血管障害	1例 (0.17)
高血圧NOS	1 (0.17)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	4例 (0.67)
咳嗽	2 (0.34)
労作性呼吸困難	1 (0.17)
呼吸困難NOS	1 (0.17)
胃腸障害	95例 (15.94)
腹部不快感	1 (0.17)
腹部膨満	2 (0.34)
腹痛NOS	7 (1.17)
上腹部痛	3 (0.50)
腹水	1 (0.17)
下痢NOS	19 (3.19)
口内乾燥	2 (0.34)
十二指腸炎	1 (0.17)
胃炎NOS	3 (0.50)
胃腸障害NOS	1 (0.17)
消化器不調	1 (0.17)
歯肉出血	1 (0.17)
裂孔ヘルニア	1 (0.17)
口唇乾燥	6 (1.01)
口腔内出血	1 (0.17)
嘔気	51 (8.56)
口腔内不快感	2 (0.34)
腭炎NOS	1 (0.17)
悪心	12 (2.01)
胃不快感	2 (0.34)
口内炎	3 (0.50)
嘔吐NOS	21 (3.52)
口唇のひび割れ	2 (0.34)
直腸しぶり	1 (0.17)
肝胆道系障害	32例 (5.37)
肝機能異常NOS	6 (1.01)
急性肝炎	1 (0.17)
肝細胞障害	3 (0.50)
高ビリルビン血症	18 (3.02)
黄疸NOS	4 (0.67)

表12. 組合№5：レトロビル+エピビル+クリキシバン

調査施設数	163
調査症例数	596
副作用等の発現症例数	306 (51.34%)
副作用等の発現件数	658
副作用等の種類 例数(%)	
皮膚および皮下組織障害	31例 (5.20)
脱毛	3 (0.50)
薬剤性皮膚炎	1 (0.17)
皮膚乾燥	6 (1.01)
湿疹	1 (0.17)
皮脂欠乏性湿疹	1 (0.17)
嵌入爪	2 (0.34)
色素沈着障害NOS	2 (0.34)
そう痒症NOS	2 (0.34)
皮疹NOS	4 (0.67)
皮疹	4 (0.67)
多汗	1 (0.17)
蕁麻疹NOS	2 (0.34)
後天性剥離性皮膚炎	5 (0.84)
筋骨格系および結合組織障害	22例 (3.69)
関節痛	3 (0.50)
背部痛	13 (2.18)
胸壁痛	1 (0.17)
出血性関節症	1 (0.17)
関節腫脹	1 (0.17)
筋肉内出血	2 (0.34)
筋痛	2 (0.34)
頸部痛	1 (0.17)
腎および尿路障害	93例 (15.60)
腎結石NOS	20 (3.36)
尿管結石	27 (4.53)
尿路結石	4 (0.67)
排尿障害	1 (0.17)
血尿	22 (3.69)
水腎症	2 (0.34)
腰腹痛	3 (0.50)
腎炎NOS	1 (0.17)
蛋白尿	3 (0.50)
膿尿	9 (1.51)
腎障害NOS	3 (0.50)
腎機能障害NOS	7 (1.17)
尿道痛	1 (0.17)
尿異常NOS	8 (1.34)
生殖系および乳房障害	2例 (0.34)
不規則月経	1 (0.17)
陰囊潰瘍	1 (0.17)
全身障害および投与局所様態	13例 (2.18)
死亡NOS	1 (0.17)
疲労	1 (0.17)
倦怠感	5 (0.84)
末梢性浮腫	1 (0.17)
疼痛NOS	1 (0.17)
発熱	3 (0.50)
口渇	1 (0.17)

臨床検査	92例 (15.44)
アラニン・アミトランスフェラーゼ 増加	9 (1.51)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ 増加	7 (1.17)
血中アルカリホスファターゼ NOS増加	1 (0.17)
血中アミラーゼ 増加	1 (0.17)
血中ビリルビン増加	29 (4.87)
血中クレアチン・ホスファターゼ 増加	1 (0.17)
血中クレアチニン増加	7 (1.17)
血中ブドウ糖増加	2 (0.34)
血便	1 (0.17)
血中乳酸脱水素酵素増加	3 (0.50)
血中トリグリセリド 増加	6 (1.01)
血中尿酸増加	4 (0.67)
C-反応性蛋白増加	1 (0.17)
尿中結晶陽性	1 (0.17)
好酸球数増加	1 (0.17)
γ-グロトランスフェラーゼ 増加	2 (0.34)
尿中血陽性	5 (0.84)
ヘモグロビン減少	3 (0.50)
脂質NOS増加	3 (0.50)
平均赤血球容積増加	1 (0.17)
好中球数減少	2 (0.34)
血小板数減少	4 (0.67)
赤血球数減少	5 (0.84)
体重減少	3 (0.50)
白血球数減少	23 (3.86)
白血球数増加	1 (0.17)
尿中白血球陽性	4 (0.67)
尿沈渣陽性	2 (0.34)
尿中蛋白陽性	3 (0.50)

表13. 組合№ 6 : レトロビル + エピビル

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		680	113	164	16.62%	
性別	男	599	101	150	16.86%	P=0.751
	女	81	12	14	14.81%	
年齢	14歳	11	1	1	9.09%	P=0.752
	15歳 64歳	656	111	159	16.92%	
	65歳	13	1	4	7.69%	
人種	日本人	623	104	153	16.69%	P=1.000
	その他	57	9	11	15.79%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	248	32	37	12.90%	P=0.054
	有	432	81	127	18.75%	
併用療法有無	無	663	104	152	15.69%	P=0.001 **
	有	17	9	12	52.94%	
合併症有無	無	207	30	36	14.49%	P=0.371
	有	472	83	128	17.58%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	424	72	100	16.98%	P=0.832
	有	255	41	64	16.08%	
	肝炎	225	32	51	14.22%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	453	82	113	18.10%	P=0.157
	有	226	31	51	13.72%	
	A	175	26	42	14.86%	P=0.489
	B	51	5	9	9.80%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	394	58	85	14.72%	P=0.095
	有	280	55	79	19.64%	
	不明・未記載	6			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	553	97	135	17.54%	P=0.284
	有	122	16	29	13.11%	
	不明・未記載	5			0.00%	

詳細は次表を参照。

表14. 組合№6：レトロビル+エピビル

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	153
調査症例数	680
副作用等の発現症例数	113 (16.62%)
副作用等の発現件数	164
副作用等の種類	例数(%)
血液およびリンパ系障害	38例 (5.59)
貧血NOS	26 (3.82)
貧血NOS増悪	1 (0.15)
溶血性貧血NOS	1 (0.15)
白血球減少症NOS	2 (0.29)
リンパ節症	1 (0.15)
大球性貧血NOS	2 (0.29)
骨髄抑制	2 (0.29)
汎血球減少症	4 (0.59)
代謝および栄養障害	6例 (0.88)
食欲不振	1 (0.15)
食欲減退NOS	2 (0.29)
高コレステロール血症	1 (0.15)
高脂血症NOS	1 (0.15)
高トリグリセリド血症	1 (0.15)
精神障害	3例 (0.44)
うつ病	1 (0.15)
錯覚	1 (0.15)
不眠症	1 (0.15)
神経系障害	14例 (2.06)
脳出血	1 (0.15)
意識レベルの低下	1 (0.15)
味覚異常	2 (0.29)
頭痛NOS	7 (1.03)
無菌性髄膜炎	1 (0.15)
末梢性ニューロパシーNOS	3 (0.44)
眼障害	2例 (0.29)
結膜炎	1 (0.15)
眼痛	1 (0.15)
呼吸器・胸郭および縦隔障害	1例 (0.15)
肺高血圧症NOS	1 (0.15)
胃腸障害	31例 (4.56)
腹痛NOS	1 (0.15)
上腹部痛	3 (0.44)
アタラクシ性口内炎	1 (0.15)
便秘	1 (0.15)
下痢NOS	4 (0.59)
消化不良	1 (0.15)
胃潰瘍	1 (0.15)
胃炎NOS	3 (0.44)
嘔気	20 (2.94)
胃不快感	3 (0.44)
口内炎	1 (0.15)
嘔吐NOS	2 (0.29)
肝胆道系障害	6例 (0.88)
肝機能異常NOS	1 (0.15)
肝細胞障害	3 (0.44)
肝毒性増悪	1 (0.15)
高ビリルビン血症	1 (0.15)

皮膚および皮下組織障害	6例 (0.88)
脱毛	3 (0.44)
紅斑性皮疹	1 (0.15)
皮疹NOS	2 (0.29)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (0.29)
出血性関節症	1 (0.15)
筋炎	1 (0.15)
腎および尿路障害	1例 (0.15)
蛋白尿	1 (0.15)
全身障害および投与局所様態	5例 (0.74)
死亡NOS	1 (0.15)
倦怠感	2 (0.29)
発熱	2 (0.29)
臨床検査	29例 (4.26)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	2 (0.29)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	3 (0.44)
血中アミラーゼ増加	1 (0.15)
血中クレアチン・ホスホラーゼ増加	1 (0.15)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (0.29)
血中トリグリセリド増加	1 (0.15)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.15)
ヘモグロビン減少	3 (0.44)
肝機能検査NOS異常	1 (0.15)
平均赤血球容積増加	1 (0.15)
好中球数減少	2 (0.29)
血小板数減少	3 (0.44)
赤血球数減少	4 (0.59)
白血球数減少	12 (1.76)

表15. 組合№7：コンビビル+ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		62	21	35	33.87%	
性別	男	58	20	33	34.48%	P=1.000
	女	4	1	2	25.00%	
年齢	14歳	0			-	P=0.339
	15歳 64歳	61	20	33	32.79%	
	65歳	1	1	2	100.00%	
人種	日本人	54	19	32	35.19%	P=0.705
	その他	8	2	3	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	26	7	8	26.92%	P=0.418
	有	36	14	27	38.89%	
併用療法有無	無	59	21	35	35.59%	P=0.545
	有	3			0.00%	
合併症有無	無	30	9	18	30.00%	P=0.598
	有	32	12	17	37.50%	
合併症肝障害	無	47	13	24	27.66%	P=0.115
	有	15	8	11	53.33%	
	肝炎	11	5	5	45.45%	
血友病	無	57	19	31	33.33%	P=1.000
	有	5	2	4	40.00%	
	A	4	2	4	50.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	26	9	14	34.62%	P=1.000
	有	35	12	21	34.29%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	43	15	28	34.88%	P=1.000
	有	17	6	7	35.29%	
	不明・未記載	2			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には貧血NOS(8.1%)がある。
詳細は次表を参照。

表16. 組合№7：コンビビル+ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	15
調査症例数	62
副作用等の発現症例数	21 (33.87%)
副作用等の発現件数	35
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (1.61)
帯状疱疹	1 (1.61)
血液およびリンパ系障害	6例 (9.68)
貧血NOS	5 (8.06)
鉄欠乏性貧血	1 (1.61)
代謝および栄養障害	2例 (3.23)
糖尿病増悪	1 (1.61)
高コレステロール血症	1 (1.61)
精神障害	1例 (1.61)
不安障害	1 (1.61)
神経系障害	4例 (6.45)
注意力障害	1 (1.61)
浮動性めまい	3 (4.84)
耳および迷路障害	1例 (1.61)
回転性眩暈	1 (1.61)
胃腸障害	6例 (9.68)
腹部膨満	1 (1.61)
便秘	1 (1.61)
下痢NOS	1 (1.61)
吐血	1 (1.61)
嘔気	2 (3.23)
皮膚および皮下組織障害	5例 (8.06)
薬剤性皮膚炎	1 (1.61)
皮疹NOS	3 (4.84)
全身性そう痒症	1 (1.61)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.61)
筋痛	1 (1.61)
臨床検査	5例 (8.06)
血中アルカリホスファターゼ [*] NOS増加	1 (1.61)
血便	1 (1.61)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (3.23)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ [*] 増加	2 (3.23)
赤血球数減少	1 (1.61)
白血球数減少	1 (1.61)

表17. 組合№8：ヴァイデックス＋ゼリット＋ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		49	25	43	51.02%	
性別	男	44	23	41	52.27%	P=0.667
	女	5	2	2	40.00%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.110
	15歳 64歳	46	25	43	54.35%	
	65歳	2			0.00%	
人種	日本人	45	24	42	53.33%	P=0.349
	その他	4	1	1	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	17	7	8	41.18%	P=0.377
	有	32	18	35	56.25%	
併用療法有無	無	46	24	42	52.17%	P=0.609
	有	3	1	1	33.33%	
合併症有無	無	21	10	16	47.62%	P=0.776
	有	28	15	27	53.57%	
合併症肝障害	無	33	15	22	45.45%	P=0.364
	有	16	10	21	62.50%	
	肝炎	16	10	21	62.50%	
血友病	無	33	15	22	45.45%	P=0.364
	有	16	10	21	62.50%	
	A	12	6	9	50.00%	P=0.234
	B	4	4	12	100.00%	
既往歴有無	無	26	15	28	57.69%	P=0.396
	有	23	10	15	43.48%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	35	16	23	45.71%	P=0.318
	有	12	8	19	66.67%	
	不明・未記載	2	1	1	50.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(8.2%)、下痢NOS(8.2%)、皮疹NOS(8.2%)があり、器官分類別では、胃腸障害(16.3%)、皮膚および皮下組織障害(12.2%)、神経系障害(12.2%)、精神障害(10.2%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表18. 組合№8：ヴァイデックス＋ゼリット＋ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	26
調査症例数	49
副作用等の発現症例数	25 (51.02%)
副作用等の発現件数	43
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (2.04)
C型肝炎	1 (2.04)
代謝および栄養障害	2例 (4.08)
食欲不振	1 (2.04)
顔のやせ	1 (2.04)
精神障害	5例 (10.20)
異常な夢	2 (4.08)
情動障害NOS	1 (2.04)
不眠症	2 (4.08)
睡眠障害NOS	1 (2.04)
神経系障害	6例 (12.24)
浮動性めまい	4 (8.16)
頭痛NOS	1 (2.04)
感覚減退	2 (4.08)
傾眠	1 (2.04)
血管障害	2例 (4.08)
本態性高血圧症	1 (2.04)
ほてりNOS	1 (2.04)
胃腸障害	8例 (16.33)
下痢NOS	4 (8.16)
消化不良	1 (2.04)
胃炎NOS	1 (2.04)
胃腸出血NOS	1 (2.04)
舌炎	1 (2.04)
悪心	1 (2.04)
口内炎	1 (2.04)
嘔吐NOS	1 (2.04)
皮膚および皮下組織障害	6例 (12.24)
薬剤性皮膚炎	1 (2.04)
皮疹NOS	4 (8.16)
皮疹	1 (2.04)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (2.04)
筋痛	1 (2.04)
末梢腫脹	1 (2.04)
全身障害および投与局所様態	3例 (6.12)
熱感	1 (2.04)
倦怠感	1 (2.04)
発熱	1 (2.04)
臨床検査	1例 (2.04)
血中アミラーゼ増加	1 (2.04)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (2.04)
神経損傷	1 (2.04)

表19. 組合№9：エピビル＋ゼリット＋ピラミューン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		52	24	47	46.15%	
性別	男	45	20	38	44.44%	P=0.690
	女	7	4	9	57.14%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	52	24	47	46.15%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	46	21	44	45.65%	P=1.000
	その他	6	3	3	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	19	9	18	47.37%	P=1.000
	有	33	15	29	45.45%	
併用療法有無	無	50	23	42	46.00%	P=1.000
	有	2	1	5	50.00%	
合併症有無	無	19	10	17	52.63%	P=0.568
	有	33	14	30	42.42%	
合併症肝障害	無	39	16	28	41.03%	P=0.220
	有	13	8	19	61.54%	
	肝炎	12	7	16	58.33%	
血友病	無	42	19	37	45.24%	P=1.000
	有	10	5	10	50.00%	
	A	9	4	9	44.44%	P=1.000
	B	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	14	5	7	35.71%	P=0.352
	有	36	19	40	52.78%	
	不明・未記載	2			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	28	12	22	42.86%	P=0.764
	有	18	9	15	50.00%	
	不明・未記載	6	3	10	50.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には皮疹NOS(11.5%)、肝機能異常NOS(9.6%)、発熱(7.7%)、嘔気(5.8%)、肝細胞障害(5.8%)、γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加(5.8%)があり、器官分類別では、皮膚および皮下組織障害(19.2%)、肝胆道系障害(15.4%)、胃腸障害(11.5%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表20. 組合№9：エピビル＋ゼリット＋ピラミューン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	18
調査症例数	52
副作用等の発現症例数	24 (46.15%)
副作用等の発現件数	47
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (1.92)
進行性多巣性白質脳症	1 (1.92)
血液およびリンパ系障害	1例 (1.92)
好酸球増加症	1 (1.92)
代謝および栄養障害	1例 (1.92)
糖尿病NOS	1 (1.92)
高トリグリセリド血症	1 (1.92)
神経系障害	2例 (3.85)
頭痛NOS	1 (1.92)
感覚減退	1 (1.92)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (1.92)
咳嗽	1 (1.92)
咽喉頭疼痛	1 (1.92)
喘鳴	1 (1.92)
胃腸障害	6例 (11.54)
下痢NOS	2 (3.85)
舌痛	1 (1.92)
口唇痛	1 (1.92)
嘔気	3 (5.77)
嘔吐NOS	2 (3.85)
肝胆道系障害	8例 (15.38)
肝機能異常NOS	5 (9.62)
肝細胞障害	3 (5.77)
皮膚および皮下組織障害	10例 (19.23)
薬剤性皮膚炎	1 (1.92)
皮疹NOS	6 (11.54)
皮疹	2 (3.85)
蕁麻疹NOS	1 (1.92)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.92)
関節痛	1 (1.92)
全身障害および投与局所様態	4例 (7.69)
発熱	4 (7.69)
臨床検査	4例 (7.69)
血中クレアチン・尿素窒素増加	1 (1.92)
C-反応性蛋白増加	1 (1.92)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	3 (5.77)
尿中蛋白陽性	1 (1.92)

表21. 組合№10：ヴァイデックス＋ゼリット＋ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		109	52	83	47.71%	
性別	男	102	50	81	49.02%	P=0.441
	女	7	2	2	28.57%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	103	49	78	47.57%	
	65歳	6	3	5	50.00%	
人種	日本人	99	48	79	48.48%	P=0.745
	その他	10	4	4	40.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	20	3	3	15.00%	P=0.001 **
	有	89	49	80	55.06%	
併用療法有無	無	101	46	70	45.54%	P=0.148
	有	8	6	13	75.00%	
合併症有無	無	31	13	17	41.94%	P=0.526
	有	78	39	66	50.00%	
合併症肝障害	無	60	23	38	38.33%	P=0.035 *
	有	49	29	45	59.18%	
	肝炎	43	25	39	58.14%	
血友病	無	76	33	50	43.42%	P=0.212
	有	33	19	33	57.58%	
	A	29	18	32	62.07%	P=0.288
	B	4	1	1	25.00%	
既往歴有無	無	56	22	35	39.29%	P=0.086
	有	53	30	48	56.60%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	89	41	60	46.07%	P=0.305
	有	18	11	23	61.11%	
	不明・未記載	2			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢NOS(23.9%)、高脂血症 NOS(5.5%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(25.7%)、代謝および栄養障害(10.1%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表22. 組合№10：ヴァイデックス + ゼリット + ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	45
調査症例数	109
副作用等の発現症例数	52 (47.71%)
副作用等の発現件数	83
副作用等の種類 例数(%)	
血液およびリンパ系障害	4例 (3.67)
貧血NOS	1 (0.92)
出血傾向	1 (0.92)
白血球減少症NOS	1 (0.92)
汎血球減少症	1 (0.92)
代謝および栄養障害	11例 (10.09)
高コレステロール血症	1 (0.92)
高脂血症NOS	6 (5.50)
高トリグリセリド血症	3 (2.75)
高尿酸血症	2 (1.83)
精神障害	1例 (0.92)
うつ病	1 (0.92)
不快気分	1 (0.92)
神経系障害	5例 (4.59)
感覚減退	1 (0.92)
末梢性ニューロパシーNOS	4 (3.67)
血管障害	1例 (0.92)
高血圧NOS	1 (0.92)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (0.92)
咽頭炎	1 (0.92)
胃腸障害	28例 (25.69)
上腹部痛	1 (0.92)
下痢NOS	26 (23.85)
排便回数増加	1 (0.92)
胃炎NOS	1 (0.92)
嘔気	1 (0.92)
急性膵炎	1 (0.92)
肝胆道系障害	8例 (7.34)
肝機能異常NOS	4 (3.67)
肝細胞障害	3 (2.75)
黄疸NOS	1 (0.92)
皮膚および皮下組織障害	3例 (2.75)
皮疹NOS	1 (0.92)
後天性免疫不全症	2 (1.83)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.92)
出血性関節症	1 (0.92)
腎および尿路障害	2例 (1.83)
腎障害NOS	1 (0.92)
腎不全NOS	1 (0.92)
全身障害および投与局所様態	1例 (0.92)
倦怠感	1 (0.92)

臨床検査	9例 (8.26)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ 増加	1 (0.92)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 増加	1 (0.92)
血中アミラーゼ 増加	1 (0.92)
血中クレアチン・ホスホラーゼ 増加	1 (0.92)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (0.92)
血中乳酸増加	1 (0.92)
血中トリグリセリド 増加	2 (1.83)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ 増加	2 (1.83)
好中球数減少	1 (0.92)
血小板数減少	1 (0.92)

表23. 組合№11：エピビル＋ゼリット＋クリキシバン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		201	95	236	47.26%	
性別	男	176	83	208	47.16%	P=1.000
	女	25	12	28	48.00%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	199	94	232	47.24%	
	65歳	2	1	4	50.00%	
人種	日本人	192	91	232	47.40%	P=1.000
	その他	9	4	4	44.44%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	35	18	39	51.43%	P=0.710
	有	166	77	197	46.39%	
併用療法有無	無	187	91	219	48.66%	P=0.174
	有	14	4	17	28.57%	
合併症有無	無	46	25	49	54.35%	P=0.314
	有	155	70	187	45.16%	
合併症肝障害	無	130	60	141	46.15%	P=0.768
	有	71	35	95	49.30%	
	肝炎	62	30	78	48.39%	
血友病	無	140	70	163	50.00%	P=0.283
	有	61	25	73	40.98%	
	A	33	14	47	42.42%	P=1.000
	B	28	11	26	39.29%	
既往歴有無	無	79	39	104	49.37%	P=0.772
	有	121	56	132	46.28%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	141	71	181	50.35%	P=0.219
	有	59	24	55	40.68%	
	不明・未記載	1			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には嘔気(7.0%)があり、
 器官分類別では、腎および尿路障害(16.9%)、代謝および栄養障害(15.4%)、
 胃腸障害(12.9%)、肝胆道系障害(11.4%)、臨床検査(11.4%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表24. 組合№11：エピビル＋ゼリット＋クリキシバン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	73
調査症例数	201
副作用等の発現症例数	95 (47.26%)
副作用等の発現件数	236
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	2例 (1.00)
膀胱炎NOS	1 (0.50)
腎盂腎炎NOS	1 (0.50)
血液およびリンパ系障害	5例 (2.49)
出血傾向	3 (1.49)
リンパ節症	2 (1.00)
免疫系障害	2例 (1.00)
虫刺されアレルギー -	2 (1.00)
代謝および栄養障害	31例 (15.42)
食欲不振	4 (1.99)
食欲減退NOS	1 (0.50)
糖尿病NOS	2 (1.00)
痛風	1 (0.50)
高コレステロール血症	1 (0.50)
高血糖NOS	2 (1.00)
高脂血症NOS	5 (2.49)
高トリグリセリド血症	8 (3.98)
高尿酸血症	10 (4.98)
低ナトリウム血症	1 (0.50)
肥満	1 (0.50)
精神障害	1例 (0.50)
易刺激性	1 (0.50)
神経系障害	8例 (3.98)
味覚異常	1 (0.50)
頭痛NOS	1 (0.50)
感覚減退	5 (2.49)
末梢性ニューロパシー-NOS	2 (1.00)
眼障害	2例 (1.00)
結膜炎	1 (0.50)
角膜炎	1 (0.50)
血管障害	1例 (0.50)
高血圧NOS	1 (0.50)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (0.50)
咳嗽	1 (0.50)
胃腸障害	26例 (12.94)
腹部膨満	2 (1.00)
下腹部痛	1 (0.50)
腹痛NOS	3 (1.49)
下痢NOS	3 (1.49)
口内乾燥	1 (0.50)
胃炎NOS	3 (1.49)
口唇乾燥	2 (1.00)
嘔気	14 (6.97)
胃不快感	2 (1.00)
嘔吐NOS	6 (2.99)

肝胆道系障害	23例 (11.44)
肝機能異常NOS	9 (4.48)
肝細胞障害	5 (2.49)
高ビリルビン血症	10 (4.98)
黄疸NOS	3 (1.49)
脂肪肝	1 (0.50)
皮膚および皮下組織障害	17例 (8.46)
脱毛	2 (1.00)
薬剤性皮膚炎	1 (0.50)
皮膚乾燥	5 (2.49)
嵌入爪	1 (0.50)
寝汗	1 (0.50)
乾癬	1 (0.50)
皮疹NOS	5 (2.49)
皮疹	1 (0.50)
乾皮症	1 (0.50)
後天性免疫不全症	3 (1.49)
筋骨格系および結合組織障害	5例 (2.49)
背部痛	4 (1.99)
筋肉内出血	1 (0.50)
腎および尿路障害	34例 (16.92)
腎結石NOS	5 (2.49)
尿管結石	10 (4.98)
尿路結石	2 (1.00)
着色尿	1 (0.50)
排尿障害	1 (0.50)
血尿	9 (4.48)
膿尿	2 (1.00)
腎不全NOS	1 (0.50)
腎機能障害NOS	4 (1.99)
尿異常NOS	2 (1.00)
白血球尿	1 (0.50)
全身障害および投与局所様態	6例 (2.99)
倦怠感	4 (1.99)
疼痛NOS	1 (0.50)
発熱	2 (1.00)

表24 . 組合№11：エピビル＋ゼリット＋クリキシバン

調査施設数	73
調査症例数	201
副作用等の発現症例数	95 (47.26%)
副作用等の発現件数	236
副作用等の種類	例数(%)
臨床検査	23例 (11.44)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ 増加	4 (1.99)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 増加	4 (1.99)
血中アミラーゼ 増加	4 (1.99)
血中ビリルビン増加	4 (1.99)
血中非結合ビリルビン増加	1 (0.50)
血中コレステロール増加	1 (0.50)
血中クレアチン・ホスホラーゼ 増加	2 (1.00)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (1.00)
血圧低下	1 (0.50)
血中トリグリセリド 増加	4 (1.99)
血中尿酸増加	2 (1.00)
尿中血陽性	2 (1.00)
脂質NOS増加	2 (1.00)
平均赤血球容積増加	1 (0.50)
好中球数減少	1 (0.50)
血小板数減少	1 (0.50)
赤血球数減少	1 (0.50)
体重減少	1 (0.50)
尿中白血球陽性	2 (1.00)
尿中蛋白陽性	1 (0.50)

表25. 組合№12：ヴァイデックス＋ゼリット＋カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		20	3	4	15.00%	
性別	男	19	2	3	10.53%	P=0.150
	女	1	1	1	100.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	20	3	4	15.00%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	19	2	3	10.53%	P=0.150
	その他	1	1	1	100.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	7	1	1	14.29%	P=1.000
	有	13	2	3	15.38%	
併用療法有無	無	19	3	4	15.79%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	6	3	4	50.00%	P=0.018 *
	有	14			0.00%	
合併症肝障害	無	11	3	4	27.27%	P=0.218
	有	9			0.00%	
	肝炎	9			0.00%	
血友病	無	12	3	4	25.00%	P=0.242
	有	8			0.00%	
	A	6			0.00%	
	B	2			0.00%	
既往歴有無	無	9			0.00%	P=0.474
	有	10	2	2	20.00%	
	不明・未記載	1	1	2	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	15	1	1	6.67%	P=0.140
	有	5	2	3	40.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症NOS(10.0%)、
下痢NOS(5.0%)、薬剤性皮膚炎(5.0%)があり、
器官分類別では、代謝および栄養障害(10.0%)において、
10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表26 . 組合№12：ヴァイデックス＋ゼリット＋カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	11
調査症例数	20
副作用等の発現症例数	3 (15.00%)
副作用等の発現件数	4
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	2例 (10.00)
高脂血症NOS	2 (10.00)
胃腸障害	1例 (5.00)
下痢NOS	1 (5.00)
皮膚および皮下組織障害	1例 (5.00)
薬剤性皮膚炎	1 (5.00)

表27. 組合№13：コンビビル+ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		37	9	21	24.32%	
性別	男	32	8	19	25.00%	P=1.000
	女	5	1	2	20.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	37	9	21	24.32%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	31	8	19	25.81%	P=1.000
	その他	6	1	2	16.67%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	13			0.00%	P=0.015 *
	有	24	9	21	37.50%	
併用療法有無	無	36	9	21	25.00%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	16	7	18	43.75%	P=0.024 *
	有	21	2	3	9.52%	
合併症肝障害	無	28	9	21	32.14%	P=0.079
	有	9			0.00%	
	肝炎	9			0.00%	
血友病	無	31	9	21	29.03%	P=0.302
	有	6			0.00%	
	A	6			0.00%	
	B	0			-	
既往歴有無	無	16	5	11	31.25%	P=0.458
	有	21	4	10	19.05%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	28	7	18	25.00%	P=1.000
	有	9	2	3	22.22%	

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢NOS(10.8%)、皮疹NOS(8.1%)、嘔気(5.4%)があり、器官分類別では、胃腸障害(13.5%)、皮膚および皮下組織障害(10.8%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表28 . 組合№13 : コンビビル + ビラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	11
調査症例数	37
副作用等の発現症例数	9 (24.32%)
副作用等の発現件数	21
副作用等の種類	例数(%)
血液およびリンパ系障害	2例 (5.41)
赤血球減少症	1 (2.70)
汎血球減少症	1 (2.70)
代謝および栄養障害	2例 (5.41)
高コレステロール血症	1 (2.70)
高トリグリセリド血症	1 (2.70)
神経系障害	1例 (2.70)
頭痛NOS	1 (2.70)
胃腸障害	5例 (13.51)
下痢NOS	4 (10.81)
軟便	1 (2.70)
嘔気	2 (5.41)
嘔吐NOS	1 (2.70)
皮膚および皮下組織障害	4例 (10.81)
薬剤性皮膚炎	1 (2.70)
皮疹NOS	3 (8.11)
腎および尿路障害	1例 (2.70)
尿異常NOS	1 (2.70)
全身障害および投与局所様態	1例 (2.70)
発熱	1 (2.70)
臨床検査	2例 (5.41)
C-反応性蛋白増加	1 (2.70)
尿中血陽性	1 (2.70)

表29. 組合№15：レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノービア

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		49	24	32	48.98%	
性別	男	46	24	32	52.17%	P=0.235
	女	3			0.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	49	24	32	48.98%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	47	24	32	51.06%	P=0.490
	その他	2			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	21	11	12	52.38%	P=0.776
	有	28	13	20	46.43%	
併用療法有無	無	47	24	32	51.06%	P=0.490
	有	2			0.00%	
合併症有無	無	14	6	7	42.86%	P=0.754
	有	35	18	25	51.43%	
合併症肝障害	無	31	12	14	38.71%	P=0.079
	有	18	12	18	66.67%	
	肝炎	17	11	13	64.71%	
血友病	無	36	18	24	50.00%	P=1.000
	有	13	6	8	46.15%	
	A	7	3	3	42.86%	P=1.000
	B	6	3	5	50.00%	
既往歴有無	無	19	6	8	31.58%	P=0.083
	有	29	17	23	58.62%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	36	16	20	44.44%	P=0.511
	有	12	7	11	58.33%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には尿路結石(10.2%)、血中トリグリセリド増加(8.2%)があり、器官分類別では、腎および尿路障害(18.4%)、臨床検査(12.2%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表30. 組合№15：レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノービア

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	19
調査症例数	49
副作用等の発現症例数	24 (48.98%)
副作用等の発現件数	32
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (2.04)
帯状疱疹	1 (2.04)
血液およびリンパ系障害	1例 (2.04)
出血傾向	1 (2.04)
代謝および栄養障害	4例 (8.16)
高脂血症NOS	2 (4.08)
高トリグリセリド血症	2 (4.08)
心臓障害	1例 (2.04)
洞房ブロック	1 (2.04)
胃腸障害	3例 (6.12)
下痢NOS	1 (2.04)
嘔気	1 (2.04)
悪心	1 (2.04)
嘔吐NOS	1 (2.04)
肝胆道系障害	2例 (4.08)
肝機能異常NOS	1 (2.04)
肝細胞障害	1 (2.04)
皮膚および皮下組織障害	1例 (2.04)
皮疹	1 (2.04)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (2.04)
筋肉内出血	1 (2.04)
腎および尿路障害	9例 (18.37)
腎結石NOS	1 (2.04)
尿管結石	2 (4.08)
尿路結石	5 (10.20)
腎障害NOS	1 (2.04)
臨床検査	6例 (12.24)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (2.04)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (2.04)
血中コレステロール増加	1 (2.04)
血中ブドウ糖増加	1 (2.04)
血中トリグリセリド増加	4 (8.16)

表31. 組合№16：エピビル＋ゼリット＋クリキシバン＋ノーピア

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		39	21	37	53.85%	
性別	男	36	18	31	50.00%	P=0.235
	女	3	3	6	100.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	39	21	37	53.85%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	37	20	35	54.05%	P=1.000
	その他	2	1	2	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	7	2	2	28.57%	P=0.215
	有	32	19	35	59.38%	
併用療法有無	無	37	20	35	54.05%	P=1.000
	有	2	1	2	50.00%	
合併症有無	無	8	4	9	50.00%	P=1.000
	有	31	17	28	54.84%	
合併症肝障害	無	30	14	27	46.67%	P=0.139
	有	9	7	10	77.78%	
	肝炎	8	6	9	75.00%	
血友病	無	32	15	28	46.88%	P=0.098
	有	7	6	9	85.71%	
	A	6	5	7	83.33%	P=1.000
	B	1	1	2	100.00%	
既往歴有無	無	8	3	4	37.50%	P=0.432
	有	31	18	33	58.06%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	28	16	28	57.14%	P=0.703
	有	9	4	7	44.44%	
	不明・未記載	2	1	2	50.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢NOS(10.3%)、嘔気(7.7%)、高脂血症NOS(5.1%)、高トリグリセリド血症(5.1%)、高ビリルビン血症(5.1%)、間質性腎炎(5.1%)があり、器官分類別では、胃腸障害(18.0%)、代謝および栄養障害(12.8%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表32 . 組合№16 : エピビル + ゼリット + クリキシバン + ノーピア

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	13
調査症例数	39
副作用等の発現症例数	21 (53.85%)
副作用等の発現件数	37
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	2例 (5.13)
気管支炎NOS	1 (2.56)
サイトメガウイルス性網膜炎	1 (2.56)
血液およびリンパ系障害	1例 (2.56)
汎血球減少症	1 (2.56)
代謝および栄養障害	5例 (12.82)
高脂血症NOS	2 (5.13)
高トリグリセリド血症	2 (5.13)
高尿酸血症	1 (2.56)
神経系障害	2例 (5.13)
味覚異常	1 (2.56)
感覚減退	1 (2.56)
口周囲異常感覚	1 (2.56)
末梢性ニューロパシー-NOS	1 (2.56)
血管障害	3例 (7.69)
血腫NOS	1 (2.56)
高血圧NOS	1 (2.56)
四肢静脈血栓症NOS	1 (2.56)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (2.56)
咳嗽	1 (2.56)
胃腸障害	7例 (17.95)
腹痛NOS	1 (2.56)
下痢NOS	4 (10.26)
舌痛	1 (2.56)
嘔気	3 (7.69)
肝胆道系障害	3例 (7.69)
肝細胞障害	1 (2.56)
高ビリルビン血症	2 (5.13)
皮膚および皮下組織障害	1例 (2.56)
嵌入爪	1 (2.56)
腎および尿路障害	3例 (7.69)
尿路結石	1 (2.56)
間質性腎炎	2 (5.13)
全身障害および投与局所様態	1例 (2.56)
倦怠感	1 (2.56)
臨床検査	2例 (5.13)
アラニン・アミトランスフェラーゼ 増加	1 (2.56)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ 増加	1 (2.56)
血中ブドウ糖増加	1 (2.56)
尿中血陽性	1 (2.56)

表33. 組合№17：エピビル＋ゼリット

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		188	16	38	8.51%	
性別	男	151	14	32	9.27%	P=0.742
	女	37	2	6	5.41%	
年齢	14歳	0			-	P=0.019 *
	15歳 64歳	185	14	30	7.57%	
	65歳	3	2	8	66.67%	
人種	日本人	164	15	37	9.15%	P=0.698
	その他	24	1	1	4.17%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	46	2	2	4.35%	P=0.365
	有	142	14	36	9.86%	
併用療法有無	無	181	14	29	7.73%	P=0.111
	有	7	2	9	28.57%	
合併症有無	無	41	1	1	2.44%	P=0.202
	有	147	15	37	10.20%	
合併症肝障害	無	93	6	11	6.45%	P=0.434
	有	95	10	27	10.53%	
	肝炎	86	8	17	9.30%	
血友病	無	108	7	12	6.48%	P=0.295
	有	80	9	26	11.25%	
	A	52	6	21	11.54%	P=1.000
	B	27	3	5	11.11%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	91	8	21	8.79%	P=1.000
	有	96	8	17	8.33%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	147	15	36	10.20%	P=0.202
	有	41	1	2	2.44%	

詳細は次表を参照。

表34. 組合№17：エピビル＋ゼリット

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	51
調査症例数	188
副作用等の発現症例数	16 (8.51%)
副作用等の発現件数	38
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (0.53)
肺炎NOS	1 (0.53)
血液およびリンパ系障害	1例 (0.53)
貧血NOS	1 (0.53)
代謝および栄養障害	3例 (1.60)
糖尿病NOS	1 (0.53)
高脂血症NOS	1 (0.53)
高尿酸血症	1 (0.53)
低カルシウム血症	1 (0.53)
乳酸アシドーシス	1 (0.53)
神経系障害	5例 (2.66)
感覚減退	1 (0.53)
末梢性ニューロパシー-NOS	3 (1.60)
感覚障害NOS	1 (0.53)
血管障害	1例 (0.53)
起立性低血圧	1 (0.53)
胃腸障害	5例 (2.66)
腹痛NOS	1 (0.53)
下痢NOS	2 (1.06)
胃炎NOS	1 (0.53)
嘔気	1 (0.53)
嘔吐NOS	1 (0.53)
口の感覚鈍麻	1 (0.53)
肝胆道系障害	1例 (0.53)
肝機能異常NOS	1 (0.53)
黄疸NOS	1 (0.53)
皮膚および皮下組織障害	2例 (1.06)
皮下出血	1 (0.53)
後天性免疫不全症	1 (0.53)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.53)
筋痛	1 (0.53)
腎および尿路障害	1例 (0.53)
腎不全NOS	1 (0.53)
全身障害および投与局所様態	1例 (0.53)
発熱	1 (0.53)
臨床検査	8例 (4.26)
血中アルカリホスファターゼNOS増加	2 (1.06)
血中クレアチンホスファターゼ増加	1 (0.53)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (1.06)
血中尿酸増加	1 (0.53)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.53)
肝機能検査NOS異常	2 (1.06)
平均赤血球容積増加	1 (0.53)
白血球数減少	1 (0.53)

表35. 組合№18：エピビル＋ゼリット＋ピラセプト＋クラリスロマイシン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		76	30	43	39.47%	
性別	男	69	26	36	37.68%	P=0.424
	女	7	4	7	57.14%	
年齢	14歳	2			0.00%	P=0.516
	15歳 64歳	74	30	43	40.54%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	69	27	39	39.13%	P=1.000
	その他	7	3	4	42.86%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	3			0.00%	P=0.274
	有	73	30	43	41.10%	
併用療法有無	無	70	26	35	37.14%	P=0.205
	有	6	4	8	66.67%	
合併症有無	無	7	1	2	14.29%	P=0.232
	有	68	29	41	42.65%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	52	23	30	44.23%	P=0.313
	有	23	7	13	30.43%	
	肝炎	18	5	11	27.78%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	62	25	33	40.32%	P=1.000
	有	13	5	10	38.46%	
	A	8	4	8	50.00%	P=0.565
	B	5	1	2	20.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	28	10	14	35.71%	P=0.636
	有	48	20	29	41.67%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	56	21	28	37.50%	P=0.788
	有	19	8	14	42.11%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には、下痢NOS(14.5%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(17.1%)、代謝および栄養障害(13.2%)
 において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表36 . 組合№18 : エピビル + ゼリット + ビラセプト + クラリスロマイシン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	25
調査症例数	76
副作用等の発現症例数	30 (39.47%)
副作用等の発現件数	43
副作用等の種類	例数(%)
血液およびリンパ系障害	2例 (2.63)
再生不良性貧血	1 (1.32)
鉄欠乏性貧血	1 (1.32)
代謝および栄養障害	10例 (13.16)
高コレステロール血症	1 (1.32)
高血糖NOS	1 (1.32)
高脂血症NOS	2 (2.63)
高トリグリセリド血症	2 (2.63)
高尿酸血症	1 (1.32)
低コレステロール血症	1 (1.32)
乳酸アシトシス	1 (1.32)
肥満	1 (1.32)
神経系障害	3例 (3.95)
感覚減退	2 (2.63)
末梢性ニューロパシー-NOS	1 (1.32)
胃腸障害	13例 (17.11)
下痢NOS	11 (14.47)
膵炎NOS	1 (1.32)
逆流性食道炎	1 (1.32)
肝胆道系障害	2例 (2.63)
肝機能異常NOS	1 (1.32)
肝細胞障害	1 (1.32)
高ビリルビン血症	1 (1.32)
皮膚および皮下組織障害	4例 (5.26)
薬剤性皮膚炎	1 (1.32)
皮疹NOS	3 (3.95)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.32)
筋骨格不快感	1 (1.32)
全身障害および投与局所様態	2例 (2.63)
疼痛NOS	1 (1.32)
発熱	1 (1.32)
臨床検査	5例 (6.58)
血中アミラーゼ増加	1 (1.32)
血中トリグリセリド増加	1 (1.32)
好酸球数増加	1 (1.32)
γ-グロブリントランスフェラーゼ増加	1 (1.32)
好中球数減少	1 (1.32)

表37. 組合№19：レトロビル+エピビル+ピラミューン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		21	6	11	28.57%	
性別	男	20	6	11	30.00%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	14歳	2	1	1	50.00%	P=0.500
	15歳 64歳	19	5	10	26.32%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	18	6	11	33.33%	P=0.526
	その他	3			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	6	2	3	33.33%	P=1.000
	有	15	4	8	26.67%	
併用療法有無	無	21	6	11	28.57%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	9	3	7	33.33%	P=1.000
	有	12	3	4	25.00%	
合併症肝障害	無	16	5	10	31.25%	P=1.000
	有	5	1	1	20.00%	
	肝炎	3	1	1	33.33%	
血友病	無	20	6	11	30.00%	P=1.000
	有	1			0.00%	
	A	0			-	
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	9	2	3	22.22%	P=0.659
	有	12	4	8	33.33%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	15	3	7	20.00%	P=0.131
	有	5	3	4	60.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には皮疹NOS(9.5%)がある。
詳細は次表を参照。

表38 . 組合№19：レトロビル+エピビル+ピラミューン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	11
調査症例数	21
副作用等の発現症例数	6 (28.57%)
副作用等の発現件数	11
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (4.76)
B型肝炎	1 (4.76)
血液およびリンパ系障害	1例 (4.76)
無顆粒球症	1 (4.76)
神経系障害	1例 (4.76)
頭痛NOS	1 (4.76)
胃腸障害	1例 (4.76)
逆流性食道炎	1 (4.76)
肝胆道系障害	2例 (9.52)
胆汁うっ滞	1 (4.76)
肝機能異常NOS	1 (4.76)
皮膚および皮下組織障害	2例 (9.52)
皮疹NOS	2 (9.52)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (4.76)
関節痛	1 (4.76)
筋痛	1 (4.76)
全身障害および投与局所様態	1例 (4.76)
倦怠感	1 (4.76)

表39. 組合№20：コンビビル+カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		12	1	2	8.33%	
性別	男	11	1	2	9.09%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	12	1	2	8.33%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	10	1	2	10.00%	P=1.000
	その他	2			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	5			0.00%	P=1.000
	有	7	1	2	14.29%	
併用療法有無	無	12	1	2	8.33%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	4			0.00%	P=1.000
	有	8	1	2	12.50%	
合併症肝障害	無	9			0.00%	P=0.250
	有	3	1	2	33.33%	
	肝炎	3	1	2	33.33%	
血友病	無	10			0.00%	P=0.167
	有	2	1	2	50.00%	
	A	2	1	2	50.00%	
	B	0			-	
既往歴有無	無	8	1	2	12.50%	P=1.000
	有	4			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	9	1	2	11.11%	P=1.000
	有	3			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には高コレステロール血症（8.3%）、
血中トリグリセリド増加（8.3%）がある。
詳細は次表を参照。

表40 . 組合№20 : コンビビル+カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	7
調査症例数	12
副作用等の発現症例数	1 (8.33%)
副作用等の発現件数	2
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	1例 (8.33)
高コレステロール血症	1 (8.33)
臨床検査	1例 (8.33)
血中トリグリセリド増加	1 (8.33)

表41. 組合№21：エピビル＋ゼリット＋カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		9	1	1	11.11%	
性別	男	9	1	1	11.11%	-
	女	0			-	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	9	1	1	11.11%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	9	1	1	11.11%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	2	1	1	50.00%	P=0.222
	有	7			0.00%	
併用療法有無	無	9	1	1	11.11%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	3	1	1	33.33%	P=0.333
	有	6			0.00%	
合併症肝障害	無	5	1	1	20.00%	P=1.000
	有	4			0.00%	
	肝炎	4			0.00%	
血友病	無	5	1	1	20.00%	P=1.000
	有	4			0.00%	
	A	3			0.00%	-
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	6	1	1	16.67%	P=1.000
	有	3			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	7	1	1	14.29%	P=1.000
	有	1			0.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症NOS(11.1%)があり、
 器官分類別では、代謝および栄養障害(11.1%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表42 . 組合№21：エピビル＋ゼリット＋カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	7
調査症例数	9
副作用等の発現症例数	1 (11.11%)
副作用等の発現件数	1
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	1例 (11.11)
高脂血症NOS	1 (11.11)

表43．患者背景要因（CMV感染症治療薬）

デ' / シンカ' セル、叔' 化' ルい' ずれかの薬剤を使用している症例を対象

使用理由	CMV網膜炎，その他のCMV感染症，その他
性別	
年齢	デ' / シンカ' セル，又は叔' 化' ルの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人、その他
CMV治療薬以外の併用薬有無	デ' / シンカ' セル，又は叔' 化' ルの使用期間における併用有無（CMV治療薬以外の併用薬）
併用療法有無	デ' / シンカ' セル，又は叔' 化' ルの使用期間における併用療法の併用有無
CMVを除いた合併症有無	CMVを除く
合併症肝障害	
血友病有無	
血友病 A B	血友病有の症例のみでカウント
既往歴有無	
アレルギー有無	
投与開始前CD4リン' 球数	デ' / シンカ' セル又は叔' 化' ルの初回投与開始日、なければ投与前（30日以内）のCD4の検査値

これらの要因を用いて安全性の集計を行う

表44 . CMV感染症治療薬

患者背景別副作用発現症例

要因		注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)
計		104	34	66	32.69%
使用理由	CMV網膜炎	57	17	32	29.82%
	その他のCMV感染症	40	15	30	37.50%
	その他	7	2	4	28.57%
性別	男	90	29	57	32.22%
	女	14	5	9	35.71%
年齢	14歳	5	2	4	40.00%
	15歳 64歳	94	30	54	31.91%
	65歳	5	2	8	40.00%
人種	日本人	102	34	66	33.33%
	その他	1			0.00%
	不明・未記載	1			0.00%
CMV治療薬以外の 併用薬有無	無	5	1	1	20.00%
	有	99	33	65	33.33%
併用療法有無	無	81	23	42	28.40%
	有	23	11	24	47.83%
CMVを除いた 合併症有無	無	14	1	1	7.14%
	有	88	33	65	37.50%
	不明・未記載	2			0.00%
合併症肝障害	無	80	25	50	31.25%
	有	22	9	16	40.91%
	肝炎	11	3	7	27.27%
	不明・未記載	2			0.00%
血友病	無	93	31	59	33.33%
	有	9	3	7	33.33%
	A	5			0.00%
	B	4	3	7	75.00%
	不明・未記載	2			0.00%
既往歴有無	無	42	11	17	26.19%
	有	58	22	48	37.93%
	不明・未記載	4	1	1	25.00%
アレルギー(特異体質) の有無	無	72	25	43	34.72%
	有	27	9	23	33.33%
	不明・未記載	5			0.00%
投与開始時 CD4リンパ球数	< 50	34	12	24	35.29%
	50 100	6	1	1	16.67%
	100 <	10	2	5	20.00%
	不明・未記載	54	19	36	35.19%

注1) デ・ソシカ[®]セル又はスルガ[®]ル使用症例(HIV患者以外に両剤が使用された症例を含む)

表45．患者背景要因（MAC感染症治療薬）

クラリスロマイシン、ジスロマック錠600mgいずれかの薬剤を使用している症例を対象

性別	
年齢	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人、その他
MAC感染症に抗菌力を有する 併用薬有無	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用有無 併用薬（抗結核剤、アミカシン、ストレプトマイシン、サイクロセリン、リファンピリン、エネオマイシン、シプロフロキサシン）の有無
併用療法有無	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用療法の併用有無
MACを除いた合併症有無	MACを除く
既往歴有無	
アレルギー有無	

これらの要因を用いて安全性の集計を行う

表46 . MAC感染症治療薬

患者背景別副作用発現症例

要因		注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)
計		247	27	37	10.93%
性別	男	217	24	31	11.06%
	女	30	3	6	10.00%
年齢	14歳	2	1	2	50.00%
	15歳 64歳	239	26	35	10.88%
	65歳	5			0.00%
	不明・未記載	1			0.00%
人種	日本人	216	26	35	12.04%
	その他	31	1	2	3.23%
MAC感染症に抗菌薬を有する 併用薬有無	無	156	10	17	6.41%
	有	89	17	20	19.10%
	不明・未記載	2			0.00%
併用療法有無	無	216	16	22	7.41%
	有	31	11	15	35.48%
MACを除いた 合併症有無	無	39	3	3	7.69%
	有	207	24	34	11.59%
	不明・未記載	1			0.00%
既往歴有無	無	95	6	10	6.32%
	有	150	21	27	14.00%
	不明・未記載	2			0.00%
アレルギー(特異体質) の有無	無	182	17	27	9.34%
	有	60	10	10	16.67%
	不明・未記載	5			0.00%

注1) クリスマイシン又はジ・スロマイシン600mg使用症例

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	全体
	レトビル	グアイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コピビル	ザイアジェン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキパン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートビス	カトラ	デノシcap	ヌカール	クリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
副作用等の発現症例数	125	36	17	146	105	6	13	16	38		104	24	37	76	7	1	8	6	19	5		1	322
副作用等の発現件数	170	49	22	231	158	8	20	32	45		148	32	50	104	9	1	13	8	32	6		2	540
感染症および寄生虫症	7例	2例	2例	22例	16例	1例	2例	1例	2例		12例	3例	6例	7例	1例	1例			1例				33例
非定型マイコプラズマ性リンパ節炎				1	1									1									1
膀胱炎NOS				1							1												1
サイトメガロウイルス感染				1	1									1									1
サイトメガロウイルス性網膜炎		1		2	3						1	1	3			1							3
感染性下痢	1																						1
播種性結核				1	1									1									1
クリプトスポリジウム性胃腸炎				1							1												1
B型肝炎	2	1		1	1						1	1											3
C型肝炎	1	1		3	3							2		1									4
帯状疱疹	1		1	2	1						1		1	1									3
口腔カンジダ症				1	1	1					1		1										1
ニューモシスチス感染			1	2	1						1			1									3
肺炎NOS	1			2	1		1	1			1				1				1				4
進行性多巣性白質脳症				1	1																		1
肺結核							1		1		1		1										1
腎盂腎炎NOS											2												2
敗血症NOS	1			1							1												1
ブドウ球菌性膿瘍				1	1				1														1
結核性胸膜炎				1	1									1									1
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞および脂リンを含む)				2例	2例								1例	1例									2例
リンパ腫NOS				2	2								1	1									2
血液およびリンパ系障害	60例	4例	6例	36例	16例	3例	3例	4例	4例		9例	5例	6例	12例	3例			3例	2例	1例			83例
無顆粒球症	2			1				2						1									2
貧血NOS	39	2	3	18	7	1			2		5	3	4	3	1			2	1				48
貧血NOS増悪	1																						1
再生不良性貧血				1	1									1						1			1
出血傾向			1	3	3						1	1	1	2									4
顆粒球減少症	1	1						1															1
溶血性貧血NOS							1	1															1
リンパ節症			1	2																			2
大球性貧血NOS	1			1																			1
骨髄抑制	5		1	1	1								1	1									5
好中球減少症	3			1	1				1					1									3
汎血球減少症	10			6		2			1		2	1		2	1			1					13
赤血球無形成	1			1							1												1
血小板減少症	2	2		1	1		1	2				1	1										3
血小板減少症増悪				1	1		1																1
血栓性微小血管症NOS																			1				1
血栓性血小板減少性紫斑病							1	1							1								1

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	全体
	レトビビル	ウーアイデックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コビビル	ザイアジエン	ビラミューン	ストックリン	レスクリファター	クリキリバン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートベイス	カトラ	デノシンcap	ホスガール	クリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
副作用等の発現症例数	125	36	17	146	105	6	13	16	38		104	24	37	76	7	1	8	6	19	5		1	322
副作用等の発現件数	170	49	22	231	158	8	20	32	45		148	32	50	104	9	1	13	8	32	6		2	540
内分泌障害	1例			1例										1例						1例			1例
ADH不適合分泌	1			1										1						1			1
代謝および栄養障害	4例	3例	1例	14例	12例				1例		8例		1例	7例					3例				26例
食欲不振	1	1		1	1						1												2
脱水		1			1																		1
糖尿病NOS											1			2									3
耐糖能障害				1							1												1
高アンモニア血症				1										1									1
高コレステロール血症									1		1		1										1
高血糖NOS	2			3	1						1			2									4
高乳酸血症				1	1																		1
高脂血症NOS				1	1									1									1
高ナトリウム血症																			1				1
高トリグリセリド血症											1												1
高尿酸血症				1	1						1												1
低カルシウム血症																			1				1
低血糖症NOS			1																				1
低カリウム血症																			1				1
低マグネシウム血症																			1				1
ケトシス											1												1
乳酸アシドーシス	1	2		6	8						2			1									8
精神障害		1例		1例	1例		1例		1例					2例			1例		1例				4例
うつ病		1												1									1
不快気分		1												1									1
不眠症				1	1		1		1					1			1						2
精神障害NOS							1		1								1						1
不安障害																			1				1

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	全体
	レトビル	グアイデックス	ハルビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラゼ	ノビア	ビラゲート	プロゼ	フォトベイス	カトラ	デノンcap	ヌルビル	クリスロマイシン	ジスロマック	セロステイド	
副作用等の発現症例数	125	36	17	146	105	6	13	16	38		104	24	37	76	7	1	8	6	19	5		1	322
副作用等の発現件数	170	49	22	231	158	8	20	32	45		148	32	50	104	9	1	13	8	32	6		2	540
神経系障害	7例	3例	1例	14例	15例		1例	1例	4例		4例	3例	4例	7例					2例				34例
脳出血	1			1							2												3
脳梗塞				1	1				1										1				2
痙攣NOS				2	1				1		1												3
意識レベルの低下	1			1							1												1
浮動性めまい	1			1	1							2	2										3
顔面麻痺			1											1									1
ギラン・バレー症候群				1	1																		1
頭痛NOS								1															1
肝性脳症				1										1									1
感覚減退		1		2	4				1				1	1									5
無菌性髄膜炎	1			1																			1
麻痺NOS														1									1
末梢性ニューロパシーNOS	3	2		2	6		1							2					1				8
感覚障害NOS				1	1																		1
硬膜下血腫												1	1										1
失神									1														1
振戦				1	1									1									1
声帯麻痺				1	1									1									1
眼障害	1例	1例						1例				1例	2例										3例
複視	1	1											1										1
硝子体出血												1	1										1
フクス症候群								1															1
心臓障害	4例	4例		3例	2例						1例		1例	2例			4例	1例					8例
不整脈NOS	1	1											1					1					1
完全房室ブロック		1															1						1
第二度房室ブロック		1															1						1
心不全NOS	1										1												1
心肺停止		1		1	1									1									1
左室不全	1			1													1						1
心筋梗塞	2			2										1			1						2
動悸		1			1												1						1
肺水腫NOS	1			1													1						1
頻脈NOS		1			1												1						1
徐脈性不整脈																	1						1
血管障害				1例	1例									2例									2例
静脈炎NOS														1									1
ショック				1	1									1									1

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								抗CMV		抗MAC		体重減少	
対象薬剤名	レトビル	グアイデックス	ハルビッド	エビビル	ゼリット	コピビル	ザイアジェン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	カキシバン	インペラーゼ	ノビーア	ビレジプト	ブローゼ	フォートベイス	カルトラ	デノンcap	ヌルガール	ケリスロマイシン	ジスロマック	セロスティブ	全体	
副作用等の発現症例数	125	36	17	146	105	6	13	16	38		104	24	37	76	7	1	8	6	19	5		1	322	
副作用等の発現件数	170	49	22	231	158	8	20	32	45		148	32	50	104	9	1	13	8	32	6		2	540	
呼吸器、胸郭および縦隔障害	2例			3例	1例						1例			1例					1例				4例	
労作性呼吸困難	1			1							1												1	
嘔声				1	1									1									1	
肺高血圧症NOS	1			1																			1	
呼吸障害NOS																			1				1	
胃腸障害	7例	9例	2例	17例	18例	2例	1例	1例	8例		11例	6例	9例	12例	2例		1例		1例			1例	48例	
下腹部痛											1												1	
腹痛NOS		1		2	3						1			1									3	
上腹部痛	1			2							1												2	
急性腹症		1			2		1								2								2	
腹水		1			2				1														2	
出血性大腸炎		1																					1	
下痢NOS	2	1		3	2							1	1	2									5	
出血性十二指腸潰瘍				1	1				1														1	
嚥下障害				1	1									1									1	
胃潰瘍	1	1		1					1		1												2	
胃腸出血NOS		1		2	1				1			2	1	2									5	
吐血						1			1														1	
ムネ								1														1	2	
嘔気	3			4	2						6	1	3	1					1				11	
急性膵炎		2		1	4				2		1			2			1						4	
出血性膵炎												1	1										1	
膵炎NOS		1		2	1									1									3	
腹膜出血									1		1	1	1	1									2	
口内炎			1	1	1	1					1		1										2	
嘔吐NOS	1			2	1						3	1	3	1					1				7	
下部消化管出血	1		1											1									1	
肝胆道系障害	9例	5例	4例	17例	16例			3例	2例		8例	6例	5例	7例					1例	1例			33例	
胆管炎NOS												1	1										1	
肝硬変NOS	1		1																				1	
肝不全				2	2				2											1			2	
肝機能異常NOS	3	3	2	6	7			2			3	3	3	3									14	
急性肝炎	1			1							1												1	
肝炎NOS				2	2									3									3	
肝細胞障害	3	1	1	6	5			1			4	2	1						1				10	
肝毒性増悪	1			1																			1	
胆汁うっ滞性黄疸												1	1										1	
黄疸NOS	1	1		2	2			1			2			1									4	

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	全体
	イトビ`ル	ウ`ァイテ`ツク`ス	ハイビ`ット	エビ`ビル	ゼ`リット	コビ`ビル	ザ`イアジ`エン	ビ`ラミューン	ストックリン	レスクリプ`ター	クリキソバン	イビ`ラーゼ`	ノ`ビ`ア	ビ`ラプ`ト	プ`ロ`ゼ`	フォートベ`イス	カトラ	デ`ノジ`ncap	叔ガ`ル	クリスロマイ`ン	ジ`スロマック	セロステム	
副作用等の発現症例数	125	36	17	146	105	6	13	16	38		104	24	37	76	7	1	8	6	19	5		1	322
副作用等の発現件数	170	49	22	231	158	8	20	32	45		148	32	50	104	9	1	13	8	32	6		2	540
皮膚および皮下組織障害	7例	3例		17例	13例		7例	7例	16例		7例		5例	17例	2例		2例		2例	1例			43例
薬剤性皮膚炎	2	2		6	5		1		7		2		2	4			1						11
紅斑									1														1
多形紅斑		1			1		1		1		1		1										2
皮下出血				1	1				1														1
ヘン`ホ`シエン`ライ`ン紫斑病	1			1										1									1
嵌入爪											2		2										2
紅斑性皮疹	1																						1
全身性皮疹	1			1										1									1
皮疹NOS	2			5	3		2	4	3		2			5			1						12
皮疹				2	2		3	2	3					5	2				1	1			10
スティー`ブ`ン`ス`ジ`ョソソ`ン症候群								1											1				1
後天性リ`バ`ジ`ストロ`フィー				1	1									1									1
筋骨格系および結合組織障害	1例			3例	2例			2例			7例	1例	1例	3例									14例
関節痛								1															1
背部痛	1			1							5												5
出血性関節症								1			1	1	1	2									5
筋肉内出血											1												1
筋痛				2	2									1									2
腎および尿路障害	6例	4例	2例	10例	8例						45例		3例	5例					4例	1例			58例
腎結石NOS	1		1								10												10
尿管結石	1	1		2	1						22		1										22
尿路結石											2												2
血尿											5								1				6
水腎症	1			1							2												2
間質性腎炎											2												2
腎症NOS	1			1										1									1
初`ゼ`症候群	1			1										1									1
蛋白尿											1												1
腎萎縮			1								1												1
腎障害NOS		1		1	2						2			1									3
急性腎不全	1			2	1						2			1						1			3
慢性腎不全増悪		1		1	1									1									1
腎不全NOS		1		1	3									1									3
腎機能障害NOS	1			1							2		2						3				7
生殖系および乳房障害	1例			2例	1例						1例			1例					1例				3例
月経過多				1	1									1									1
陰嚢潰瘍	1			1							1								1				2

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

[illegible]

表図 1

エビビル+ゼリット+ピラセプト

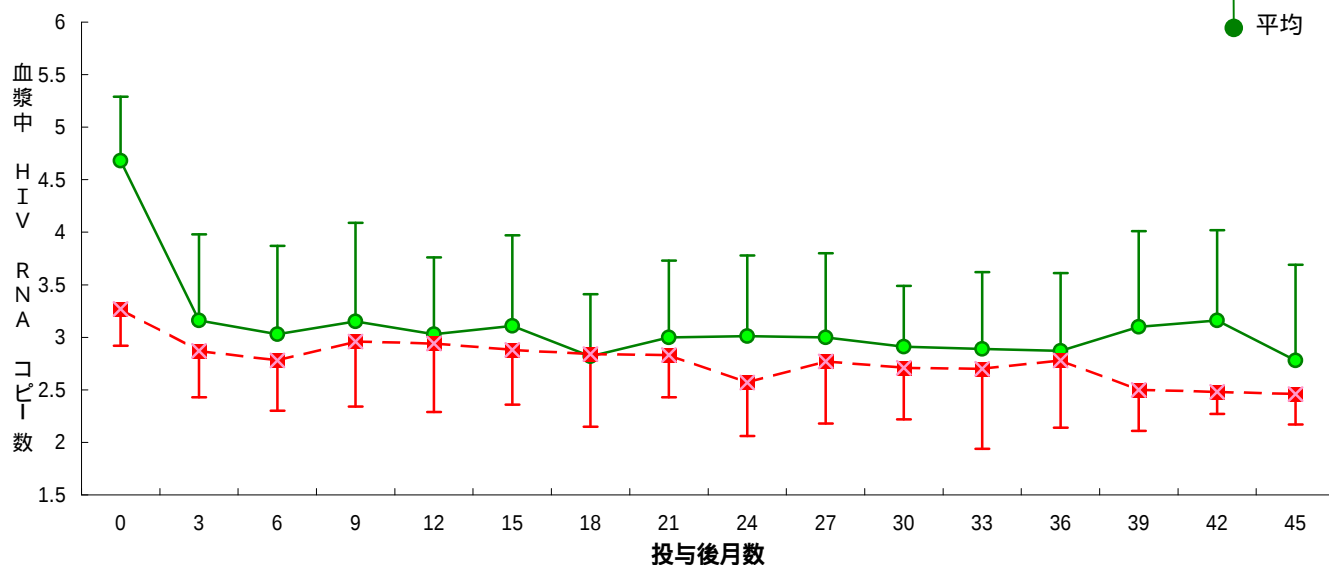
【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	47	38	32	30	21	21	13	13	17	8	5	9	7	4	2	2
		Mean S.D.	76.4 61.6	198.8 124.1	212.3 128.1	261.7 132.9	272.5 208.6	316.9 233.9	330.0 164.7	320.9 174.9	324.7 128.1	375.8 178.3	495.8 243.4	467.9 284.8	472.3 266.8	596.8 418.5	306.5 23.3	459.0 277.2
	有	n	101	80	62	45	35	36	22	24	15	14	10	11	7	7	5	3
		Mean S.D.	104.1 63.1	163.9 111.5	188.2 104.5	202.8 115.1	229.4 103.4	235.4 101.7	222.8 92.1	261.5 117.5	275.9 127.4	259.4 105.8	319.6 166.9	248.5 131.5	268.9 184.0	231.9 81.8	185.1 63.7	286.7 141.1
0ヶ月時 200 <500	無	n	39	32	29	14	20	13	15	15	17	15	11	8	7	7	3	4
		Mean S.D.	318.7 72.1	486.9 161.1	476.7 161.0	544.7 167.0	496.0 166.3	562.9 190.9	552.0 224.8	545.3 205.8	614.5 216.4	601.1 205.2	652.0 218.1	630.9 184.8	715.7 276.0	704.4 288.5	825.7 122.0	784.8 218.9
	有	n	81	56	53	46	50	36	31	29	30	30	26	22	15	14	12	10
		Mean S.D.	330.9 79.5	377.8 142.1	414.7 138.9	434.0 128.2	456.2 153.8	502.4 176.6	474.6 153.5	483.5 165.0	488.2 190.9	506.0 135.4	520.2 144.1	536.2 161.8	524.1 197.0	571.9 216.6	483.2 142.5	535.7 188.1
0ヶ月時 500	無	n	29	20	21	14	12	12	13	9	6	6	1	2	3	1	-	-
	有	Mean S.D.	696.8 154.2	614.3 171.8	712.7 322.2	688.3 185.1	611.1 212.6	652.9 163.9	664.9 208.9	660.8 148.7	596.2 86.1	671.3 116.2	685.0 -	884.0 121.6	734.3 207.7	834.0 -	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	76	61	55	36	36	29	22	23	27	17	12	15	11	7	4	5
		Mean	4.9	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.5	2.7	2.6	2.6	2.5	2.4	2.4
	S.D.	0.6	0.4	0.3	0.5	0.2	0.6	0.2	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	
	有	n	99	76	58	46	38	36	22	26	20	19	10	18	13	11	9	5
		Mean	4.6	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.0	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	3.1	3.5	3.5	3.1
	S.D.	0.6	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.8	0.8	1.0	0.8	1.2
計	n	175	137	113	82	74	65	44	49	47	36	22	33	24	18	13	10	
	Mean	4.7	3.2	3.0	3.2	3.0	3.1	2.8	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	2.8	
0ヶ月時 400 <5000	n	51	39	36	34	34	30	19	16	16	17	16	12	7	8	3	5	
	Mean	3.3	2.9	2.8	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.6	2.8	2.7	2.7	2.8	2.5	2.5	2.5	
	S.D.	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.5	0.7	0.4	0.5	0.6	0.5	0.8	0.6	0.4	0.2	0.3	
検査有(n)			259	190	159	126	117	102	69	72	67	59	44	48	33	29	20	17
検出限界以下(n)			38	110	110	78	72	64	52	45	45	36	28	33	23	19	11	10
[<400]			15%	58%	69%	62%	62%	63%	75%	63%	67%	61%	64%	69%	70%	66%	55%	59%

(log)



・ : n=1

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。

治療開始3ヶ月で、約5割以上の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。

また、効果は45ヶ月程度維持されている。

CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加し、高値を維持している。

特に、投与前CD4数200未満の治療未経験者の増加傾向は顕著である。

また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。

表図 2

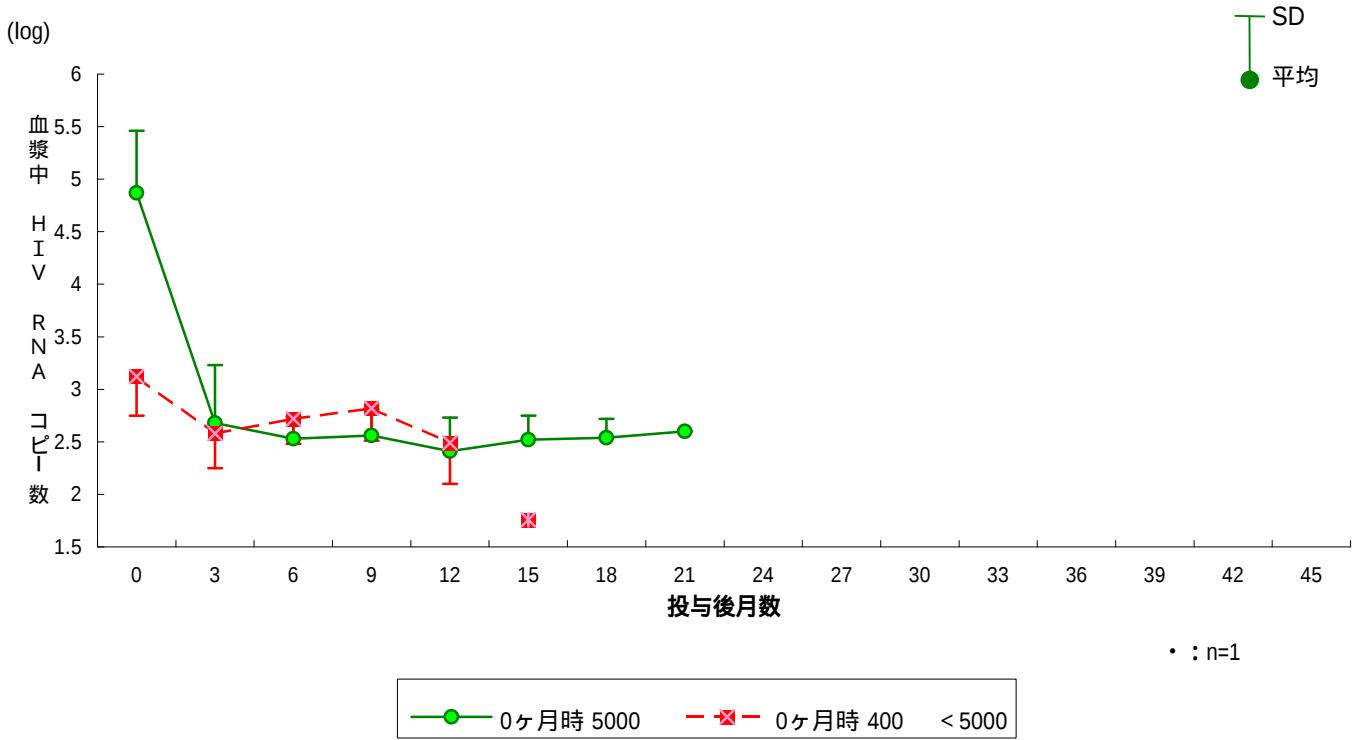
エビビル+ゼリット+ストックリン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	31	21	20	12	8	4	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	78.5	184.1	229.3	241.1	276.1	220.8	426.5	425.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	< 200	S.D.	54.1	126.1	142.1	168.4	179.8	129.7	138.6	218.5	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n	15	11	7	6	9	5	5	2	1	-	-	-	-	-	-
< 500	Mean		84.5	164.0	234.0	253.0	326.7	371.8	372.6	385.5	163.0	-	-	-	-	-	-	-
	500	S.D.	64.0	105.2	160.5	138.3	133.0	146.3	247.4	358.5	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時		無	n	17	12	10	3	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mean		288.9	385.7	401.7	440.7	477.3	448.0	587.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	< 500	S.D.	59.9	103.9	139.2	90.1	116.1	95.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500	n	18	12	11	7	7	4	1	2	1	1	-	-	-	-	-
< 500	Mean		332.8	329.8	311.6	367.2	366.7	420.0	181.0	269.0	207.0	193.0	-	-	-	-	-	-
	500	S.D.	89.4	77.2	118.9	123.9	146.3	177.5	-	52.3	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時		500	n	5	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mean		588.2	661.5	845.0	793.0	670.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.		109.3	122.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	43	31	26	13	11	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.9	2.6	2.5	2.6	2.4	2.5	2.5	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.6	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	11	8	4	4	6	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.6	2.9	2.6	2.4	2.3	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.7	0.7	0.0	0.3	0.4	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	54	39	30	17	17	12	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	4.9	2.7	2.5	2.6	2.4	2.5	2.5	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	有	n	7	5	4	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	3.1	2.6	2.7	2.8	2.5	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			71	47	37	21	22	15	9	5	2	1						
検出限界以下(n)			14	36	35	18	20	13	9	5	2	1						
[<400]			20%	77%	95%	86%	91%	87%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で、約7割以上の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。
また、効果は1年以上維持されている。
CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。
また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。
RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。
特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向は顕著である。

表図 3

レトロビル+エピビル+ピラセプト

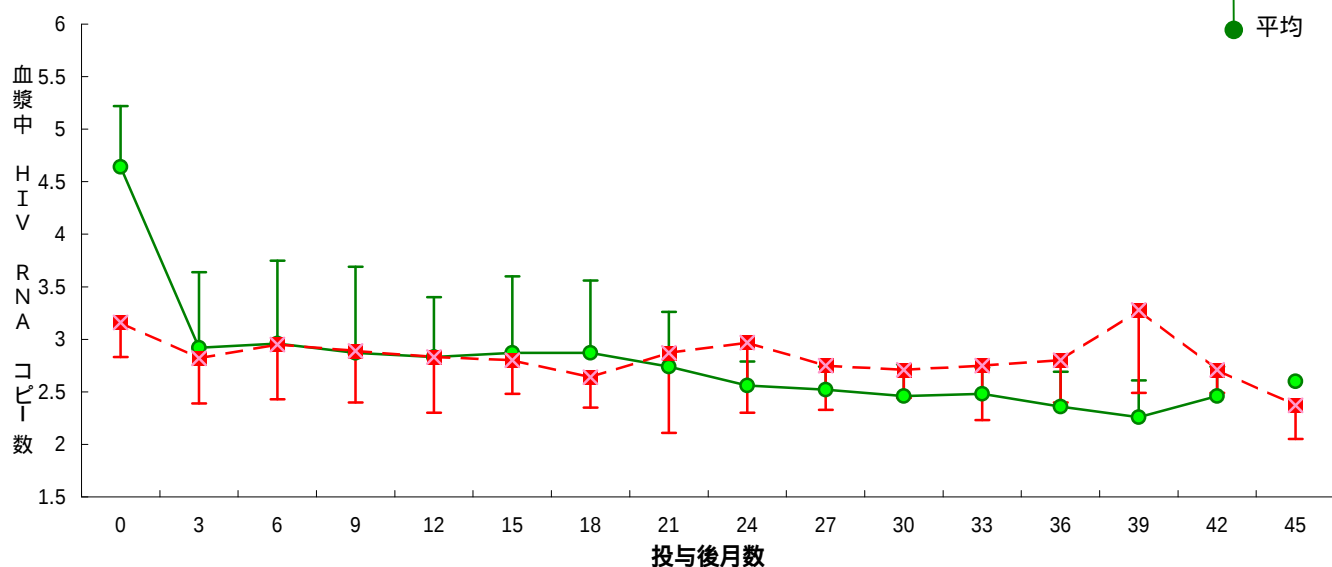
【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	25	19	15	7	9	6	2	1	2	3	2	2	2	1	-	-
		Mean S.D.	70.1 69.7	160.5 86.3	184.2 116.7	232.9 132.1	283.4 127.8	298.0 155.8	292.5 89.8	230.0 -	196.0 25.5	349.2 157.8	429.5 301.9	214.5 48.8	323.0 12.7	343.0 -	-	-
	有	n	41	35	24	6	9	4	2	5	2	1	-	1	1	-	1	1
		Mean S.D.	116.1 81.8	157.8 111.2	203.2 206.3	202.7 115.2	292.2 206.3	292.1 243.2	387.5 136.5	240.2 65.7	357.5 44.6	225.0 -	-	222.0 -	243.0 -	-	214.0 -	169.0 -
0ヶ月時 200 <500	無	n	41	36	24	17	20	21	12	11	15	8	6	10	7	5	4	1
		Mean S.D.	344.2 81.9	437.7 164.1	521.7 108.9	524.3 195.2	588.5 206.9	586.4 194.5	527.3 175.5	619.9 273.1	599.5 198.0	651.6 178.2	661.8 119.7	602.5 208.1	694.4 242.8	809.9 371.5	771.0 297.5	645.0 -
	有	n	61	49	44	28	22	22	22	17	14	12	14	9	2	4	3	2
		Mean S.D.	323.4 91.6	375.8 142.2	389.5 146.4	372.2 112.2	401.8 118.4	425.8 159.4	496.2 148.5	451.1 178.4	483.2 157.4	582.3 310.5	477.6 187.8	463.8 209.3	375.0 113.1	401.0 154.5	673.7 367.5	270.5 41.7
0ヶ月時 500	有	n	38	30	22	14	15	13	15	8	12	10	8	5	5	3	2	2
		Mean S.D.	717.8 179.6	715.5 194.3	764.5 180.4	846.2 255.2	790.2 294.7	805.8 142.9	862.0 193.1	905.5 315.2	811.3 192.2	878.3 228.4	951.0 162.7	945.0 261.4	1008.2 313.2	714.3 285.4	897.5 357.1	1115.0 318.2

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	57	48	36	18	24	22	11	12	13	7	7	7	8	6	4	1
		Mean S.D.	4.7 0.5	2.7 0.4	2.7 0.4	2.7 0.5	2.8 0.4	2.6 0.5	2.7 0.6	2.6 0.2	2.6 0.3	2.5 0.2	2.4 0.4	2.5 0.3	2.4 0.3	2.2 0.3	2.5 0.3	2.6 -
	有	n	53	42	33	14	12	11	8	5	3	1	3	1	-	1	-	-
		Mean S.D.	4.5 0.6	3.2 0.9	3.3 1.0	3.1 1.1	3.0 0.8	3.4 0.9	3.1 0.8	3.1 0.8	2.6 0.0	2.6 -	2.6 0.0	2.6 -	-	2.6 -	-	-
	計	n	110	90	69	32	36	33	19	17	16	8	10	8	8	7	4	1
		Mean S.D.	4.6 0.6	2.9 0.7	3.0 0.8	2.9 0.8	2.8 0.6	2.9 0.7	2.9 0.7	2.7 0.5	2.6 0.2	2.5 0.2	2.5 0.3	2.5 0.3	2.4 0.3	2.3 0.4	2.5 0.3	2.6 -
0ヶ月時 400 <5000	n	34	30	22	15	11	10	13	9	11	11	6	10	4	3	4	2	
	Mean S.D.	3.2 0.3	2.8 0.4	3.0 0.5	2.9 0.5	2.8 0.5	2.8 0.3	2.6 0.3	2.9 0.8	3.0 0.7	2.8 0.4	2.7 0.3	2.8 0.5	2.8 0.4	3.3 0.8	2.7 0.2	2.4 0.3	
検査有(n)			173	132	101	56	52	47	37	30	33	24	19	20	14	12	8	4
検出限界以下(n)			28	87	68	41	40	35	30	23	26	19	17	18	13	9	7	4
[<400]			16%	66%	67%	73%	77%	74%	81%	77%	79%	79%	89%	90%	93%	75%	88%	100%

(log)



・ : n=1

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。

治療開始3ヶ月で、約6割の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。

また、効果は約3年程度維持されている。

CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。

また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。

特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向は顕著である。

表図 4

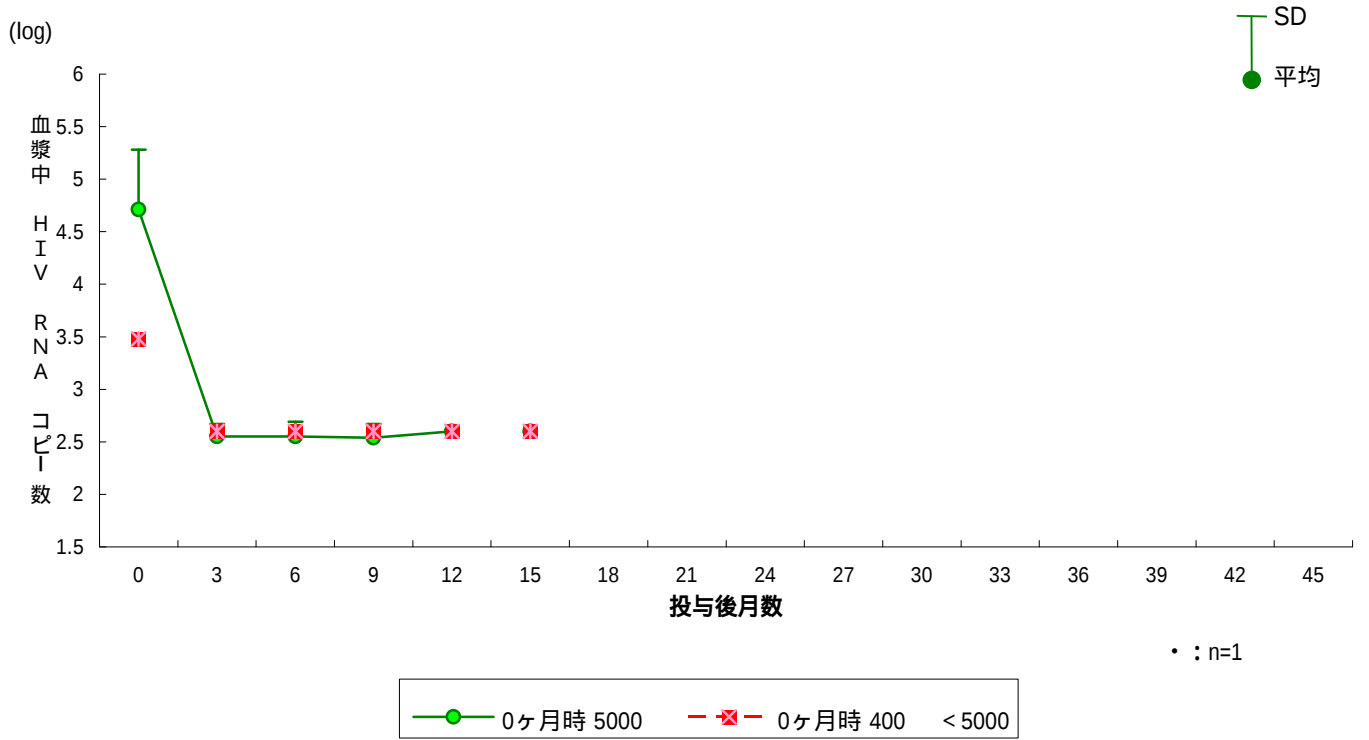
レトロビル+エピビル+ストックリン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	2	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	77.6	144.0	143.0	131.5	137.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	35.0	161.0	209.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	4	2	2	3	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	305.1	326.8	432.0	439.3	472.8	464.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	8	5	2	2	4	2	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-
		Mean	314.1	349.8	315.0	463.5	502.0	480.5	477.5	776.0	532.5	1022.0	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	5	3	3	5	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	681.6	574.0	528.3	770.1	530.0	809.0	551.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	5	3	3	5	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	681.6	574.0	528.3	770.1	530.0	809.0	551.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	5	3	3	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	S.D.	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		n	5	3	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	Mean	4.8	2.5	2.5	2.3	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.7	0.2	0.2	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 400 <5000	有	n	10	6	8	5	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.7	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	S.D.	0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		n	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	Mean	3.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			15	7	10	7	7	3	1									
検出限界以下(n)			1	7	10	7	7	3	1									
[<400]			7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の全てにおいて、HIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図 5

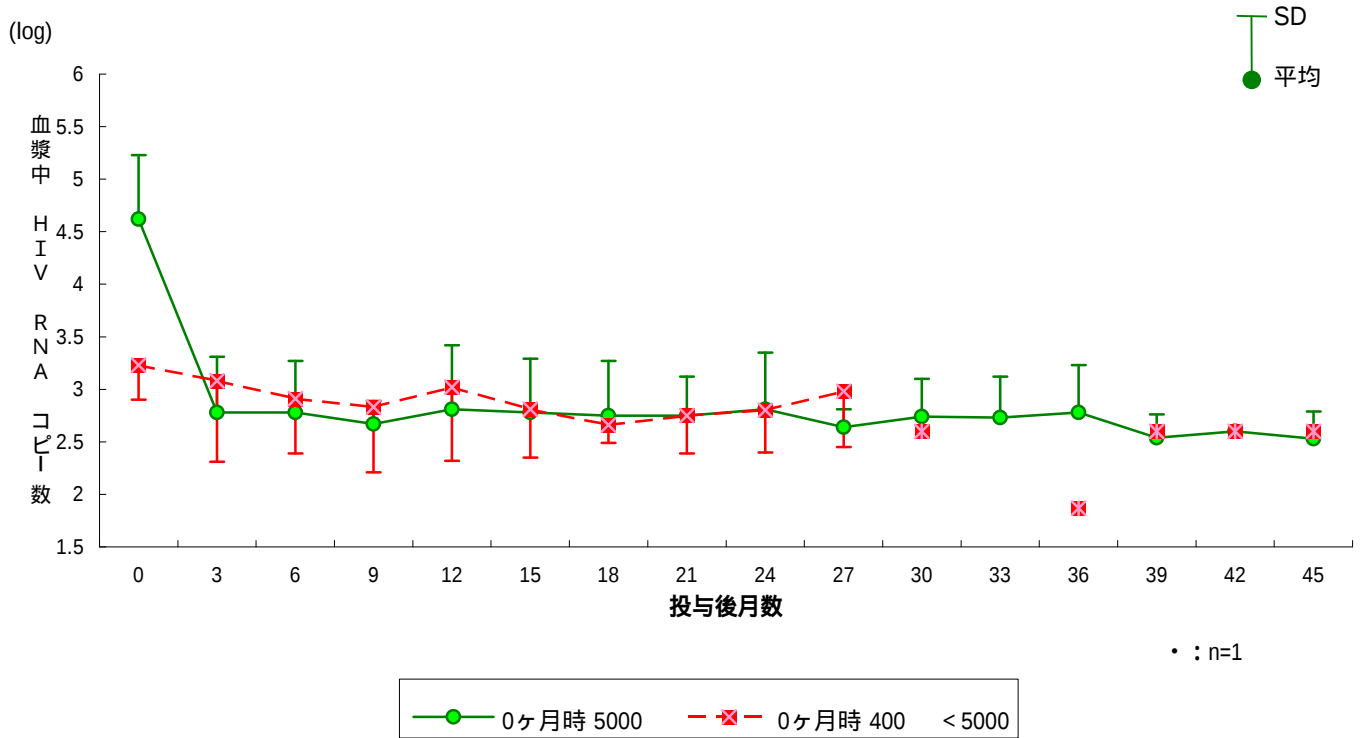
レトロビル+エピビル+クリキシバン

【CD4陽性リパ⁺球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	58	52	32	24	22	16	14	9	11	8	6	6	4	4	3	3
		Mean	76.2	166.0	212.7	271.1	314.3	347.9	318.7	240.3	336.1	292.4	262.2	329.5	375.0	369.6	477.7	633.7
	有	n	69	57	46	31	29	17	22	11	15	14	8	5	4	7	4	6
		Mean	80.8	137.7	165.7	205.9	211.7	283.6	290.7	265.6	293.1	311.1	305.8	369.0	333.3	436.3	362.3	433.8
0ヶ月時 200 <500	無	n	40	31	25	23	19	15	12	7	6	6	3	1	-	-	-	-
		Mean	321.0	462.8	445.9	512.2	636.7	614.7	562.8	498.1	549.2	566.7	585.3	901.0	-	-	-	-
	有	n	60	47	35	34	29	28	25	20	14	9	5	4	9	7	5	6
		Mean	337.7	408.3	447.3	488.8	432.4	491.3	488.0	508.4	672.5	525.0	668.2	520.8	528.4	567.9	444.8	654.2
0ヶ月時 500	無	n	33	30	21	18	13	14	9	6	4	2	5	-	3	2	2	1
		Mean	706.6	746.3	783.5	754.0	833.5	829.0	1031.5	1144.8	903.8	1049.5	946.2	-	1188.0	1587.5	1217.5	1312.0
	有	n	33	30	21	18	13	14	9	6	4	2	5	-	3	2	2	1
		Mean	706.6	746.3	783.5	754.0	833.5	829.0	1031.5	1144.8	903.8	1049.5	946.2	-	1188.0	1587.5	1217.5	1312.0

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	81	72	55	39	40	31	24	17	15	10	7	6	3	4	2	4
		Mean	4.7	2.8	2.7	2.6	2.7	2.7	2.7	3.0	2.6	2.9	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	
		S.D.	0.6	0.5	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.7	0.0	0.5	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0
	有	n	61	43	40	26	27	23	22	13	14	9	10	6	9	8	5	8
		Mean	4.6	2.8	2.9	2.7	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.7	2.6	2.6	2.8	2.5	2.6	2.5
		S.D.	0.7	0.6	0.6	0.3	0.8	0.6	0.7	0.4	0.0	0.3	0.1	0.1	0.5	0.3	0.0	0.3
計	n	142	115	95	65	67	54	46	30	29	19	17	12	12	12	7	12	
	Mean	4.6	2.8	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.6	2.7	2.7	2.8	2.5	2.6	2.5	
	S.D.	0.6	0.5	0.5	0.2	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.2	0.4	0.4	0.5	0.2	0.0	0.3	
0ヶ月時 400 <5000	n	37	31	18	14	16	8	8	6	5	5	1	-	1	1	1	1	
	Mean	3.2	3.1	2.9	2.8	3.0	2.8	2.7	2.8	2.8	3.0	2.6	-	1.9	2.6	2.6	2.6	
	S.D.	0.3	0.8	0.5	0.6	0.7	0.5	0.2	0.4	0.4	0.5	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			211	155	122	86	89	68	58	38	36	26	20	12	15	16	10	15
検出限界以下(n)			35	107	96	72	70	53	51	32	30	22	16	9	13	15	10	14
[<400]			17%	69%	79%	84%	79%	78%	88%	84%	83%	85%	80%	75%	87%	94%	100%	93%



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で、約7割の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。
また、効果は約45ヶ月維持されている。
CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。
また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。
RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。
特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向は顕著である。

表図 6

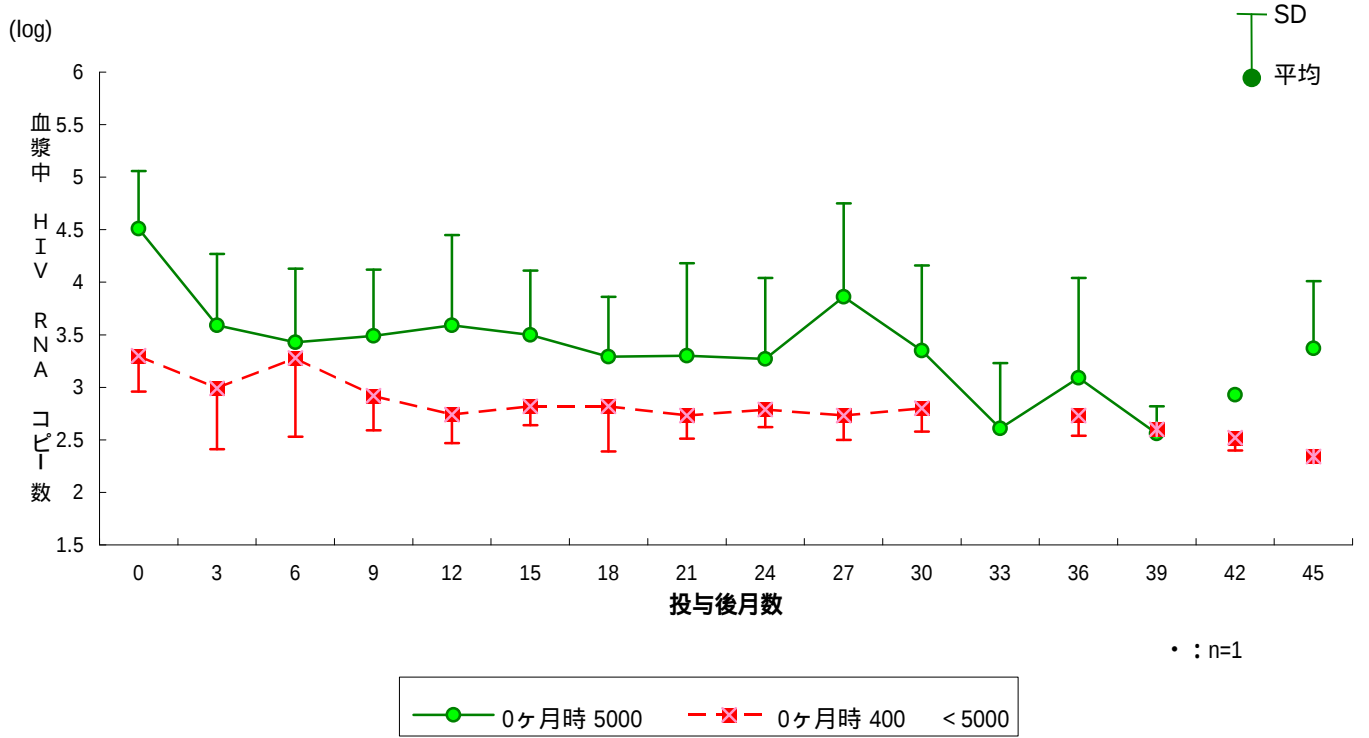
レトロビル+エピビル

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	22	20	9	5	3	2	2	-	2	3	-	1	3	2	-	1
		Mean	95.2	157.0	154.4	217.4	120.0	293.0	296.3	-	254.0	344.7	-	302.0	351.7	247.5	-	300.0
	有	n	37	34	14	4	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	100.7	142.0	121.1	134.5	41.3	115.5	265.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	47	36	30	23	14	11	10	6	6	5	11	6	4	2	2	2
		Mean	351.6	420.0	467.4	438.3	459.1	507.1	486.9	504.7	533.3	368.6	475.0	515.3	559.0	414.5	543.0	397.0
	有	n	61	48	37	31	23	19	17	13	11	12	11	8	6	4	4	5
		Mean	343.3	372.6	354.7	402.7	385.6	396.1	374.6	393.8	408.9	398.6	378.8	437.5	355.2	415.0	339.5	450.1
0ヶ月時 500	無	n	25	21	13	10	6	8	8	7	6	2	4	2	4	2	-	1
		Mean	641.7	567.8	576.7	541.4	581.3	713.0	599.3	686.4	567.8	655.0	562.1	544.0	436.8	597.5	-	362.0
	有	n	168.0	194.8	165.7	171.3	116.2	327.2	265.4	221.7	143.4	25.5	92.3	45.3	110.7	78.5	-	-
		S.D.																

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	36	28	20	16	7	6	3	4	3	2	4	2	3	2	1	1
		Mean	4.6	3.5	3.3	3.4	3.7	3.4	3.2	3.3	2.9	4.1	3.1	2.2	2.6	2.7	2.9	3.8
	有	n	39	33	20	16	10	13	7	5	6	5	5	3	3	1	-	1
		Mean	4.5	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.3	3.3	3.4	3.8	3.6	2.9	3.6	2.3	-	2.9
0ヶ月時 400 <5000	無	n	75	61	40	32	17	19	10	9	9	7	9	5	6	3	1	2
		Mean	4.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.3	3.3	3.3	3.9	3.4	2.6	3.1	2.6	2.9	3.4
	有	n	33	24	15	12	8	4	4	3	3	3	2	-	2	1	2	1
		Mean	3.3	3.0	3.3	2.9	2.7	2.8	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	-	2.7	2.6	2.5	2.3
検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	無	n	143	95	62	49	29	26	16	16	14	12	14	6	10	5	4	5
		Mean	22	25	21	9	11	4	8	5	4	5	5	3	4	3	3	2
	有	n	15%	26%	34%	18%	38%	15%	50%	31%	29%	42%	36%	50%	40%	60%	75%	40%
		Mean																



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の併用療法である。
HIV治療において、本併用療法は早期から使用されている。
治療経験者の多くは、レトロビル単独療法の経験を持っていると思われる。
CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。
また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。
RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、減少傾向を示し効果が認められる。

表図 7

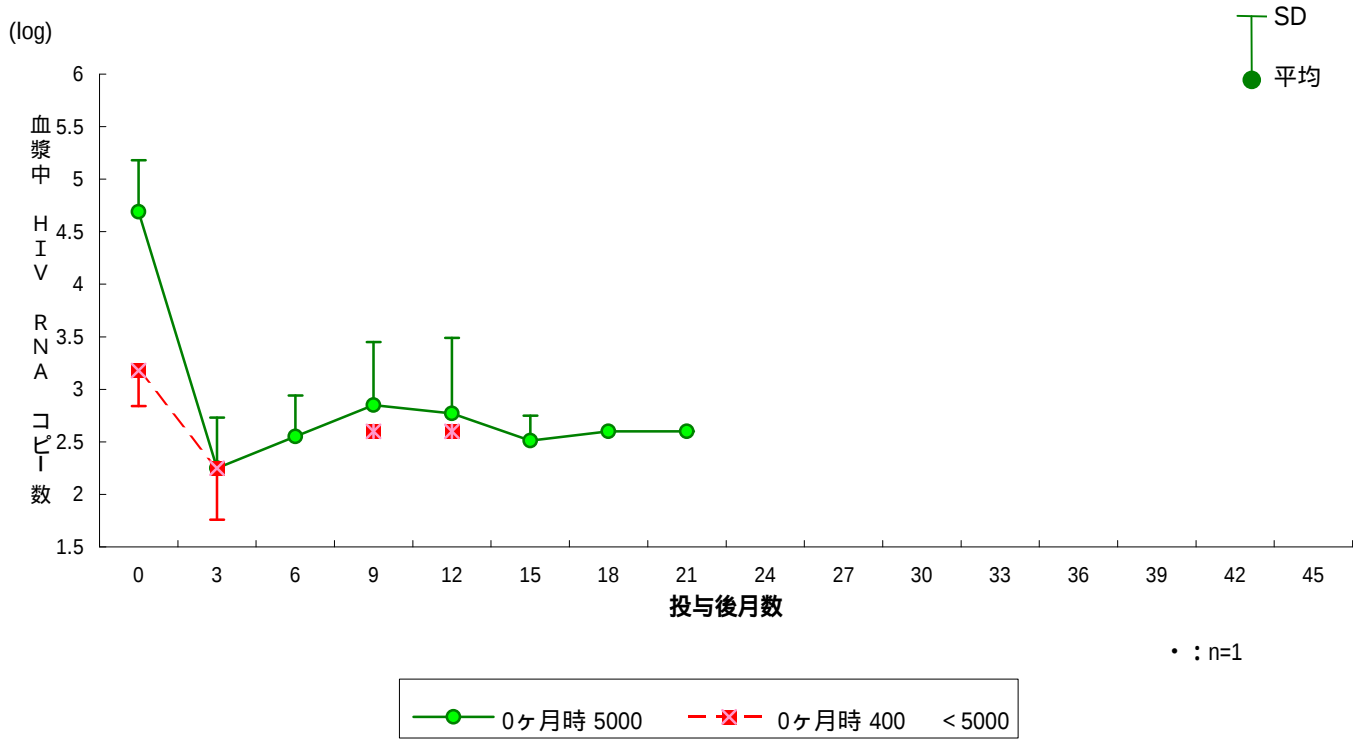
コンビビル+ストックリン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	6	5	3	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	125.8 66.2	245.2 80.6	345.8 124.1	-	303.8 158.8	319.5 212.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	179.0 8.5	146.0	600.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	9	7	5	3	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	347.5 88.5	467.4 133.5	596.8 102.8	477.3 81.4	521.3 114.3	638.3 128.2	675.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	5	4	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	316.8 79.7	318.3 117.4	259.0 78.1	277.3 43.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	8	6	3	5	3	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	Mean S.D.	880.4 303.0	830.7 285.7	803.0 366.5	805.4 207.2	950.0 229.1	1119.0 305.5	1118.0 28.3	780.0 134.4	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	15	12	10	3	5	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	4.7 0.5	2.4 0.3	2.4 0.3	2.6 0.0	2.5 0.3	2.5 0.3	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	4	3	4	3	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	4.5 0.5	1.8 0.9	2.9 0.4	3.1 0.9	3.5 1.2	2.6 0.0	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 400 <5000	計	n	19	15	14	6	7	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	4.7 0.5	2.3 0.5	2.6 0.4	2.9 0.6	2.8 0.7	2.5 0.2	2.6 0.0	2.6 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	無	n	28	18	15	9	9	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	Mean S.D.	3.2 0.3	2.3 0.5	-	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			14%	89%	87%	89%	89%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の配合剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の約8割においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図 8

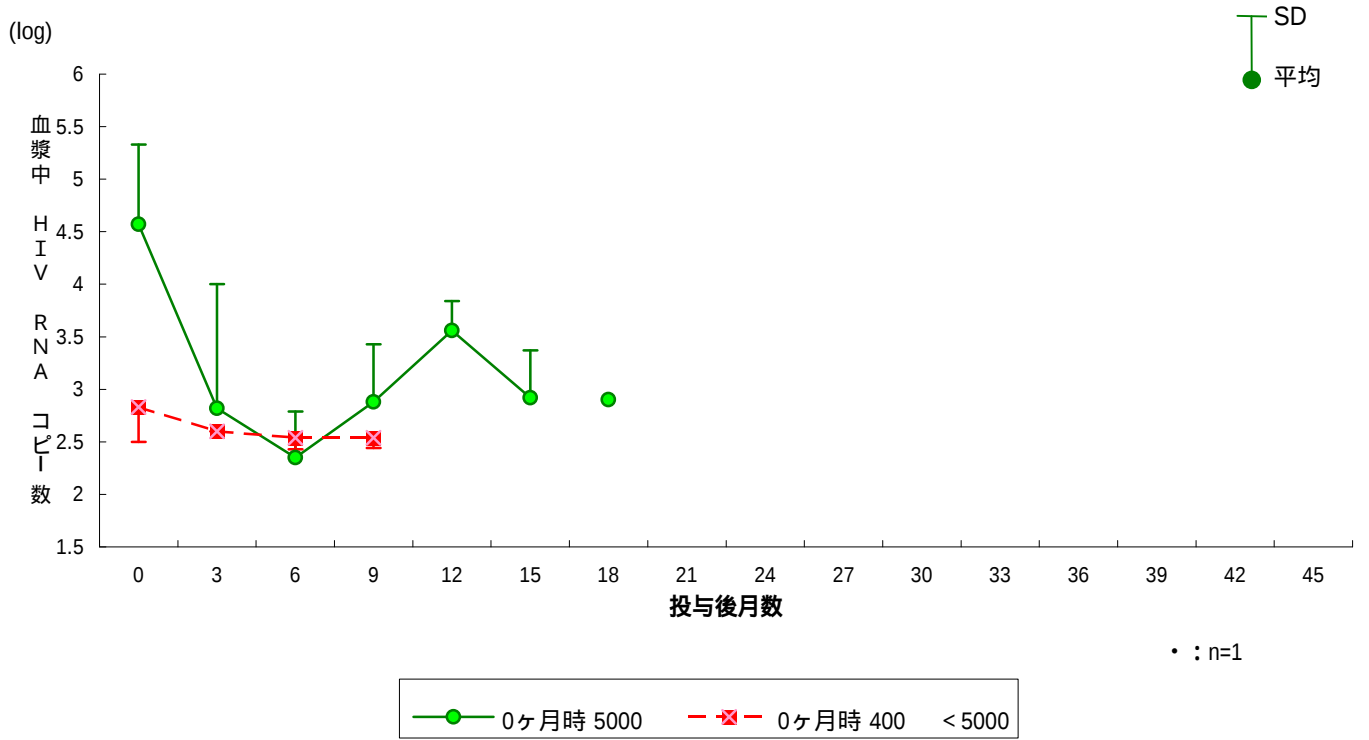
ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	133.5 -	- -	317.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	有	n	5	5	1	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	88.2 53.0	159.4 61.1	162.0 -	162.5 2.1	260.0 -	249.0 46.7	149.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 200 <500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	有	n	13	9	3	7	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	299.4 86.0	293.7 92.2	349.7 84.6	332.0 110.3	217.0 48.1	- -	- -	286.0 -	602.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 500	無	n	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	Mean S.D.	557.0 63.6	582.0 62.2	466.0 -	708.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	3.8	-	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	11	8	2	6	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.6	2.8	2.2	2.9	3.6	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	0.8	1.2	0.5	0.6	0.3	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	12	8	3	6	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	4.6	2.8	2.4	2.9	3.6	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S.D.	0.8	1.2	0.4	0.6	0.3	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	n	5	5	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean	2.8	2.6	2.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		S.D.	0.3	0.0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			19	13	6	9	2	2	1									
検出限界以下(n)			5	10	6	6	0	1	0									
[<400]			26%	77%	100%	67%	0%	50%	0%	-	-	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の約7割においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図 9

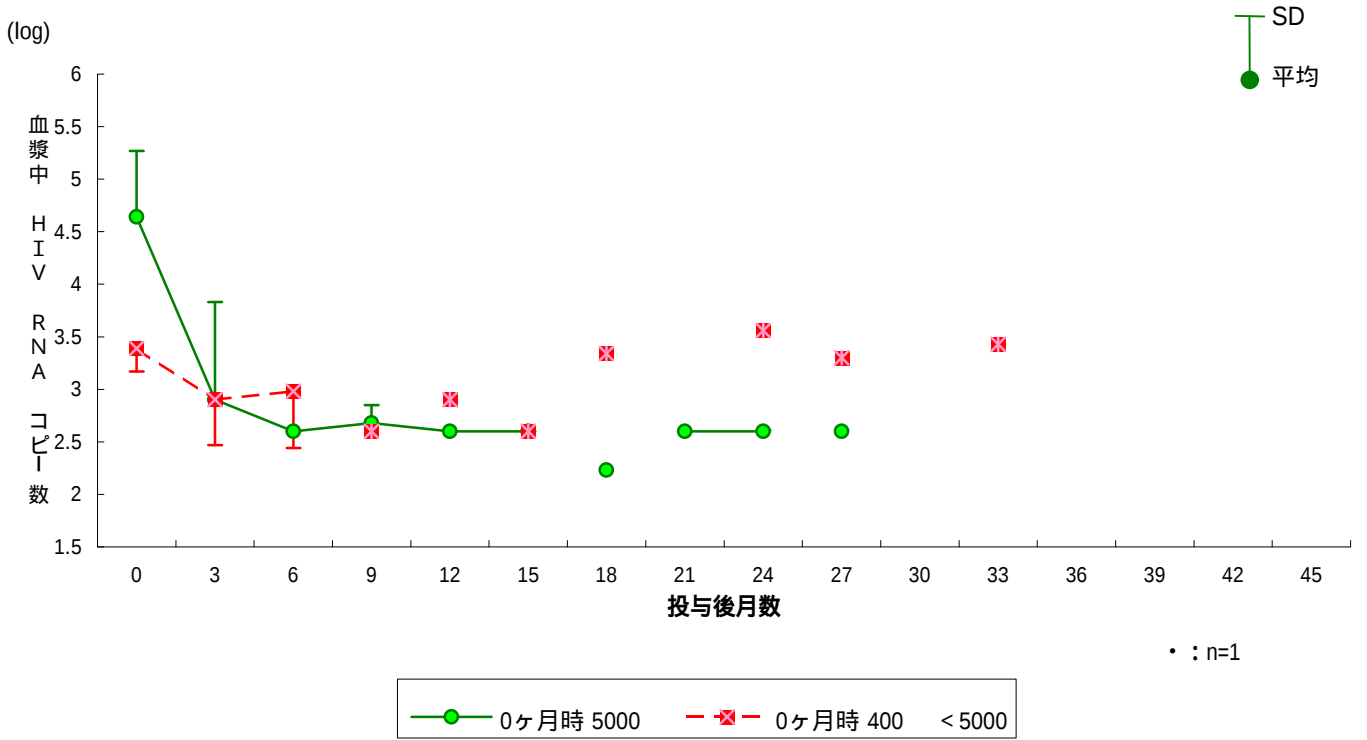
エビビル+ゼリット+ピラミューン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	3	3	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	167.0	211.0	306.0	268.0	-	261.0	-	243.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	<200	S.D.	25.1	44.7	-	101.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		n	4	3	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	有	Mean	84.6	132.1	-	368.0	274.0	-	392.0	-	280.0	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	84.0	154.9	-	-	-	-	-	-	108.9	-	-	-	-	-	-	-
	無	n	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-
		Mean	314.0	439.0	460.5	444.5	444.5	489.0	490.0	494.0	435.0	518.0	-	567.0	-	-	-	-
0ヶ月時 500	有	S.D.	112.6	73.3	46.0	58.7	72.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		n	6	4	2	2	1	3	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-
	有	Mean	300.0	252.8	448.5	243.0	156.0	417.0	424.0	474.0	532.0	586.0	-	-	-	-	-	-
		S.D.	87.2	97.3	13.4	5.7	-	21.1	-	-	124.5	43.8	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	有	n	2	-	2	2	-	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-
		Mean	541.5	-	488.0	652.5	-	434.0	804.0	750.0	1059.0	719.0	725.0	-	-	-	-	-
		S.D.	113.1	-	120.2	3.5	-	503.5	127.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	4	4	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	5.1	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	-	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	S.D.	0.6	0.2	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		n	5	4	-	2	1	1	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-
	計	Mean	4.3	3.4	-	2.8	2.6	2.6	2.2	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.5	1.2	-	0.3	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 400 <5000	有	n	9	8	2	5	2	2	1	2	3	1	-	-	-	-	-	
		Mean	4.6	2.9	2.6	2.7	2.6	2.6	2.2	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-
	有	S.D.	0.6	0.9	0.0	0.2	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	
		n	3	2	2	1	1	1	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-
	有	Mean	3.4	2.9	3.0	2.6	2.9	2.6	3.3	-	3.6	3.3	-	3.4	-	-	-	-
		S.D.	0.2	0.4	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			16	11	4	6	3	4	2	2	4	2		1				
検出限界以下(n)			3	7	3	5	2	3	1	2	3	1		0				
[<400]			19%	64%	75%	83%	67%	75%	50%	100%	75%	50%	-	0%	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の約6割においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図10

ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト

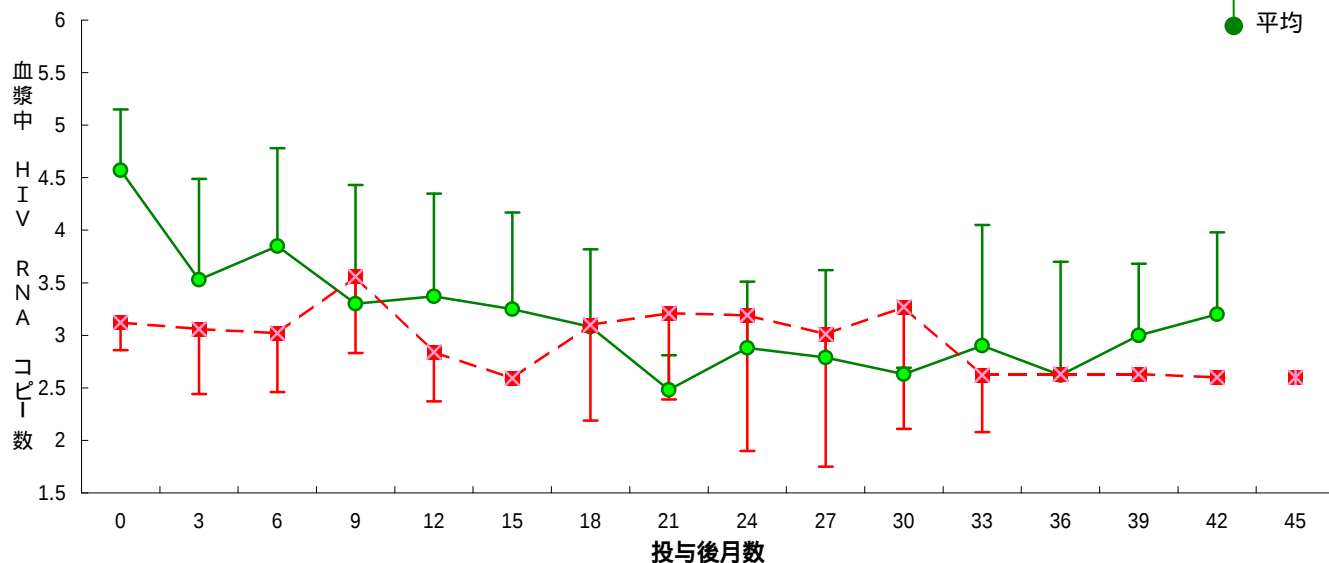
【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	4	3	-	-	-	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	144.5 35.3	205.0 142.8	-	-	-	231.0 207.9	274.0	302.0	284.0	-	285.0	-	-	-	-	-
	有	n	18	13	9	9	7	4	5	5	4	2	1	2	3	3	4	1
		Mean S.D.	116.5 65.9	138.3 75.0	122.6 99.3	234.6 116.1	223.1 73.6	317.8 141.5	272.6 89.5	291.9 107.8	241.5 98.8	237.5 3.5	174.0	338.5 142.1	236.3 47.7	295.0 134.0	323.5 169.2	264.0
0ヶ月時 200 <500	無	n	7	6	5	3	3	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	290.3 47.8	355.3 77.8	359.1 134.9	518.3 310.3	492.7 375.7	338.7 210.5	256.0 110.3	517.5 412.2	831.0	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	16	14	11	6	7	3	4	4	4	3	3	3	2	3	1	-
		Mean S.D.	324.5 112.5	338.5 137.1	463.1 208.6	546.2 227.4	494.1 177.6	711.5 278.8	677.5 255.0	537.0 213.9	558.0 249.9	531.3 188.7	494.3 118.5	746.0 159.2	596.5 181.7	708.7 236.9	747.0	-
0ヶ月時 500	有	n	8	4	6	2	4	4	2	2	4	2	1	-	1	1	1	1
		Mean S.D.	639.2 141.0	584.0 139.9	695.4 150.5	679.0 237.6	785.5 178.2	829.8 368.7	460.5 53.0	521.5 133.6	474.8 82.4	539.0 111.7	369.0	-	361.5	346.0	410.0	274.0

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	9	7	4	2	3	5	2	3	3	1	1	-	-	-	-	-
		Mean	5.0	3.4	4.3	3.8	3.4	3.5	3.6	2.3	2.6	2.7	-	-	-	-	-	-
	S.D.	0.7	1.1	1.2	1.8	1.1	1.2	1.4	0.5	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	26	19	15	9	13	5	6	4	7	3	2	3	2	3	3	-
Mean		4.4	3.6	3.7	3.2	3.4	3.0	2.9	2.6	3.0	2.9	2.6	2.9	2.6	3.0	3.2	-	
5000	有	S.D.	0.4	0.9	0.9	1.1	1.0	0.6	0.5	0.0	0.7	1.0	0.0	1.2	1.1	0.7	0.8	-
		n	35	26	19	11	16	10	8	7	10	4	3	3	2	3	3	-
	計	Mean	4.6	3.5	3.9	3.3	3.4	3.3	3.1	2.5	2.9	2.8	2.6	2.9	2.6	3.0	3.2	-
		S.D.	0.6	1.0	0.9	1.1	1.0	0.9	0.7	0.3	0.6	0.8	0.1	1.2	1.1	0.7	0.8	-
0ヶ月時 400 <5000	有	n	12	9	7	4	3	3	4	5	3	3	3	2	3	3	2	1
		Mean	3.1	3.1	3.0	3.6	2.8	2.6	3.1	3.2	3.2	3.0	3.3	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
		S.D.	0.3	0.6	0.6	0.7	0.5	0.0	0.9	0.8	1.3	1.3	1.2	0.5	0.1	0.1	0.0	-
検査有(n)			56	40	30	18	20	15	14	14	14	7	6	5	6	7	6	2
検出限界以下(n)			8	18	10	12	11	10	8	10	9	5	3	3	3	4	3	1
[<400]			14%	45%	33%	67%	55%	67%	57%	71%	64%	71%	50%	60%	50%	57%	50%	50%

(log)



・ : n=1



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。

治療開始9ヶ月で、約6割の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。

また、効果は約2年程度維持されている。

CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。

また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。

特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向が認められた。

表図11

エビビル+ゼリット+クリキシバン

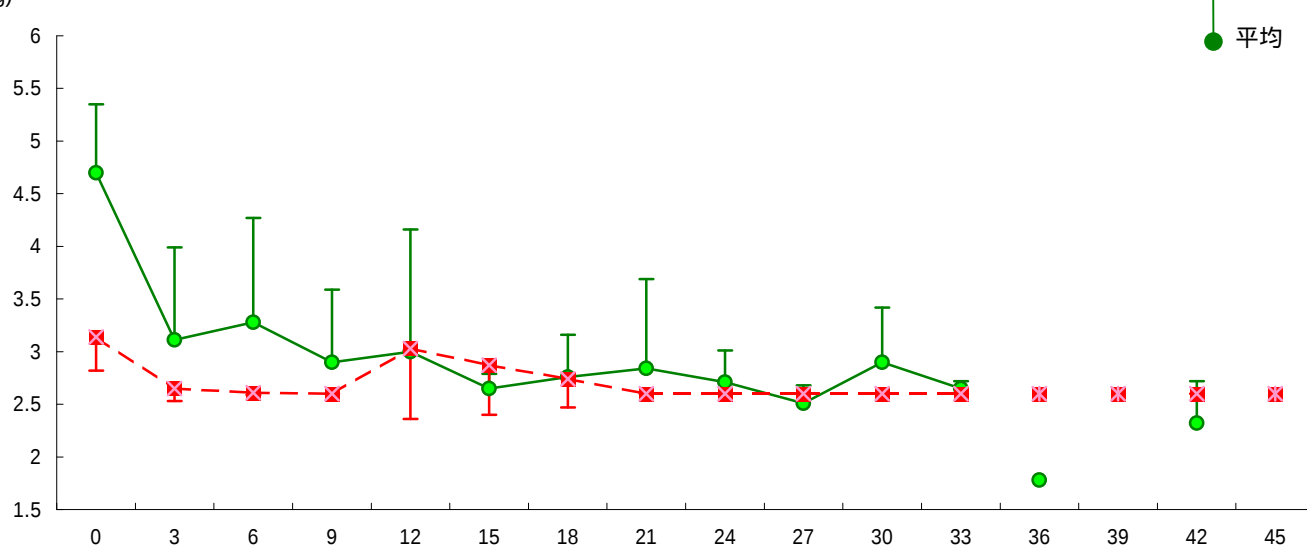
【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 ＜200	無	n	18	15	11	11	4	7	1	3	2	2	-	-	-	-	-	-
		Mean	70.8	193.0	200.7	275.2	302.0	246.9	365.0	446.7	454.5	502.0	-	-	-	-	-	-
	S.D.	66.3	124.3	137.7	139.0	121.0	80.6	-	212.0	95.5	97.6	-	-	-	-	-	-	
	有	n	48	41	29	22	15	11	11	12	7	3	7	4	3	2	5	2
Mean		106.2	153.4	203.3	205.4	215.8	385.7	387.0	375.0	328.1	623.0	328.6	251.5	575.3	386.0	669.0	318.5	
S.D.		67.1	80.6	110.4	145.8	109.3	175.7	227.6	199.2	134.2	218.6	148.3	117.5	271.9	60.8	351.9	14.9	
0ヶ月時 200 ＜500	無	n	4	4	3	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	390.3	454.3	523.0	568.0	676.8	841.0	480.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	46.2	122.4	53.7	51.8	186.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	有	n	16	14	12	8	6	6	5	3	4	4	4	2	3	1	2	-
Mean		345.9	384.2	439.4	395.6	431.0	447.2	547.2	585.0	458.5	573.3	605.5	811.5	632.7	405.0	617.5	-	
S.D.		76.8	143.1	160.6	166.7	102.3	104.3	203.3	269.0	104.9	279.7	172.2	157.7	191.8	-	26.2	-	
0ヶ月時 500	有	n	9	7	1	1	2	3	2	-	2	1	-	1	1	-	-	-
		Mean	582.3	598.4	401.0	424.0	546.0	761.8	642.0	-	551.0	541.0	-	494.0	637.0	-	-	-
		S.D.	111.4	107.2	-	-	67.9	321.5	241.8	-	107.5	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	18	16	10	12	5	6	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.8	2.6	2.9	2.6	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-
	有	S.D.	0.5	0.2	0.9	0.1	0.4	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-
		n	30	25	17	8	8	5	7	5	4	3	3	2	1	-	2	-
5000	有	Mean	4.6	3.4	3.5	3.3	3.4	2.7	2.8	2.9	2.8	2.5	2.9	2.7	1.8	-	2.3	-
		S.D.	0.7	1.0	1.0	1.0	1.3	0.2	0.4	1.0	0.4	0.2	0.5	0.1	-	-	0.4	-
	計	n	48	41	27	20	13	11	8	7	7	4	3	2	1	-	2	-
		Mean	4.7	3.1	3.3	2.9	3.0	2.7	2.8	2.8	2.7	2.5	2.9	2.7	1.8	-	2.3	-
0ヶ月時 400 <5000	有	S.D.	0.7	0.9	1.0	0.7	1.2	0.1	0.4	0.9	0.3	0.2	0.5	0.1	-	-	0.4	-
		n	15	12	7	6	6	7	4	6	3	2	3	2	1	1	2	1
	有	Mean	3.1	2.7	2.6	2.6	3.0	2.9	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
		S.D.	0.3	0.1	0.0	0.0	0.7	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-
検査有(n)			79	59	39	30	21	19	13	13	11	7	8	4	2	1	5	1
検出限界以下(n)			14	40	27	25	15	15	9	12	10	7	6	3	2	1	5	1
[<400]			18%	68%	69%	83%	71%	79%	69%	92%	91%	100%	75%	75%	100%	100%	100%	100%

(log)



・ : n=1

—●— 0ヶ月時 5000 -×- 0ヶ月時 400 . . . <5000

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。

治療開始3ヶ月で、約7割の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。

また、効果は約2年程度維持されている。

CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も持続している。

また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。

特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向は顕著である。

表図12

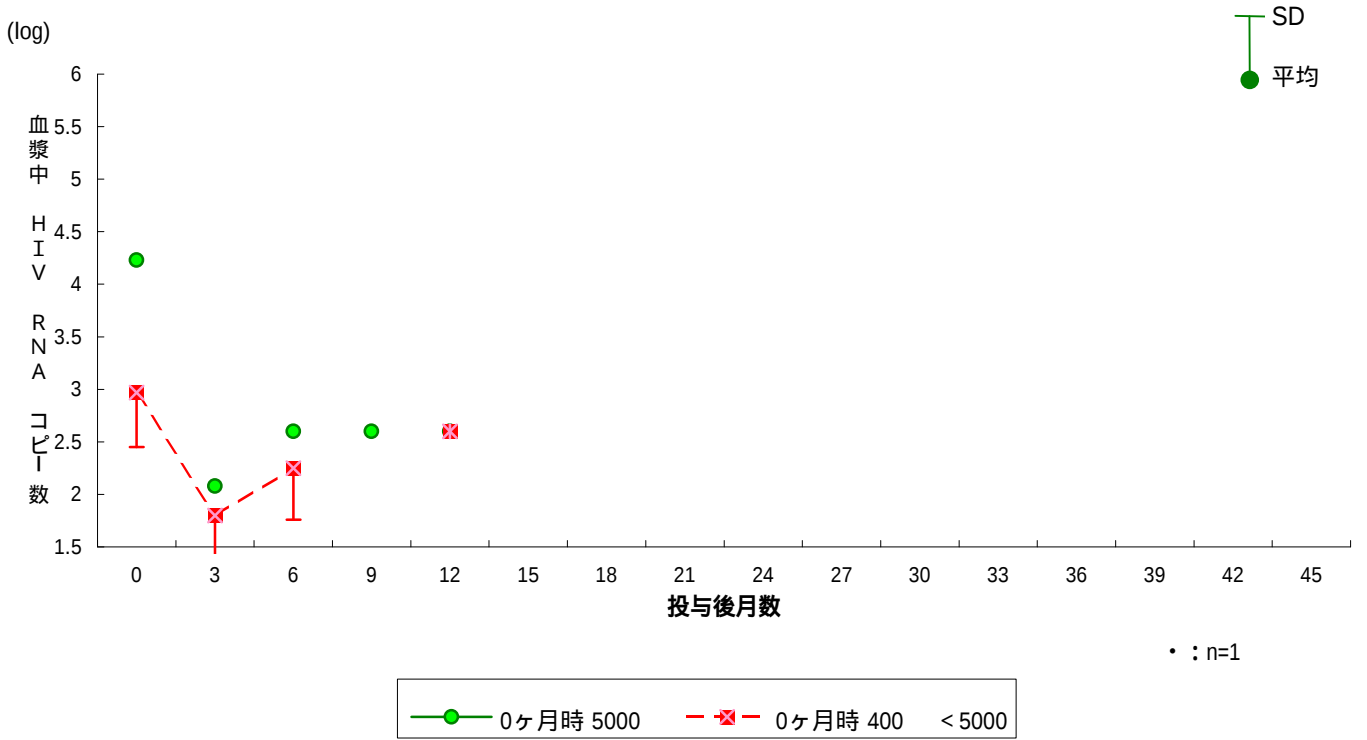
ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<200	有	n	3	3	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	132.5	167.7	198.0	292.0	264.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	8.4	18.0	41.0	-	18.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<500	有	n	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	460.0	468.0	315.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	618.0	1336.0	632.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	
0ヶ月時 5000	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	有	n	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean	4.2	2.1	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	4.2	2.1	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	n	2	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	3.0	1.8	2.3	-	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			8	5	4	1	2												
検出限界以下(n)			2	5	4	1	2												
[<400]			25%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の配合剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の全てにおいて、HIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図13

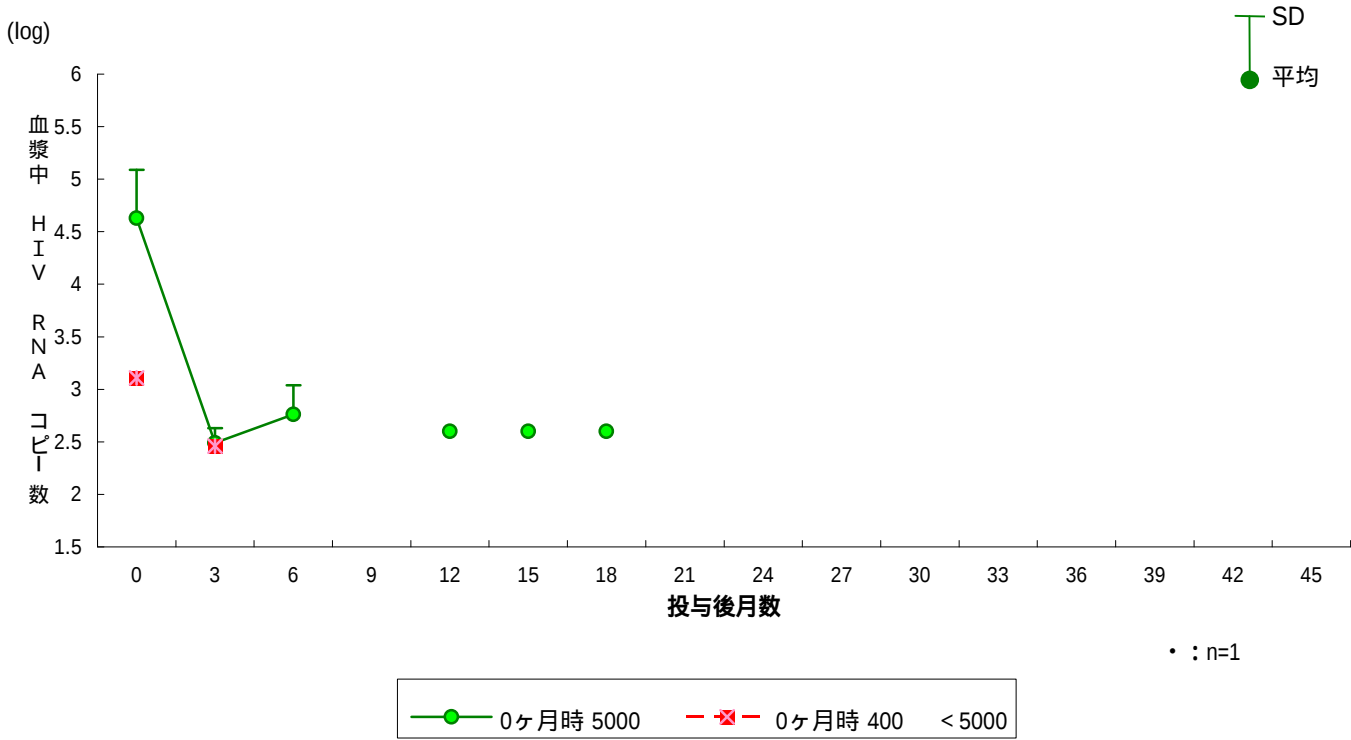
コンビル+ピラセプト

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	74.0	163.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	4	4	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	277.6	348.0	390.3	389.0	458.0	426.0	600.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	5	4	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	361.8	359.0	337.7	279.0	486.5	327.0	242.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	3	2	1	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	551.0	551.5	523.0	756.5	649.5	-	-	555.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	5	5	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.6	2.5	2.8	-	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	0.5	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	5	5	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	4.6	2.5	2.8	-	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	S.D.	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean	3.1	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S.D.			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			7	6	3		1	1	1									
検出限界以下(n)			1	6	2		1	1	1									
[<400]			14%	100%	67%	-	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の配合剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の全てにおいて、HIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図14

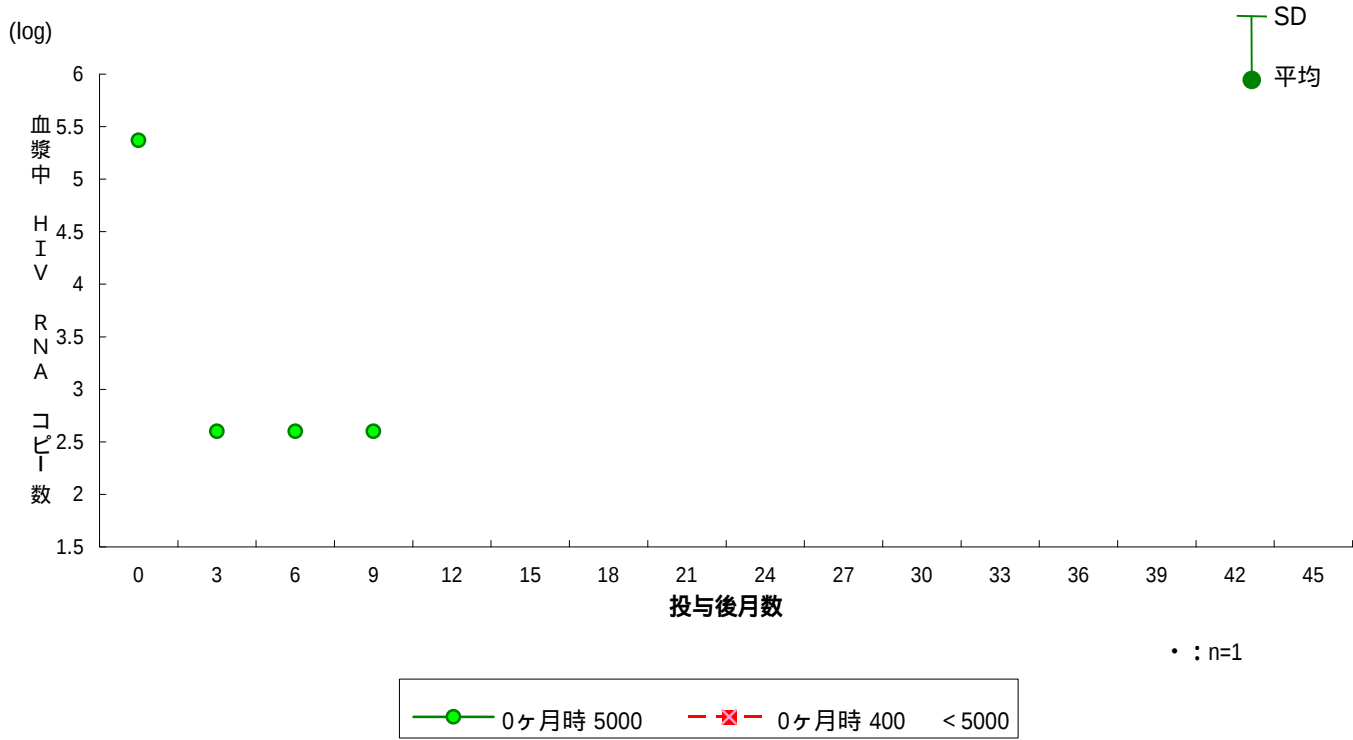
レトロビル+エピビル+クリキシバン+ ノーピア

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	10.0	77.0	213.0	185.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	9	8	6	4	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	365.8	419.3	458.7	425.3	455.0	487.7	629.0	467.0	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	7	4	2	4	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	677.0	642.3	734.5	712.3	640.0	586.0	504.0	-	759.0	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNA⁺ -数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	5.4	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	5.4	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 400 <5000		n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			4	3	2	1	1	1										
検出限界以下(n)			2	3	1	1	1	1										
[<400]			50%	100%	50%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の併用療法である。
CD4数、 HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図15

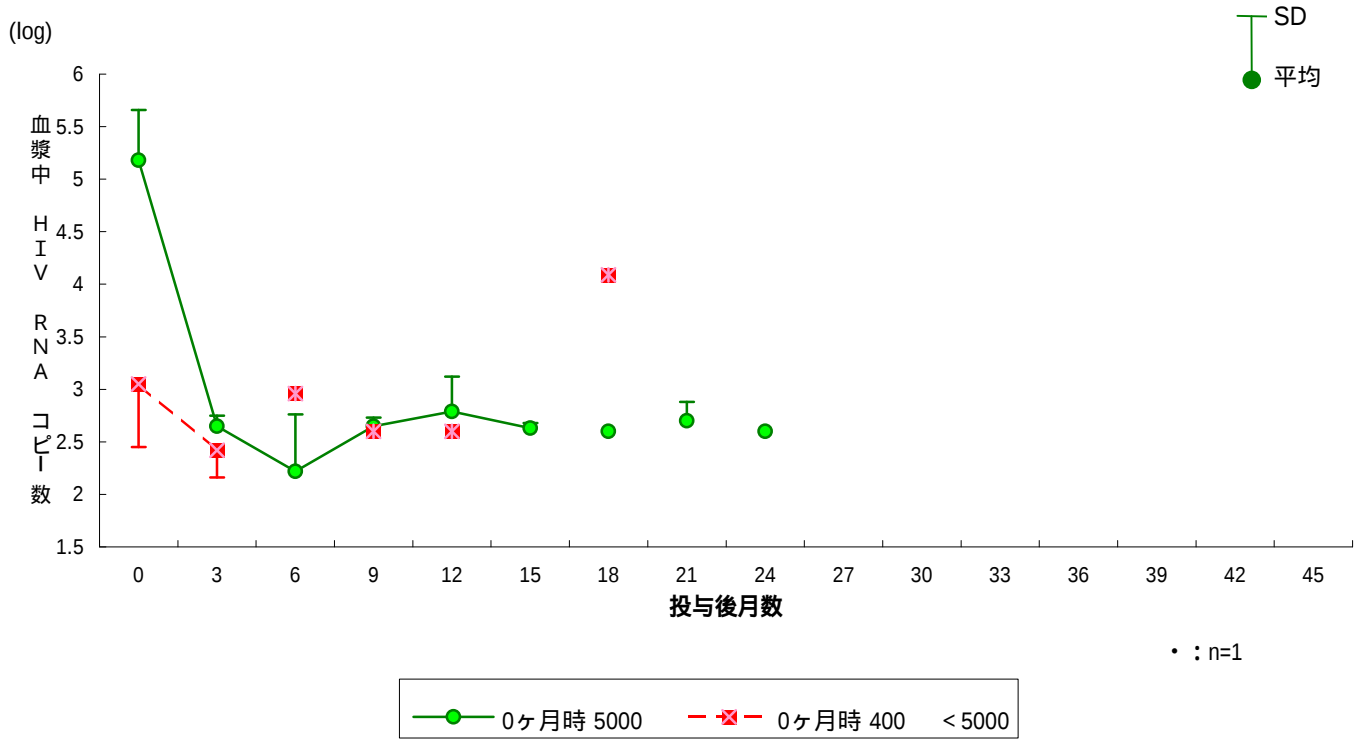
エピビル+ゼリット+クリキシバン+ノーピア

【CD4陽性リンパ球数】

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	4	2	1	2	2	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	109.1	250.5	491.0	320.3	361.3	471.0	451.0	455.0	472.0	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	3	1	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	60.3	186.0	132.5	-	114.0	54.0	-	86.5	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	291.0	322.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	3	3	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	361.5	391.7	608.0	457.5	396.5	-	623.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	3	1	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	645.7	516.0	662.0	882.0	-	690.0	980.0	630.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	3	1	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	645.7	516.0	662.0	882.0	-	690.0	980.0	630.0	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経緯 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	5	3	1	2	2	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	5.3	2.7	1.8	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	0.4	0.1	-	0.1	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	2	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.9	-	2.6	-	3.2	2.7	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.D.	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	7	3	2	2	3	3	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	5.2	2.7	2.2	2.7	2.8	2.6	2.6	2.7	2.6	-	-	-	-	-	-	-	
S.D.	0.5	0.1	0.5	0.1	0.3	0.1	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	n	2	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	3.1	2.4	3.0	2.6	2.6	-	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.	0.6	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			13	5	3	3	4	3	2	3	1	-	-	-	-	-	-	
検出限界以下(n)			2	4	2	2	3	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	
[<400]			15%	80%	67%	67%	75%	67%	50%	67%	100%	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で症例の約8割においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図16

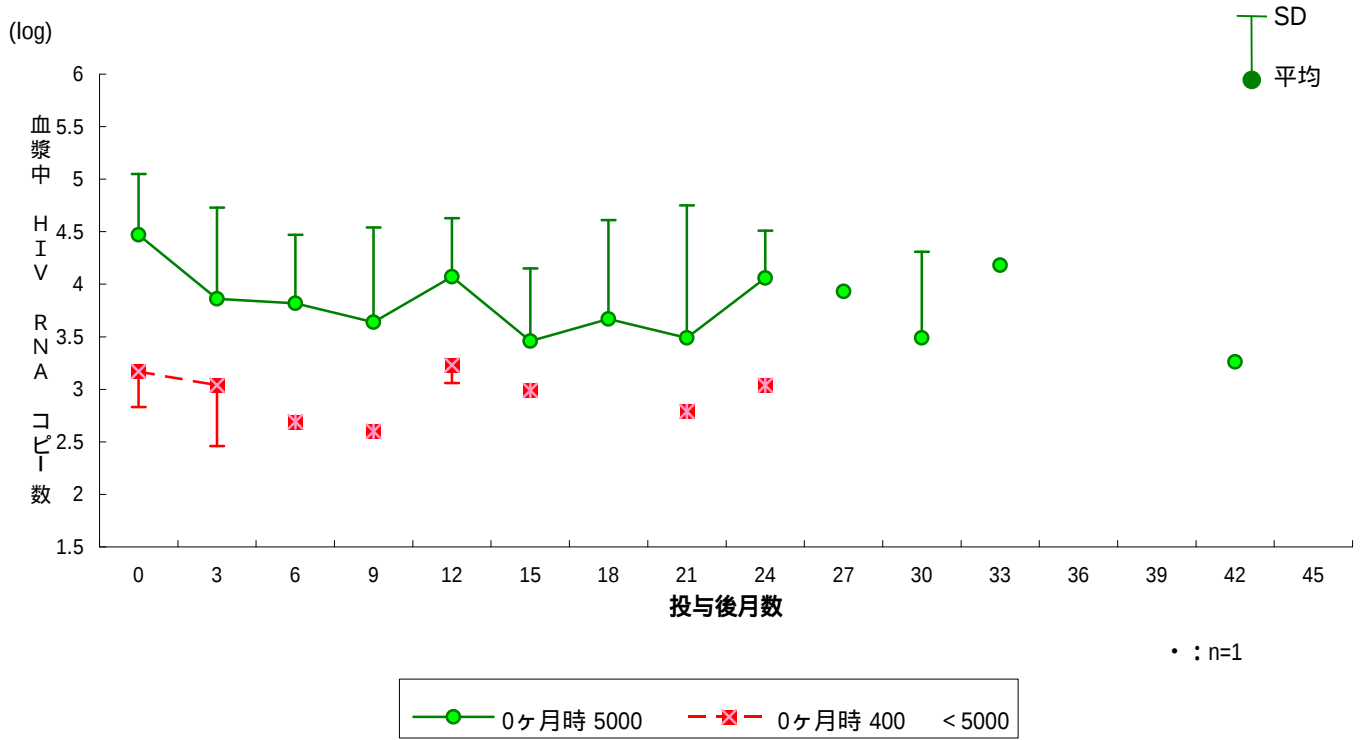
エビビル+ゼリット

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時	無	n	2	2	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	74.5	90.5	113.5	238.0	-	293.0	355.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	17	15	7	6	4	4	1	3	1	-	1	-	1	-	1	-
		Mean	72.7	109.9	130.6	153.2	86.6	129.2	24.5	158.0	173.0	-	273.0	-	176.0	-	317.0	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	329.8	300.5	340.0	283.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	17	12	9	8	7	9	3	3	6	4	4	2	1	1	-	1
		Mean	306.9	375.4	371.5	396.1	334.6	329.9	400.3	392.3	350.0	319.8	398.3	284.3	312.0	229.0	-	345.0
0ヶ月時 500	無	n	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	1069.5	1412.5	-	-	1332.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	703.5	1067.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNA⁺数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	
0ヶ月時 5000	無	n	2	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean S.D.	4.6 0.2	3.8 1.6	2.6 -	2.6 -	- -	2.6 -	2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	有	n	16	15	8	5	3	4	2	2	2	1	3	1	-	-	-	1	-
		Mean S.D.	4.5 0.6	3.9 0.8	4.0 0.5	3.9 0.8	4.1 0.6	3.7 0.6	4.2 0.2	3.5 1.3	4.1 0.5	3.9 -	3.5 0.8	4.2 -	- -	- -	- -	3.3 -	- -
	計	n	18	17	9	6	3	5	3	2	2	1	3	1	-	-	-	1	-
		Mean S.D.	4.5 0.6	3.9 0.9	3.8 0.7	3.6 0.9	4.1 0.6	3.5 0.7	3.7 0.9	3.5 1.3	4.1 0.5	3.9 -	3.5 0.8	4.2 -	- -	- -	- -	3.3 -	- -
0ヶ月時 400 <5000	n	5	3	1	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean S.D.	3.2 0.3	3.0 0.6	2.7 -	2.6 -	3.2 0.2	3.0 -	- -	2.8 -	3.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
検査有(n)			34	25	14	12	8	9	4	5	5	2	4	2	1	1	1	-	
検出限界以下(n)			10	5	2	5	0	3	1	2	1	1	1	0	0	1	0	-	
[<400]			29%	20%	14%	42%	0%	33%	25%	40%	20%	50%	25%	0%	0%	100%	0%	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の併用療法である。

CD4数、 HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難であるが、他の併用療法に比しHIV-RNAコピー数が検出限界以下になった症例は少ない。

CD4: 本併用例において、症例が少なく評価は困難である。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数5000以上において減少傾向が見られるが、症例が少なく評価は困難である。

表図17

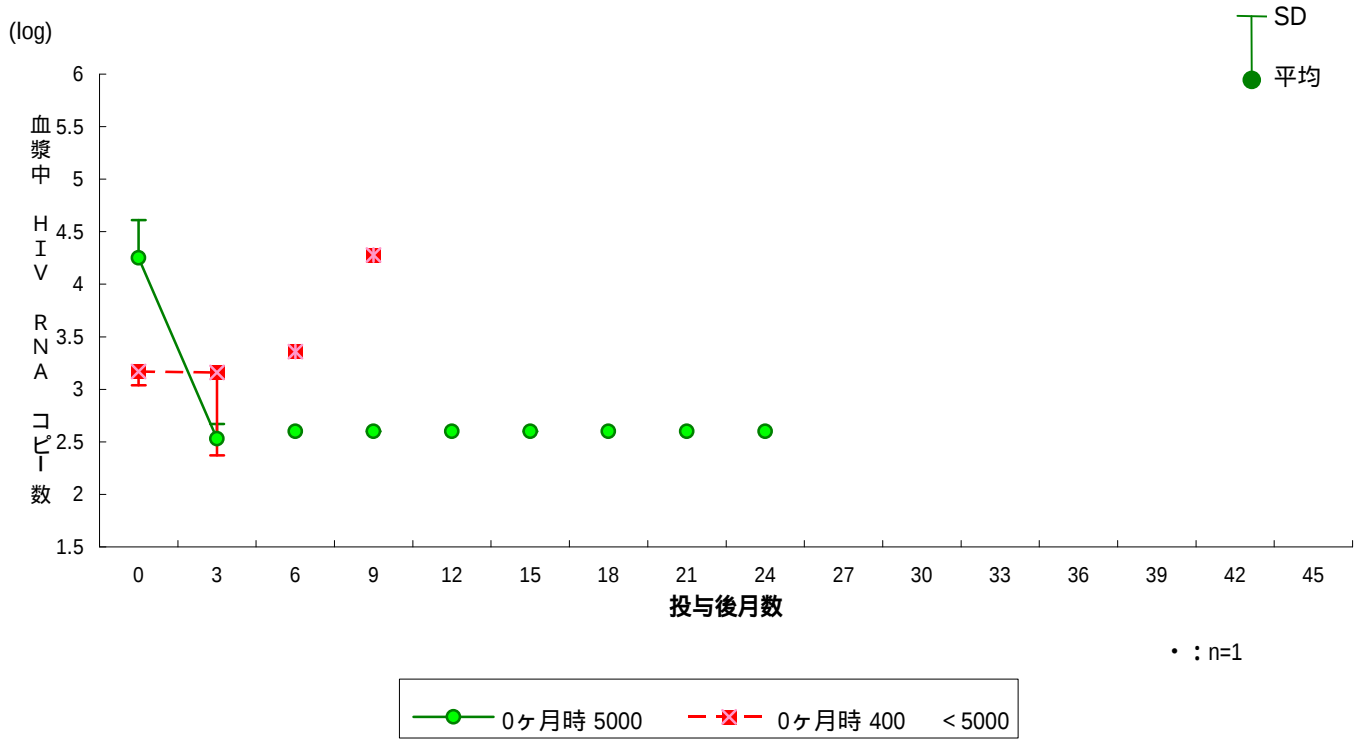
レトロビル+エピビル+ピラミューン

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	150.0	234.0	-	272.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	3	3	1	1	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	344.8	414.0	275.0	524.0	677.0	562.5	728.0	488.0	797.0	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	2	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	394.0	329.0	-	381.0	476.0	-	577.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	有	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	1326.0	1167.0	1102.0	1064.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	4	4	1	2	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.3	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	n	4	4	1	2	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	4.3	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 400 <5000		n	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	3.2	3.2	3.4	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	0.4	0.1	-	0.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			6	6	2	3	1	2	1	1	1							
検出限界以下(n)			3	5	1	2	1	2	1	1	1							
[<400]			50%	83%	50%	67%	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図18

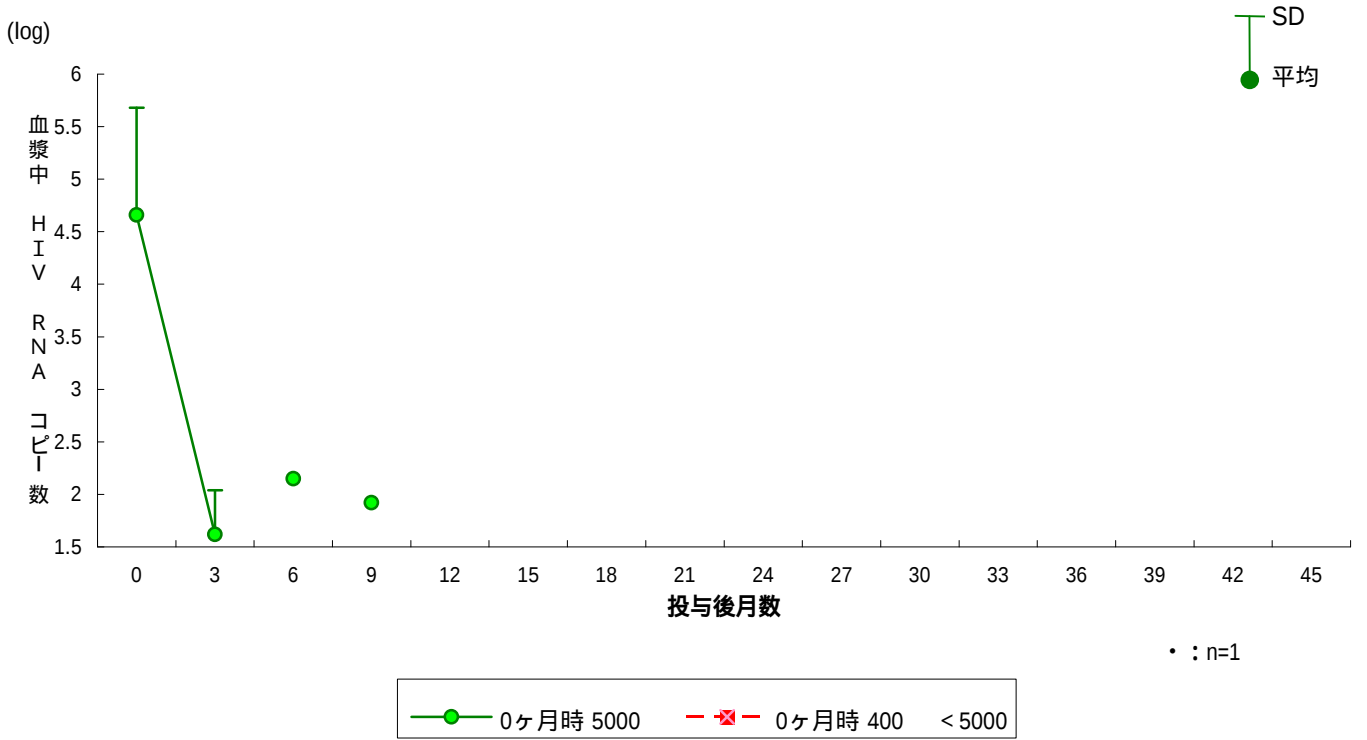
コンビビル+カレトラ

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	9.0 -	155.0 -	230.0 -	269.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 200 <500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 500	n	2	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mean S.D.	526.0 8.5	555.0 151.3	635.0 -	709.0 -	644.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	5.4 -	1.9 -	2.2 -	1.9 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	有	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	3.9 -	1.3 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	n	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean S.D.	4.7 1.0	1.6 0.4	2.2 -	1.9 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 400 <5000	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
検査有(n)			5	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検出限界以下(n)			2	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[<400]			40%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の配合剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の配合剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図19

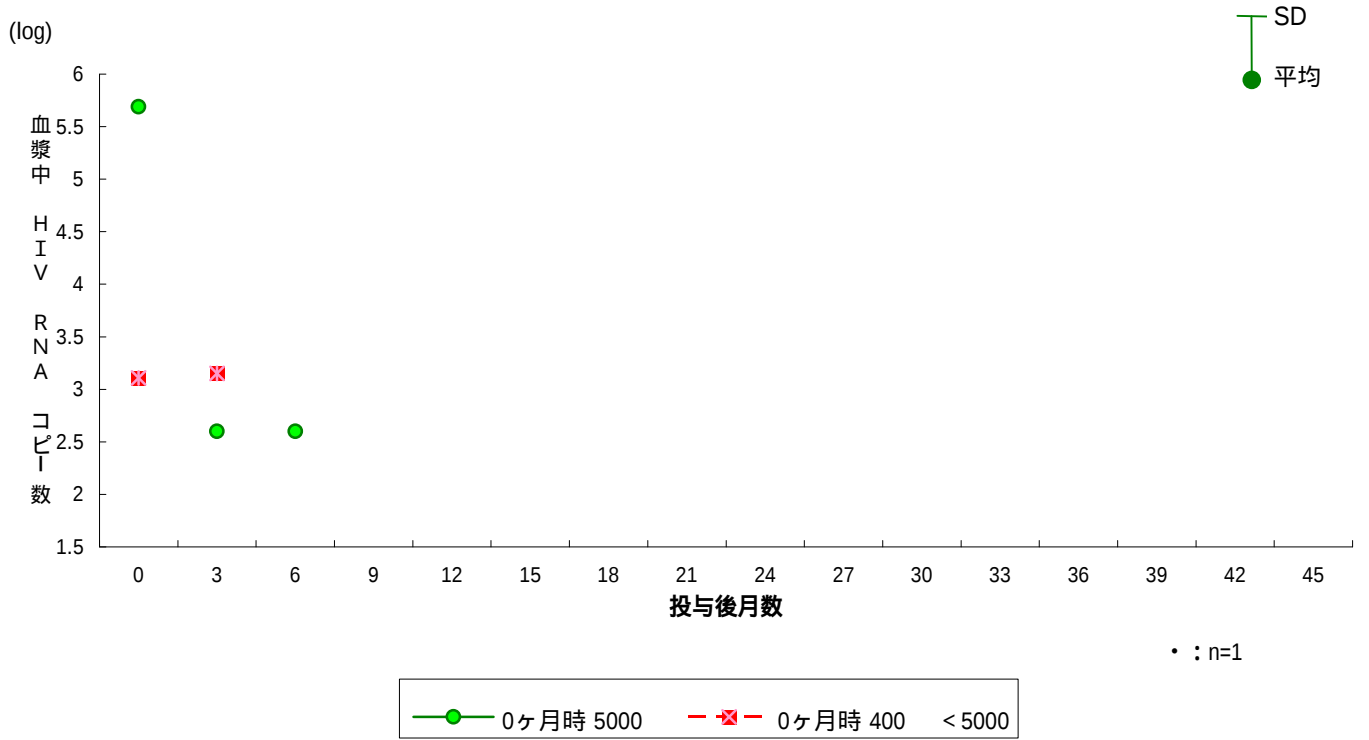
エピビル+ゼリット+カレトラ

【CD4陽性リンパ球数】

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 <200	無	n	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	37.0	137.0	195.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	191.0	-	263.0	252.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 200 <500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	438.0	432.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0ヶ月時 500	無	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【血漿中HIV-RNAコピー数】

治療経験 (log)			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月
0ヶ月時 5000	無	n	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	5.7	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Mean	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	n	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	5.7	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0ヶ月時 400 <5000	n	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Mean	3.1	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
検査有(n)			5	2	1													
検出限界以下(n)			0	2	1													
[<400]			0%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の配合剤の併用療法である。
CD4数、 HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。